KENWOOD

MDV-L500

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

© 2013 JVC KENWOOD Corporation

B64-5132-08/01(J)
LVT2382-001B

目次

はじめに

こんなことができます 6
安全上のご注意 9
使用上のご注意 12
カーナビゲーションに関わる個人情報について 13
本書の読みかた 14
電源を入れる/切る 15
地デジのセットアップ 16
- miniB-CASカードを入れる 16
- miniB-CASカードを取り出す 17
- 受信可能なチャンネルを登録する 18

暗証番号を設定/変更する 20
- 暗証番号を設定する 20
- 暗証番号を変更/解除する 21

画面の時計表示について 22
オートアンテナを伸ばす/しまう 23

基本操作

各部の名称とはたらき 24
画面の切り替えかた 26
画面の操作について 28
画面のオン/オフ 29
フロントパネルの角度を調整する 29

カーナビ

現在の場所の地図を表示する 30
地図の向きと表示方法を変える 31
地図の縮尺を変える 32
スクロールして地図を表示する 33
スクロールした地点の情報を見る 34
ランドマークの情報を表示する 35
地図画面のショートカットボタンを使う 36
AVソース画面を地図画面に表示する 37
クイックメニューを使う 37
地図の表示を設定する 38
- 地図の色を設定する 39
- ランドマークの表示を設定する 39
- 登録地点の表示を設定する 40

現在地を修正する 41
エコドライブのアドバイス 42
- エコ情報を表示する 42
- ECOメニューを表示する 43

地点検索 44
自宅を登録する 44
自宅に帰る 44
目的地検索メニューを表示する 45
目的地検索メニューから探す 46
名称から探す 46
住所から探す 48
ジャンルから探す 49
地点の周辺施設を探す 50
電話番号/郵便番号/マップコードで探す 51
登録地点から探す 52
検索履歴から探す 52
SDカードから読み込む 54
まっぷるコードで探す 56
マップクリップを利用する 57
iPhoneアプリ「NaviCon」との連携 58
NaviConでできること 58
NaviConから本機で目的地を設定する 58
NaviConからナビの地図表示を操作する 59
ルート探索と案内開始 60
ルートを探索して案内を開始する 60
利用するインターチェンジを指定する 61
探索方法を設定する 63
目的地付近の地図を表示する 64
ルート全体を表示する 64
シミュレーションでルートを見る 65
現在地からのルートを探索しなおす 66
案内を終了する 66
ナビの音量を調整する 67
ルートから外れたときは 67
ルート案内中の地図 68
一般道でのルート案内 68
高速道路でのルート案内 69
案内ポイントでの案内表示 70
案内ポイント付近での音声案内 72
案内方法を設定する 73
ルート編集 74
行き先の順番を変える 74
行き先を削除する 75
地点登録 76
地点登録する 76
登録地点の情報を見る 77
登録地点を編集する 78
名前をつける 79
電話番号を設定する 79
登録地点のカテゴリーを変更する 80
登録地点のカテゴリー名を変更する 80
登録地点を削除する 82
文字の入力 83
VICS情報を見る 84
VICS情報とは 84
地図に表示されるVICS情報 85
VICS情報の表示方法を設定する 87
VICS図形/文字情報を表示する 88
FM VICS局の選局方法を切り替える 89

目次

AV

ソース切り替え 90
ソース切り替え画面を表示する 90

ラジオ 91
ラジオを聴く・操作する 91
放送局をプリセットする 92
リストから放送局を選局する 93
交通情報を受信する 93

地デジ 94
地デジを見る 94
受信バンドを切り替える 95
プリセットを登録する 96
プリセットボタンへの割り当てを変える 97
バナー表示について 98
緊急警報放送を受信する 99
イベントリレー 99
中継局/系列局サーチ 100
番組表を見る・操作する 100
地デジの設定を変える 102

ディスク 104
ディスクを出し入れする 104
DVDセットアップ 105
DVDビデオ/DVD-VRを再生する 106
ディスクメニューを操作する 108
音楽CDを再生する 109
iPhoneから楽曲情報を取得する 110
再生する曲をリストで選択する 111
オーディオファイルディスクを再生する 112
再生するファイルをリストで選択する 113

USB/SD 114
USB機器を接続する/外す 114
SDカードを出し入れする 115
ファイルを再生する 116
再生するファイルをリストで選択する 119

iPod 120
iPodを接続する/外す 120
iPodを再生する 121
再生する曲またはビデオをリストで選択する 122

AV-INソース 124
外部AVソースの音を聴く/映像を見る 124
外部AVソースの接続機器を設定する 125

SDカードへの録音と再生 126
録音について 126
録音音質を設定する 126
SDカードに録音する 127
録音したデータを再生する 128
再生するデータをリストで選択する 129
録音したデータを削除する 130

楽曲データ管理ソフトKME-VXⅡを使う 132
こんなことができます 132
KME-VXⅡに必要な動作環境 133
KME-VXⅡをインストールする 134
KME-VXⅡで楽曲情報を取得する 135
KME-VXⅡで同期したUSB機器または SDカードを本機で再生する 137
スライドショーを再生する 138
再生する曲またはビデオをリストで選択する 138

ミュージックコントロールアプリKENWOOD Music Control を使う（Android™用） 139

画質調整 140
映像ソースの画質を調整する 140
映像の画面表示サイズを変更する 140

サウンド設定 142
サウンドを設定する 142
バランス/フェーダーを設定する 143
カータイプを設定する 143
スピーカー構成を設定する 144
リスニングポジションを設定する 146
プリセットイコライザーを設定する 148
ソースの音量バランスをそろえる 149
オーディオ効果を設定する 150
ハードウェアを設定する 151

システム設定

システムを設定する 152
イルミネーションの色を設定する 154
ステアリングリモコンを設定する 155
- 車両を選んで設定する 155
- ステアリングリモコンにユーザー独自に割り当てる 156
- 割り当てを変更する 157
- 割り当てを初期化する 158

ユーザー設定の初期化 159
その他 160
- 接続状態を確認する 160
- データやソフトウェアのバージョンを確認する 161
- 開通した道路情報の更新 162
- KENWOOD MapFan Clubを利用して地図を更新する 162
- オービスデータについて 162

オプション

ETC情報を確認する 164
- ETC情報について 164
- ETC履歴/車載器情報を見る 164
- ETCの料金表示を設定する 165

リアビューカメラを使う 166
- リアビューカメラを設定する 166
- リアビューカメラの映像を表示する 167
- 操作ボタンを表示する 167
- ガイド線の調整について 168
- ガイド線を調整する 169

付録

自車位置の測位精度について 170
地図記号の凡例 174
ジャンルの分類について 176
地図データベースについて 177
ソフトウェア使用許諾契約書 180
VICSについて 182
地上デジタルテレビ放送について 185
ディスクについて 187
メディアおよびファイルについて 190
iPodについて 193
センサー学習について 194
故障かなと思ったら 195
用語解説 205
主な仕様 207
保証とアフターサービス 210
ケンウッド全国サービス網 211
キーワードインデックス 212

こんなことができます

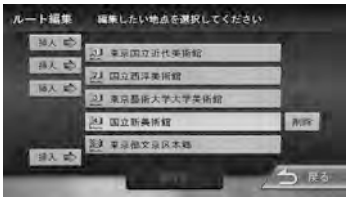
ナビを便利に使う！

場所を探す
☞ P45



いろいろな方法で、行き先などの場所を探します。

ルートを編集する
☞ P74



行き先の順番を変えたり、削除できます。

エコドライブのアドバイス
☞ P42



エコドライブの評価が表示されます。
また、ECOメニューでは、エコドライブのアドバイスも表示されます。

探した場所を行き先に設定する
☞ P60



探した場所を行き先（目的地、経由地）に設定してルートを探します。

探した場所を登録する
☞ P76



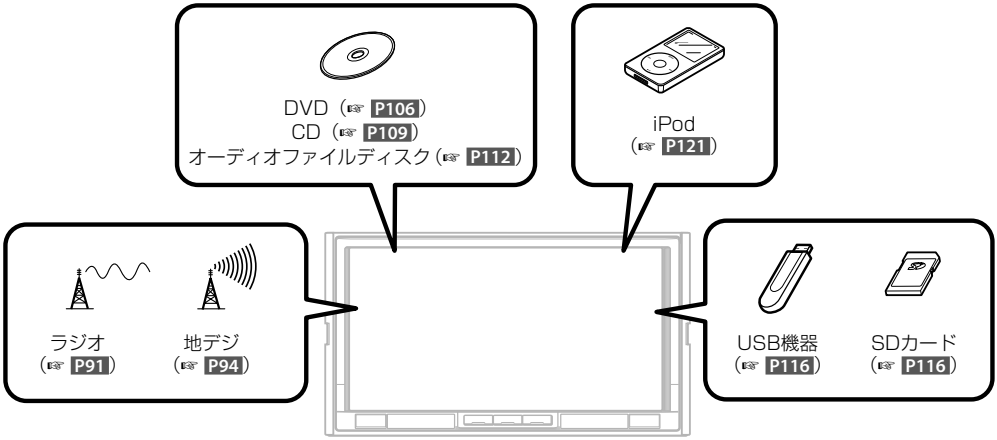
探した場所を地点登録できます。名前、電話番号などを編集することもできます（☞ P78）。

VICS情報
☞ P84

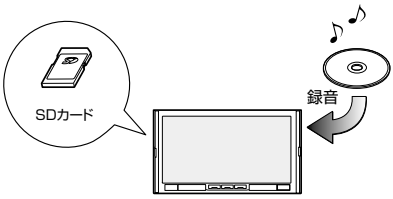


VICS情報を本機で取得すると地図上に表示されます。

AVをより楽しむ！



音楽CDを録音する
☞ P127



音楽CDをSDカードに録音できます。

サウンド設定
☞ P142



車内の音響効果や音質を調整できます。

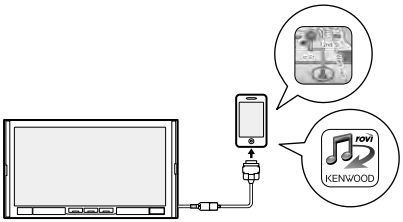
楽曲データ管理ソフトKME-VXⅡを使う
☞ P132



パソコンで管理している音楽や動画をUSB機器やSDカードに書き出し、本機で再生します。

iOSアプリケーションを使って楽しむ！

iPhoneを本機に接続してiOSアプリケーションを使う
☞ P58 、P110

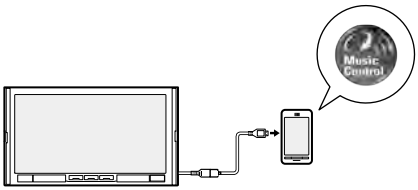


NaviCon:
NaviConアプリで登録した地点をナビに転送します。

KENWOOD Music Info.:
再生している曲や録音した曲の音楽情報を取得します。

Androidアプリケーションを使って楽しむ！

スマートフォンを接続して本機で再生する
☞ P139



KENWOOD Music Control:
スマートフォンに保存されている曲を本機で再生します。

安全上のご注意

●ご使用前に、以下の注意事項と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。取扱説明書に記載されている注意事項が守られなかった場合は、事故などの深刻な問題が発生する可能性があります。

●お読みになった後は、いつでも見られる場所（車のグローブボックスなど）に必ず保管してください。

絵表示による注意

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

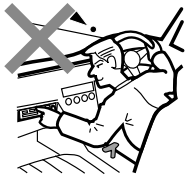
 禁止	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。
 禁止	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
 実施	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

禁止

交通事故防止のため、運転中は本製品の操作を行わないでください。運転中に本製品の操作を行うと、ハンドルから手が離れたり、道路状況への注意力が散漫になるなどして、交通事故などの原因になります。本製品を操作するときは、必ず安全な場所に車を止めてから行ってください。



禁止

運転者は、ナビゲーションの画面に気を取られないでください。交通事故などの原因になります。
運転中に画面を見るときは必要最小限とし、注視するのは避けてください。

実施

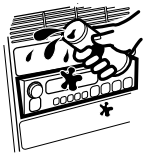
運転中の音量は、車外の音や緊急車両などの音が聞こえる程度で使用してください。外部の音が聞こえない状態で運転することは事故の原因となります。



実施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする





実施

修理は必ずお買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

実施

緊急時に使用する場合は、本製品の情報のみに頼らず、警察や消防署、病院などに連絡をして、場所などの確認を行ってください。

実施

探索したルートは、ルート上の安全性を考慮して探索されていません。危険な地域への誘導がされている場合は、運転者はそのときの状況を判断して回避してください。

実施

本製品の地図は、実際の道路状況や交通規制などと異なる場合があります。これは収録された時点の地図データ、交差点情報、交通規制情報などと、現在のものとで差異が生じているためです。走行時には、常に実際の道路状況や交通規制などに従って運転してください。

⚠ 警告

実施
一方通行表示については、常に実際の交通規制に従って運転してください。本製品の地図には、全ての一方通行道路が表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも、実際にはその一部が両面通行の場合があります。

禁止
画面が表示されない、音声が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。

実施
ナビゲーションシステムで探索された経路はあくまでも参考ルートで、実際の道路状況や交通規制などと一致しない場合があります。常に実際の道路状況や交通規制に従って運転してください。

実施
万一、異物が入った、水や飲み物がかかった、煙が出てくる、変な臭いがするなどの異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
そのまま使用を続けると、事故、火災、感電の原因となります。

実施
規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。

実施
本機の取り付け、取り外し、周辺機器の追加などを行う際は、安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。
取り付け作業には専門技術が必要です。

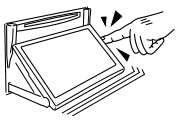
実施
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠ 注意

禁止
本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁止
本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

禁止
操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



実施
本機は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」(☞ P195)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。
硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃の際には、フィルムアンテナをやわらかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れのひどいときは、水に薄めた中性洗剤に浸した布を堅くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ(電動アンテナ装備車)の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール(ANT CONT)端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください(☞ P23)。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点がでることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがありますが、故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路*は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき

 *:細街路とは、道幅5.5m未満の道路のことをいいます。

カーナビゲーションに関わる個人情報について

本機にメモリーされた個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合などには、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
消去のしかたは本取扱説明書をご覧ください。
消去は、「ユーザー設定の初期化」（☞ P159）で行えます。
なお、次のデータや設定は消去できません。個別に消去/解除してください。
●暗証番号の解除（☞ P21）

弊社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

弊社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。
該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル　0120-2727-87
携帯電話・PHS・IP電話：
045-450-8950
FAX　045-450-2308
住所　〒221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00
13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

すでに製造済みの製品での情報の削除や変更には応じられませんので、予めご了承ください。

車両運転中における携帯電話やPHS等の使用は、非常に危険であり、改正道路交通法（法第71条5号の5）により禁止されています。車両等から携帯電話やPHS等で弊社にお電話または電子メールをいただく場合は、安全な場所に停車された上でご連絡くださるようお願い申し上げます。

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と表記について説明します。

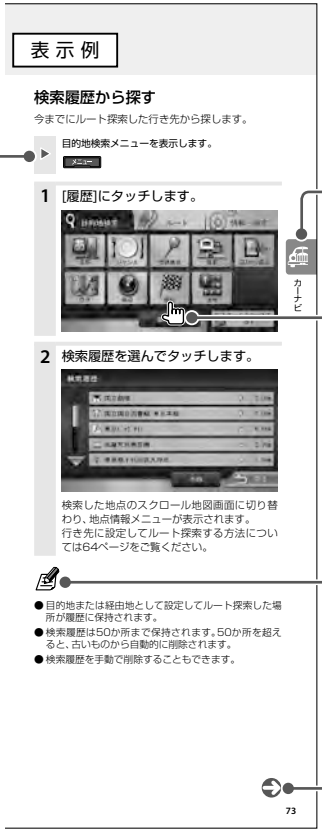
本書の構成

本書は、本機のすべての機能の操作を説明したリファレンスマニュアルで、本機の機能とメニューに従って構成されています。

	はじめにお読みいただきたいことが記載されています。(☞ P6 ～ P23)
	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作が記載されています。(☞ P24 ～ P29)
	地図の表示や操作、カーナビゲーション(以降、「ナビ」)の操作について記載されています。(☞ P30 ～ P89)
	オーディオ&ビデオ(以降、「AV」)およびサウンドの操作について記載されています。(☞ P90 ～ P151)

	他の項目では説明されていないシステム関係の設定などの操作について記載されています。(☞ P152 ～ P163)
Op	ETCやリアビューカメラなど、別売品を接続したときの操作について記載されています。(☞ P164 ～ P169)
	関連する資料や用語解説、キーワードインデックスなどが記載されています。(☞ P170 ～ P216)

本書の表記



下で説明する操作を始める前に、ここに記載されている操作をまず行ってください。

本書での参照先は、この構成別のマークで分類されています。

操作するボタンについてるマークです。

補足説明や制限事項などが記載されています。

次のページに説明の続きがあります。

ボタンの表記について

[]は画面に表示される操作ボタンを表します。

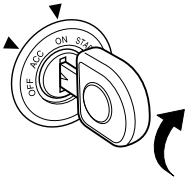
例：[履歴]は を表します。

本書の画面や操作例は操作説明用に作成したものです。実際の画面と異なる画面や、実際には行えない例が記載されている場合があります。

電源を入れる/切る

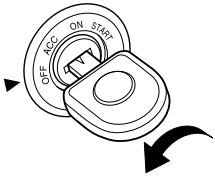
電源オン

車両のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にすると、本機の電源がオンになります。



電源オフ

車両のイグニッションキーを“OFF”にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときやバッテリーを交換した場合などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。2回目以降はすぐに表示されます。
- 使用状況や電源電圧の変動等によって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- 電源を切らないようにというメッセージが画面に表示されているとき以外は、いつでも電源をオフにできます。これによって、本機内のデータや設定が失われることはありません。また、ルート案内の途中でもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。

miniB-CASカードを入れる

本機を使用するときには、miniB-CASカードをセットしておきます。

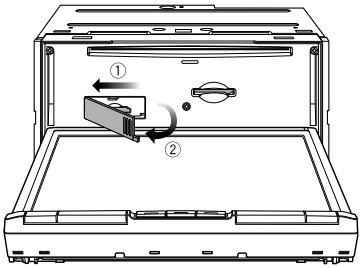
- miniB-CASカードは、本機を修理に出すとき以外は抜き差ししないでください。
- miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。
- miniB-CASカードを差し込むときにIC（集積回路）接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

1 （オープンキー）を押します。

2 [フルオープン]にタッチします。

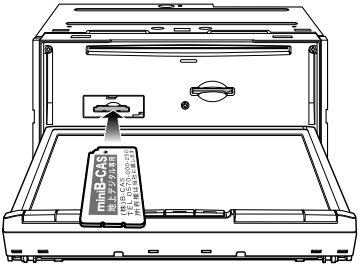


3 カバーを左にスライドし①、カバーの右端を手前に引いて②取り外します。



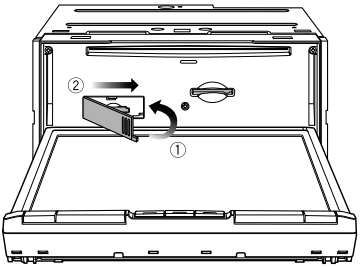
（オープンキー）に触れないように注意してください。触れるとフロントパネルが閉じてしまいます。

4 IC（集積回路）接触端子のある面を下にして、miniB-CASカードを差し込みます。



miniB-CASカードは、突き当たるまで、奥までしっかりと差し込んでください。

5 カバーの左端を突き当ててカバーを付け①、右にスライド②して取り付けます。

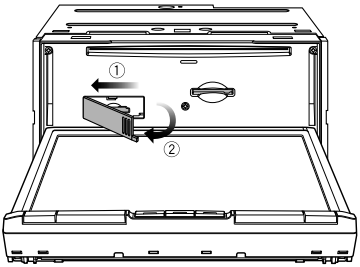


6 （オープンキー）を押します。

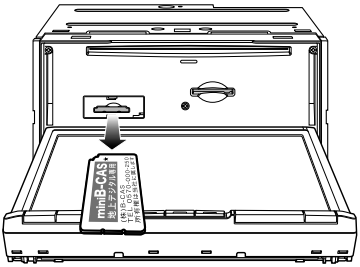
- 地デジを見るときには、miniB-CASカードが正しくセットされている必要があります。
- miniB-CASカードは、正しい向き（表裏や前後）で差し込んでください。向きが間違っていると、miniB-CASカードは機能しません。

miniB-CASカードを取り出す

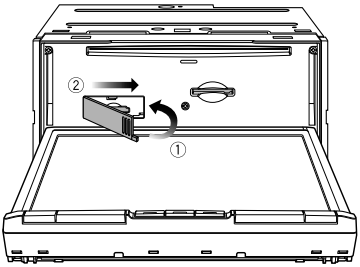
1 フロントパネルを開いて（①、②）カバーを取り外します。



2 miniB-CASカードをいったん押し込んでから引き抜きます。



3 カバーを取り付けて（①、②）フロントパネルを閉じます。



● miniB-CASカードを抜き差ししたときは、約3秒以上待ってから、B-CASカードテスト（ICカードテスト）を実行してください（☞ P103）。

受信可能なチャンネルを登録する

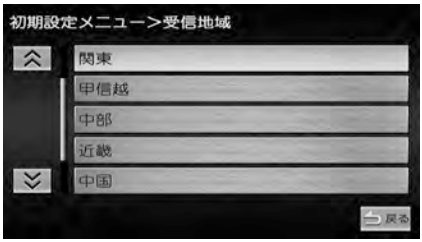
miniB-CASカードがセットされていることを確認してください。

本機の取り付け後に初めて地デジを選択すると、地デジのセットアップが始まります。
地デジを視聴するためには、本セットアップを正常に完了する必要があります。

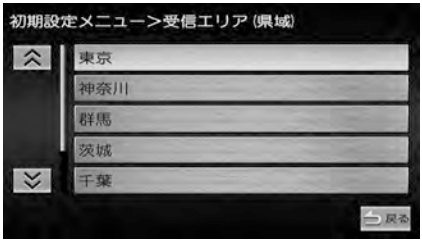
▶ ソースを地デジに切り替えます



1 受信地域を選んでタッチします。

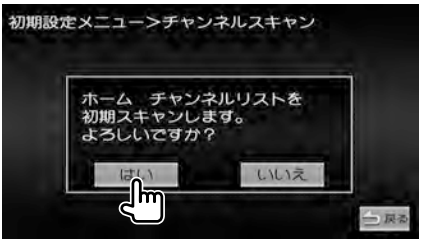


受信エリア（都道府県）を選んでタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチします。

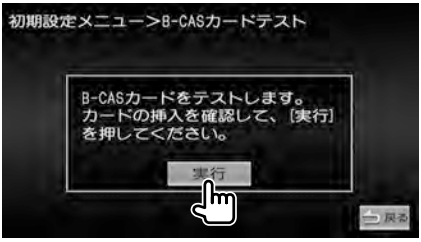


チャンネルスキャンが開始されます。
チャンネルスキャンが終了すると、受信できるチャンネルのリストが表示されます。

3 チャンネルリストを確認し、[決定]にタッチします。

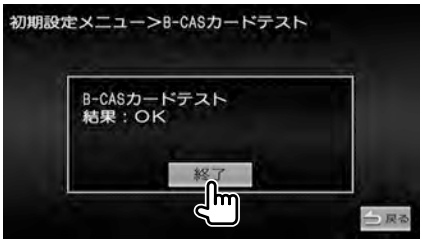


4 [実行]にタッチします。



miniB-CASカードのテストが開始されます。
テストが終了すると、結果が表示されます。

5 [終了]にタッチします。



- **2** で[いいえ]を選択すると、チャンネルスキャンは行われません（**4** の画面が表示されます）。
 地デジを視聴する前に、チャンネルスキャンを行ってください（☞ P96）。
- 本セットアップが正常に終了していない場合は、次回の地デジ選択時に再び **1** の画面が表示されます。
- 本セットアップでは、ホームバンドのチャンネルを設定します。
 お出かけバンドのスキャンは、地デジの設定メニューからチャンネルスキャンを行ってください（☞ P96）。
- 建物の陰や地下など、電波の届きにくい場所では、スキャンで登録されない場合があります。
 その場合は、電波を受信できる見通しのよい場所に移動し、再度チャンネルスキャンを行ってください（☞ P96）。

暗証番号を設定/変更する

暗証番号を設定する

盗難防止対策のため、本機の起動時の暗証番号を設定できます。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[設定]にタッチします。



4 設定する4 ～ 8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



にタッチすると、最後に入力した1桁を削除できます。また、タッチし続けると、すべての数字を削除できます。

5 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

● 暗証番号は、下欄に記入しておいてください。

● 暗証番号が設定されているときは、本機の電源オン時にここで設定した暗証番号の入力が必要になります。



正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

暗証番号を変更/解除する

暗証番号を変更または解除します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 [その他]にタッチします。



3 「暗証番号」の[解除]または[変更]にタッチします。



4 現在設定されている暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



暗証番号を解除する場合は、ここで解除され、操作はここまでです。
暗証番号を変更する場合は、**5** に続きます。

5 新しく設定する4 ～ 8桁の暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。



6 もう一度、同じ暗証番号を入力し、[決定]にタッチします。

画面の時計表示について

画面を消しているとき（画面オフ）と映像を表示しているときの時計表示を消すことができます。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー → 情報・設定

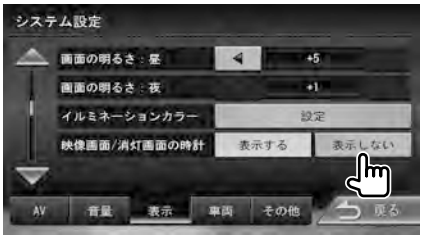
1 [システム設定]にタッチします。



2 [表示]にタッチします。



3 [表示しない]にタッチします。

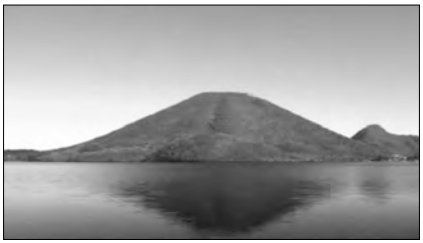


[表示する]にタッチすると時計を表示します。

《時計表示画面》



《時計表示なし画面》



- 本機の時計は、GPS電波を利用して自動で設定されます。
- 時計は、24時間表示です。
- 画面オフ/映像表示以外の画面（現在地図画面など）では、「表示しない」に設定しても時計表示を消すことはできません。

オートアンテナを伸ばす/しまう

オートアンテナの設定を「あり」に設定している場合(☞ P153)、オートアンテナを伸ばしたり、しまったりできます。
なお、「オートアンテナ」が[なし]に設定されている場合は、どちらのボタンも表示されません。

1 SRC を押します。

2 [アンテナを伸ばす]または[アンテナをしまう]にタッチします。

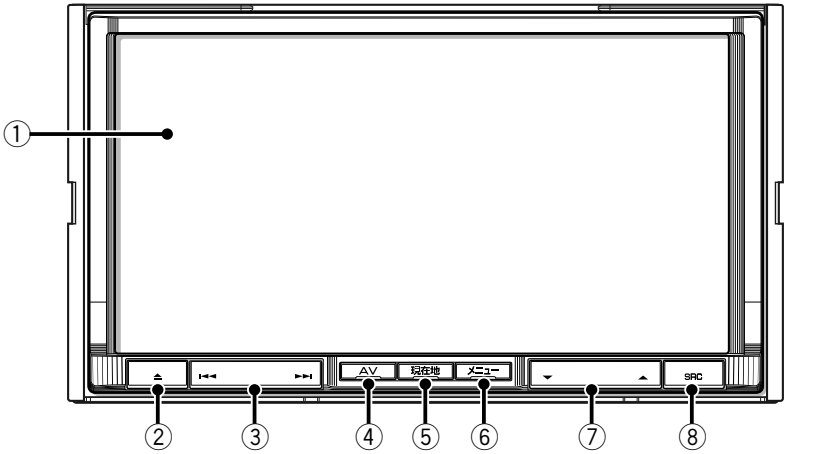


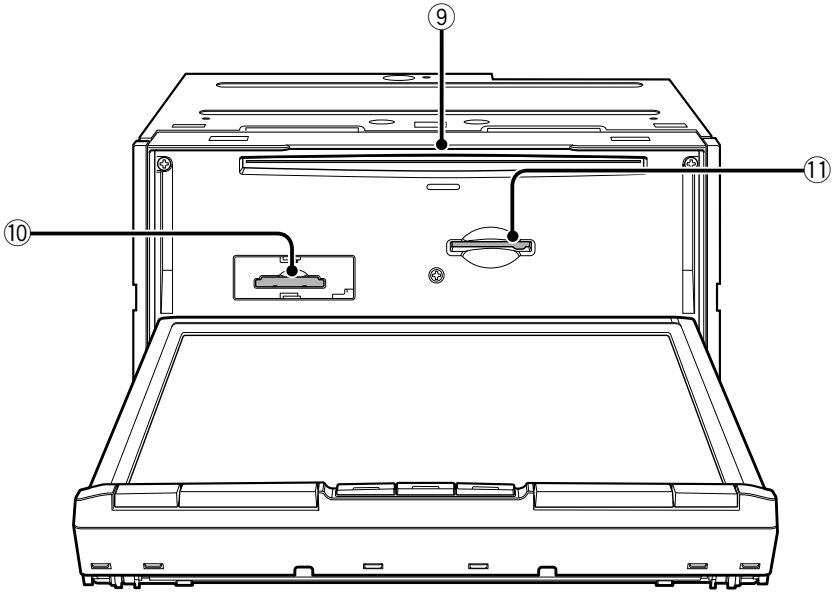


[アンテナを伸ばす]にタッチするとアンテナが伸張し、[アンテナをしまう]にタッチするとアンテナが収納されます。

● アンテナをしまうとFM VICSの受信状態が悪くなることがあります。

各部の名称とはたらき





① **画面**

② **（オープンキー）**

セキュリティインジケーター

– フロントパネルの角度調整（☞ P29）、ディスクやSDカードの出し入れを行う画面を表示します（☞ P104、P115）。

– セキュリティインジケータを設定（☞ P153）しているときは、電源オフ時に点滅します。

③ **（スキップ/サーチキー）**

– ラジオ、地デジの放送局を切り替えます。
押し続けると、自動的に受信状態の良い放送局を受信します。

– CD、DVD、iPod、オーディオ/ビデオファイル（SDカード、USB機器）再生中は、前または次の曲やファイルを再生します。
押し続けると、早戻しまたは早送りします。

④ **（AVキー）**

現在のソースの画面を表示します。

⑤ **（現在地キー）**

– 現在地周辺の地図の画面（現在地図画面）を表示します（☞ P30）。

– 押し続けると、画面がオフになります（☞ P29）。

⑥ **（メニューキー）**

目的地検索メニューを表示します（☞ P45）。

⑦ **（音量キー）**

ソースの音量を調整します。

⑧ **（ソースキー）**

– ソースを切り替える画面（ソース切替画面）を表示します（☞ P90）。

– 押し続けると、オーディオソースがオーディオオフ（STANDBY）になります（☞ P90）。

⑨ **ディスク挿入口**

ディスクを挿入します。

⑩ **miniB-CASカード挿入口**

miniB-CASカードを挿入します。

⑪ **SDカード挿入口**

– SDカードを挿入します。

– ソフトウェアをアップデートする際にも使用します。

- ナビの音声案内の音量は では調整できません。音量調整については67ページをご覧ください。
- ⑩はminiB-CASカードカバーを外した状態のイラストです。
- miniB-CASカード挿入口のカバーの外しかたについては16ページをご覧ください。
- miniB-CASカードを差し込むときにIC（集積回路）接触端子に触れないようにしてください。汚れなどでカードが機能しないことがあります。

画面の切り替えかた

本機の電源をオンにしたときに表示される画面は、前回の電源オフ時の動作モードによります。
ナビモードで終了したときは現在地図画面が表示されます。また、AVモードで終了したときには、同じソースの画面が表示されます。

ナビモード

現在地図画面
現在地周辺の地図が表示されます。



メニュー

現在地

AV

現在地

AVモード

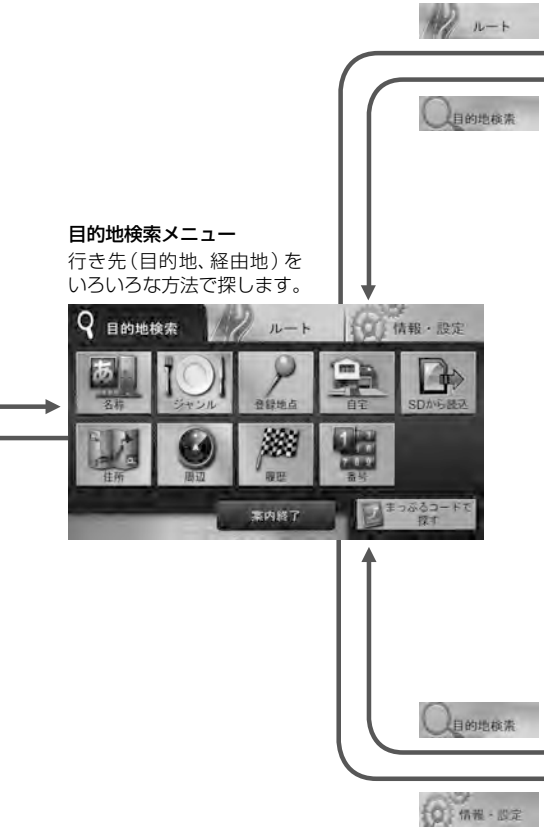


SRC

AV

AVソース画面（画面例：Tuner）

- AV を押すとAVモードになり、現在選択されているソースの再生画面が表示されます。
- 現在地 を押すと現在地図画面に戻れます。
- メニュー を押すと目的地検索メニューが表示されます。
- SRC を押すとソース切替画面が表示されます。



目的地検索メニュー
行き先（目的地、経由地）を
いろいろな方法で探します。



ルートメニュー
設定されている行き先（目的地、経由地）を
確認・編集します。

情報・設定メニュー
設定や、VICS情報などの表示を行います。



ソース切替画面
ソースを切り替えます。

● ソース切替画面でソースを選択すると、選択したソースに切り替わり、そのソースの画面が表示されます。

画面の操作について

項目が無効のとき

選択できない項目はグレー表示されます。



メニュー/リストの操作

メニュー表示のとき



▲または▼でページを切り替えられます。

リスト表示のとき

曲またはファイルのリストをタッチすると、再生が始まります。
アルバムまたはフォルダのリストをタッチすると、その中の曲などのリストに切り替わります。

例：ファイルリスト



曲などが複数のページにある場合には、▲または▼でページを切り替えられます。バーの部分をスライドさせてもリストをスクロールできます。

前の画面に戻る

[戻る]にタッチします。



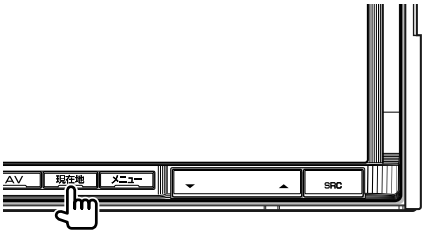
シークバーの操作

シークバーは現在の再生位置を表示しています。タッチまたはドラッグすると、再生位置を変更することができます。シークバーがグレー表示のときは操作できません。



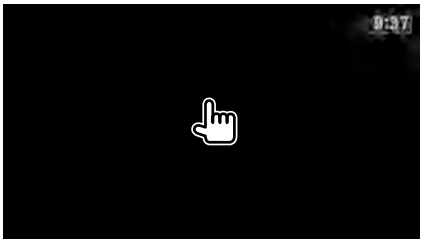
画面のオン/オフ

現在地 を押し続けると、画面がオフになります。



画面をオンにするときは

画面にタッチします。



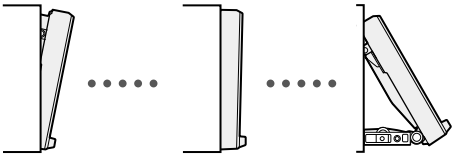
● 電源をオフにすると画面オフの設定は解除されます。

フロントパネルの角度を調整する

画面が反射するなどで見づらい場合には、ドライビングポジションから見やすいように画面角度を調整してください。

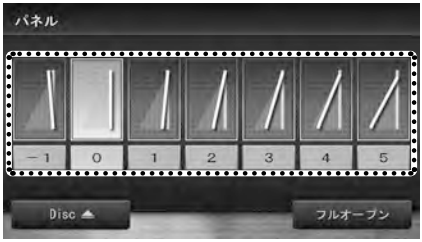
フロントパネルの角度

《-1の場合》 《0の場合》 《5の場合》



1 ⏏（オープンキー）を押します。

2 角度のボタンにタッチします。



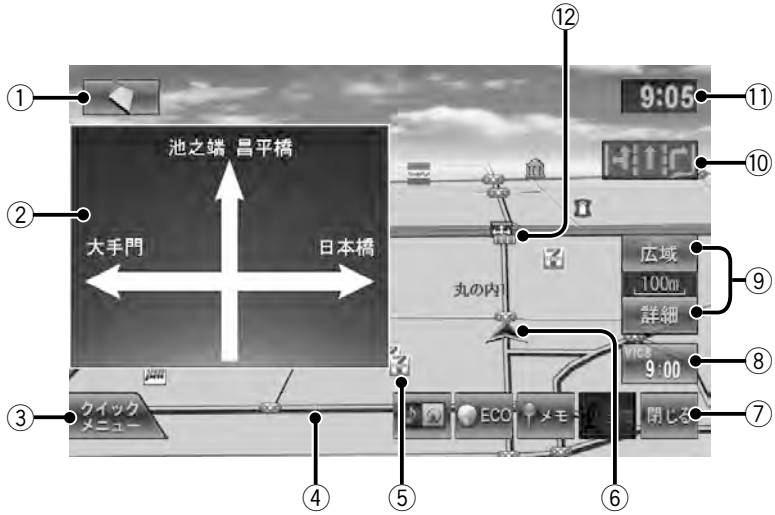
ボタンにタッチするたびにフロントパネルの角度が変わります。

3 AV画面を表示するときは AV 、現在地図画面を表示するときは 現在地 を押します。

● フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

現在の場所の地図を表示する

現在地 を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① **コンパスボタン**
地図の方位を示します。
タッチすると、地図の向き（3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ）を切り替えることができます（☞ P31）。

② **方面看板**
方面看板情報のある交差点に近づくと表示されます。表示しないようにすることもできます（☞ P73）。

③ **クイックメニューボタン**
タッチすると、クイックメニューを表示します（☞ P37）。

④ **走行軌跡（水色）**
表示しないように設定することができます。
また記憶されている走行軌跡を消去することもできます。（☞ P38）。

⑤ **ランドマーク**
地図上に目印となる施設をマークで示します。
表示するマークの種類は変更することができます（☞ P35）。

⑥ **自車マーク**
現在地と進行方向を表します。

⑦ **閉じるボタン**
タッチすると、操作ボタンを閉じます（☞ P36）。

⑧ **VICS情報ボタン**
VICS情報の提供時刻が表示されます。
タッチすると、VICS情報画面を表示します（☞ P88）。

⑨ **広域ボタン/詳細ボタン**
現在の地図の縮尺が表示されます。
[広域]または[詳細]にタッチすると、より広域または詳細な地図を表示します（☞ P32）。

⑩ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。
表示しないように設定することもできます（☞ P73）。

⑪ **時計**
現在の時刻が24時間制で表示されます。
本機の時計はGPS電波を利用して自動で設定されます。

⑫ **案内地点**
：②の方面看板の案内地点を示します。
：⑩のレーン情報の案内地点を示します。

- 現在地の地図が表示されていないときは 現在地 を押してください。どのような画面が表示されていても、現在地の画面に戻ります。
- 細街路（幅員5.5m未満の道路）は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図の表示中は、常に表示されます。

地図の向きと表示方法を変える

地図の向き（3Dヘディングアップ/ノースアップ/ヘディングアップ）と表示方法（3D/2D）を切り替えることができます。

1 コンパスボタンにタッチします。



地図の向きが、3Dヘディングアップ→ノースアップ→ヘディングアップ→3Dヘディングアップの順に切り替わります。

（3Dヘディングアップ）



進行方向が画面の上になる向きで3D地図が表示されます。

市街地図では、周囲の建物の様子まで再現した3Dバーチャルマップが表示されます。



地域によっては、3Dバーチャルマップを表示できない場合があります。

（ノースアップ）



地図の北が画面の上になるように2D地図が表示されます。

（ヘディングアップ）



進行方向が画面の上になるように2D地図が表示されます。

● 地図の向きは、メニューで切り替えることもできます（☞ P38）。

地図の縮尺を変える

地図の縮尺を変えることができます。

1 [広域]または[詳細]にタッチします。

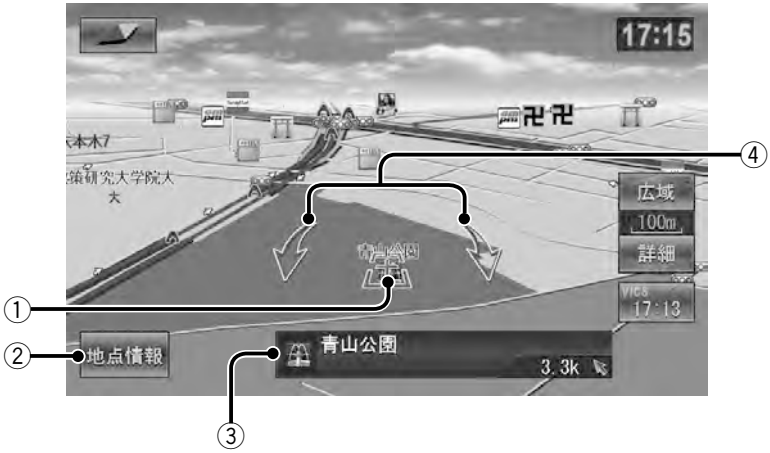


広域または詳細な地図が表示されます。

- 50m、25m、10mスケールでは市街地図が表示されます。ただし、市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては、自車位置が道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地図画面の 縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面(☞ P33)で 縮尺を変えても、現在地図画面に戻ったときには、直前の現在地図画面と同じ縮尺で表示されます。

スクロールして地図を表示する

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールされます（ポイントスクロール）。また、地図にタッチし続けると、タッチしている方向に地図が連続してスクロールされます（連続スクロール）。



① [+]（カーソル）
操作の対象となる地点を指します。

② 地点情報
カーソルの位置の地点情報メニューを表示します。
この画面で、カーソルの位置を行き先（目的地、経由地）に設定したり（☞ P60）、地点登録する（☞ P76）こともできます。

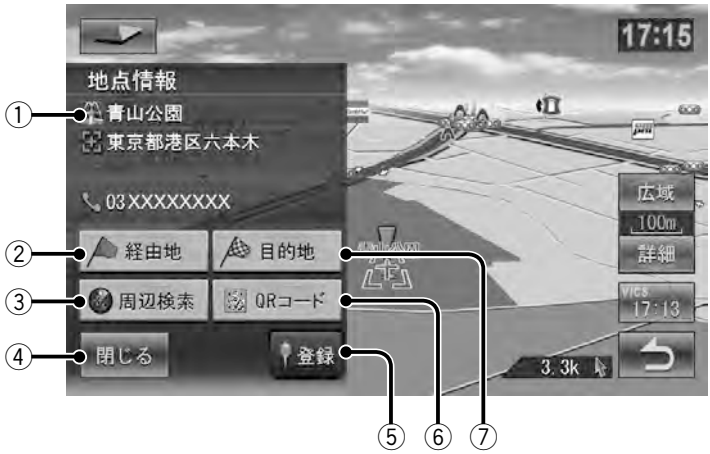
③ 地点情報表示
カーソルのある地点の情報（住所や施設名など）と、現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

④ 地図回転ボタン
タッチすると、カーソルを中心に地図を360度回転します。
このボタンは、3Dヘディングアップ時に表示されます。

- 現在地 を押すと、現在地図画面に戻ります。
- 走行中は連続スクロールできません。

スクロールした地点の情報を見る

スクロール地図画面で[地点情報]にタッチすると、カーソルのある地点の情報が表示されます。



① 施設名/住所/電話番号

② 経由地

カーソルのある地点を経由地に設定します（☞ P60）。

③ 周辺検索

カーソルのある地点で、施設を周辺検索します。検索方法については、50ページの **2** 以降をご覧ください。

④ 閉じる

地点情報メニューを閉じます。

⑤ 登録

カーソルのある地点を地点登録します（☞ P76）。

⑥ QRコード

地点情報をQRコード（2次元バーコード）に変換して表示します。携帯電話で読み取ると、携帯電話で地図を見ることができます（☞ P57）。

⑦ 目的地

カーソルのある地点を目的地に設定します（☞ P60）。

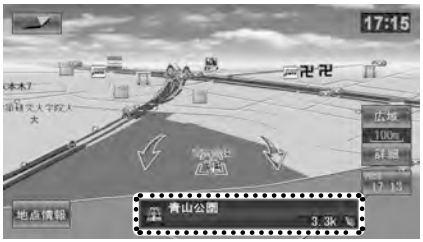
● 施設名、住所、および電話番号は、データベースから情報を取得できた場合に表示されます。

ランドマークの情報を表示する

地図に表示されるランドマークの情報を表示します。

1 情報を表示するランドマークにタッチします。





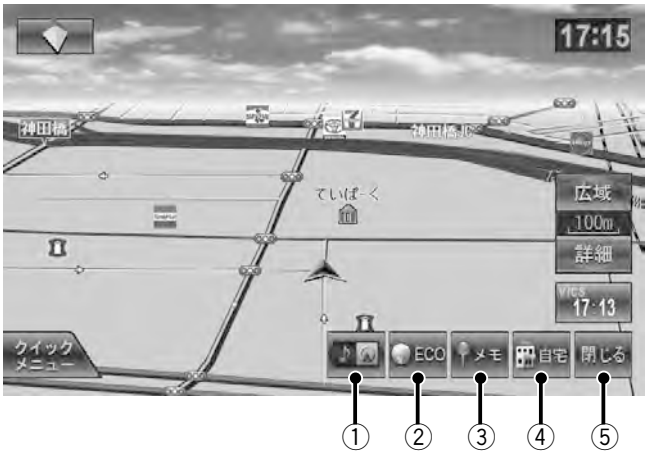
地点情報表示では、施設名と、現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

● 地図でマークが重なっている場合、地点情報表示のマークにタッチすると、表示される情報が切り替わります。



地図画面のショートカットボタンを使う

操作ボタンの機能を使います。



① 

簡易AV表示を表示します（☞ P37）。

② 

エコ情報を表示します（☞ P42）。

③ 

現在地を地点登録します（☞ P76）。

④ 

自宅に帰るルートを探索します（☞ P44）。

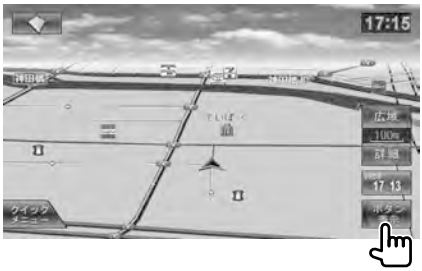
⑤ 

操作ボタンを閉じます。

● [自宅]で自宅に帰るルートを探索するためには、あらかじめ自宅を地点登録しておく必要があります（☞ P44）。

操作ボタンを表示するときは

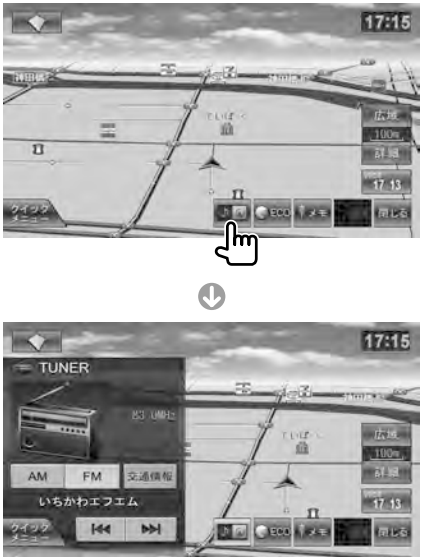
操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチします。



AVソース画面を地図画面に表示する

現在地図画面に現在のソースの画面を表示することができます（簡易AV表示）。

1 にタッチします。



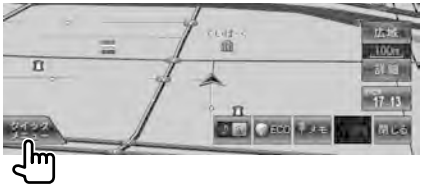
簡易AV表示が表示されます。
もう一度 にタッチすると、簡易AV表示は消えます。

- 地図をスクロールすると、簡易AV表示は消えます。現在地図画面に戻ると、再び簡易AV表示が表示されます。
- 走行中は、映像は映りません。
- 簡易AV表示中は、方面看板やハイウェイモード画面が表示されません。

クイックメニューを使う

クイックメニューのボタン（ショートカットボタン）に機能を割り当てます。

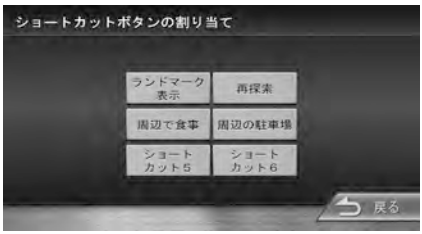
1 [クイックメニュー]にタッチします。



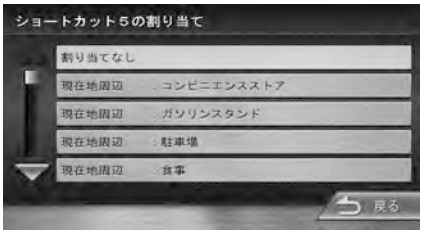
2 [編集]にタッチします。



3 設定するボタンにタッチします。



4 設定する機能を選んでタッチします。



機能が割り当てられ、**3** の画面に戻ります。

割り当てた機能は地図画面で［クイックメニュー］にタッチすると表示されます。
使いたい機能にタッチしてください。

地図の表示を設定する

地図の色やランドマークの表示など、地図の表示方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。





設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
地図色	–	地図の色を設定します（☞ P39）。
ランドマーク表示	–	地図に表示するランドマークを設定します（☞ P39）。
登録地点表示	–	地図に表示する登録地点を設定します（☞ P40）。
自車マーク	–	自車マークのデザインを設定します。
ぬけみちの表示	する*	ぬけみちを表示します。
	しない	表示しません。
走行軌跡の表示	する*	軌跡を表示します。
	しない	表示しません。
走行軌跡を消去	–	記憶されている走行軌跡を消去します。 [消去]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、走行軌跡は消去されます。
地図の向き		ヘディングアップにします。
		ノースアップにします。
	*	3D表示にします。

* お買い上げ時の設定

- 走行軌跡は、現在地より過去100km分が保存されています。
- 「走行軌跡の表示」を[しない]に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。
- ランドマーク表示は、お買い上げ時は、「コンビニエンスストア」、「ガソリンスタンド」、「カーディーラー」、「自動車→カー用品」が表示されています。
- 「ぬけみちの表示」とは、本機のデータベースに収録されている情報からぬけみちを表示する機能です。
 ぬけみちは、200m以下のスケールで紫色で表示されます。200mよりも広域のスケールや市街地図では表示されません。

地図の色を設定する

昼画面/夜画面の地図の色（イメージ）を設定します。
また、昼画面/夜画面の切り替え方法を設定します。

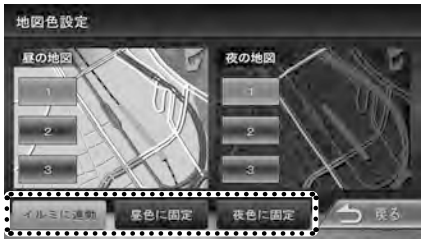
▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「地図色」の[設定]にタッチします。



2 [イルミに連動]、[昼色に固定]、または[夜色に固定]にタッチして、画面の切り替え方法を設定します。



[イルミに連動]： 車両のライトスイッチに連動して（ライト消灯時には昼画面、点灯時には夜画面）自動的に切り替わります。
[昼色に固定]： 常に昼の色の地図を画面に表示します（昼画面）。
[夜色に固定]： 常に夜の色の地図を画面に表示します（夜画面）。

3 「昼の地図」および「夜の地図」の色のボタン（1、2、3）にタッチして、各々の色を設定します。

ただし、昼固定時は昼画面のみ、夜固定時には夜画面のみを設定できます。

ランドマークの表示を設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。

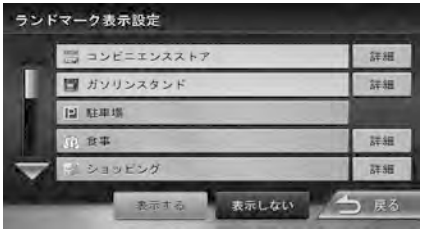
▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「ランドマーク表示」の[設定]にタッチします。



2 表示するランドマークのジャンルのボタン、またはその[詳細]にタッチします。



ジャンルのボタンにタッチすると、そのジャンルに含まれるすべての項目がハイライトされ選択されます。
個別に選択する場合は、[詳細]にタッチして項目を選んでください。

ハイライト表示されているボタンにタッチすると、通常の表示に戻り、選択が解除されます。

- **2** で[表示しない]にタッチすると、すべてのランドマークが表示されません。
- ランドマークは、100m以下のスケールで表示されます。

登録地点の表示を設定する

地図に表示する登録地点をカテゴリーで設定します。

▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「登録地点表示」の[設定]にタッチします。



2 表示する登録地点のカテゴリーをタッチします。



タッチするとそのカテゴリーが選択され、ボタンはハイライト表示されます。

ハイライト表示されているボタンにタッチすると、通常の表示に戻り、選択が解除されます。

● **2** で[表示しない]にタッチすると、すべての登録地点が表示されません。

現在地を修正する

自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正できます。

▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します



1 「その他」にタッチします。



2 「現在地修正」の[修正]にタッチします。

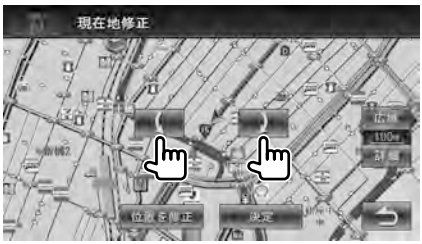


3 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせます（位置を修正）。



4 [向きを修正]にタッチします。

5 ◀ または ▶ にタッチして、自車の向きを設定します（向きを修正）。



6 [決定]にタッチします。

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
- **6** で[決定]にタッチする前なら、[位置を修正]または[向きを修正]にタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおせます。
- **6** で[決定]にタッチする前に ↩ にタッチすると、修正した自車位置や向きは破棄されてナビ設定（その他）メニューに戻ります。

エコ情報を表示する

エコ情報を表示します。

1 [ECO]にタッチします。





エコ情報が表示されます。

《エコ情報表示》



① **エコドライブ評点**

少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。

② **エコ情報インジケータ**

eスタート、急加速、急減速、および経済速度の判定が表示されます。

③ ECO メニュー

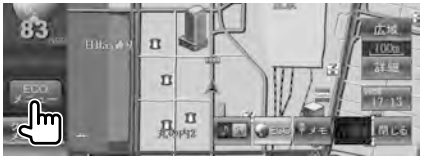
ECOメニューを表示します（☞ P43）。

- エコ情報で表示される内容は、あくまでも目安です。
- エコ情報画面が表示されているときは、方面看板、ハイウェイモード画面は表示されません。

ECOメニューを表示する

ECOメニューを表示します。

1 [ECOメニュー]にタッチします。





ECOメニューが表示されます。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
運転評価	日ごとの運転のエコ評価を、評価項目ごとに表示します。  ◀または▶で表示する日にちを選択できます。
ECOレシオ	7運転日の燃費度合いの変化をグラフで表示します。  ◀または▶で表示する日にちの範囲を選択できます。
ECOアドバイス説明	エコドライブのアドバイスを表示します。 
運転履歴	日ごとの運転履歴を表示します。  ◀または▶で表示する日にちを選択できます。
ECO設定	ECO設定メニューを表示します。  **ECO判定モード**： エコ度の判定のモード（ソフト/ノーマル*/ハード）を設定します。ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。 (* お買い上げ時の設定) **ECOデータ**： 過去のエコデータを消去します。 [消去]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。 [はい]にタッチすると、エコデータが削除されます。

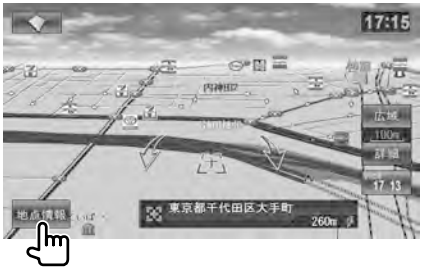
- 運転評価、ECOレシオ、運転履歴は、過去30運転日分から表示する日にちを選択できます。
- 車が停車している状態をアイドリング中とみなします。エンジンを停止中でも本機の電源がオンになっていればアイドリング時間が増えます。

自宅を登録する

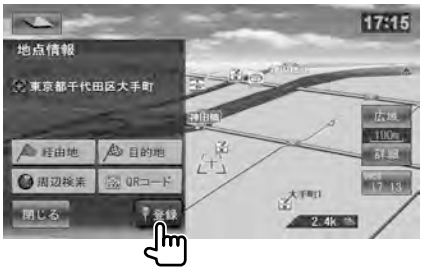
自宅を地点登録しておくと、自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 スクロール地図画面で、自宅の位置にカーソルを合わせます。

2 [地点情報]にタッチします。



3 [登録]にタッチします。



4 「未分類」と表示されている行の[編集]にタッチします。



5 [自宅]にタッチします。



● すでに自宅が登録されているときに自宅(🏠)を選択すると、確認のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると、自宅が変更されます。この場合、先に自宅として登録されていた地点は、「未分類」カテゴリーに移動されます。

自宅に帰る

自宅を登録しておくと、自宅に帰るルートを探索できます。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [自宅]にタッチします。



ルート探索が開始されます。
ルート案内の開始については60ページをご覧ください。

● 現在地図画面の操作ボタンでも操作できます(☞ P36)。



目的地検索メニューを表示する

メニュー を押すと、目的地検索メニューが表示されます。このメニューで、行き先（目的地、経由地）をいろいろな方法で探します。



① **名称**（☞ P46）
施設名やキーワードで地点検索します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。

② **住所**（☞ P48）
住所で地点検索します。

③ **ジャンル**（☞ P49）
食事や買い物など、ジャンルで地点検索します。エリアで絞り込むこともできます。

④ **周辺**（☞ P50）
現在地、経由地、目的地周辺でジャンル検索します。

⑤ **登録地点**（☞ P52）
本機で登録した場所（登録地点）のなかから探します。

⑥ **履歴**（☞ P52）
いままで地点検索した履歴の中から探します。

⑦ **自宅**（☞ P44）
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。
ただし、あらかじめ自宅を登録しておく必要があります（☞ P44）。

⑧ **番号**（☞ P51）
電話番号、郵便番号、マップコードで地点検索します。

⑨ **SDから読込**（☞ P54）
MapFan.net（Windows用アプリケーション）で編集した地点をSDカードに書き出した場所から検索します。

⑩ **まっぷるコードで探す**（☞ P56）
まっぷるコードで検索します。

名称から探す

会社や店舗などの場所を名前（読みがな）で探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [名称]にタッチします。



2 施設の名前を入力します。



にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。

3 [検索]にタッチします。

4 行き先を選んでタッチします。



エリアまたはジャンルで絞り込むときは47ページをご覧ください。
検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- **2** での入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。
 また、「っ」（促音）や「ゃゅょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。
- 名前の文字を入力するたびに対象が絞り込まれ、その状態は「完全一致」または「部分一致」に件数で表示されます。
 部分一致件数が5件以下になると、自動的に **4** の画面が表示されます。

エリアで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、エリアで絞り込むことができます。

1 [エリアで絞り込む]にタッチします。

2 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

3 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- 都道府県だけの絞り込みでは件数が多い場合、市区町村を指定する画面が表示される場合があります。
- エリアで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません。」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。

ジャンルで絞り込むときは

検索結果の件数が多いときには、ジャンル（施設の種類）で絞り込むことができます。

1 [ジャンルで絞り込む]にタッチします。

2 ジャンルを選んでタッチします。



3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

4 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- ジャンルで施設を絞り込んだときに該当する施設がない場合、「該当する施設がありません。」と表示されます。メッセージにタッチするか一定時間が経過すると、絞り込み画面に戻ります。

住所から探す

住所で探します。

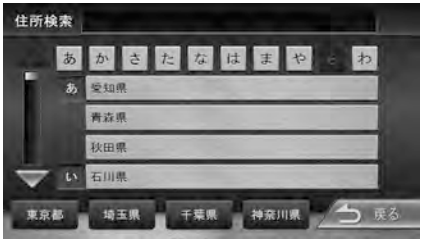
▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [住所]にタッチします。

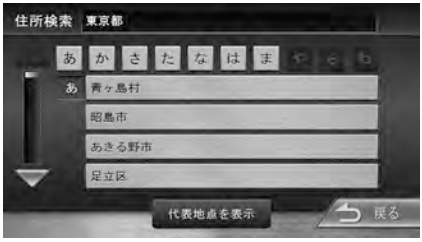


2 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

3 市区町村を選んでタッチします。



4 画面に従って、住所の続き（地名や番地など）を入力します。



[代表地点を表示]にタッチすると、入力済みの住所付近の地図が表示されます。
[番地を入力]にタッチすると、番地の入力画面が表示され、番地（丁目、番、号など）をテンキーで入力できます。

住所を最後まで選択すると検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- 都道府県名、市区町村名、地名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。
- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。



にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、入力したすべての文字を削除できます。

ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルを絞り込みながら探します。さらに、エリアで絞り込みます。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [ジャンル]にタッチします。

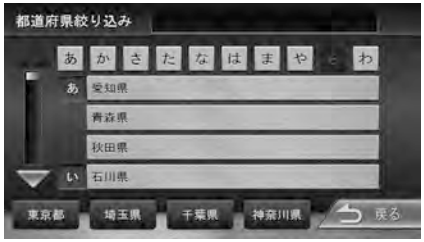


2 ジャンルを選んでタッチします。



3 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

4 都道府県を選んでタッチします。



現在地または隣接都道府県は、画面下部のボタンで選択できます。

5 市区町村を選んでタッチします。



6 目的の施設を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- ジャンルの分類については176ページをご覧ください。
- 都道府県名、市区町村名は、[あ]～[わ]で頭だしできます。

地点の周辺施設を探す

現在地、経由地または目的地周辺にある指定したジャンルの施設を探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [周辺]にタッチします。



2 ◀または▶にタッチして、探したい地点（現在地周辺、目的地周辺、または各経由地周辺）を選択します。



3 ジャンルを選んでタッチします。



4 画面に従って、ジャンルを絞り込みます。

5 目的の施設を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

- ジャンルの分類については176ページをご覧ください。
- ルートが設定されていないときは、**2** で目的地や経由地は指定できません。
- 目的地周辺または経由地周辺で周辺検索した場合、検索結果画面に表示される距離は、目的地または経由地からの直線距離です。

（目的地周辺の場合）



（経由地周辺の場合）



電話番号/郵便番号/マップコードで探す

電話番号、郵便番号、マップコードで探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [番号]にタッチします。



2 検索に使用する番号の種類を選んでタッチします。



3 番号を入力して[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

にタッチすると、最後に入力した1文字を削除できます。また、タッチし続けると、すべての文字を削除できます。

- 指定した電話番号がデータベースに収録されていない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
 局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して[検索]にタッチしてください。



- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 電話番号または郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索]にタッチする必要はありません。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ(http://www.e-mapcode.com/)をご覧ください。

登録地点から探す

登録した地点から探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



2 カテゴリーを選んでタッチします。



3 登録地点を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

● 地点の登録方法については76ページ、編集方法については78ページをご覧ください。

検索履歴から探す

今までにルート探索した行き先から探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [履歴]にタッチします。



2 検索履歴を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

● 目的地または経由地として設定してルート探索した場所が履歴に保持されます。
● 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。
● 検索履歴を手動で削除することもできます（☞ P53）。

検索履歴を削除するときは

不要になった履歴地点を削除します。

1 [削除]にタッチします。



2 削除する履歴地点を選んでタッチします。



3 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

選択した履歴地点が削除され、**1** の画面に戻ります。

- 削除した履歴地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- **2** で複数の地点を選択することもできます。
- **2** で、[全て選択]にタッチすると、すべての履歴地点が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、履歴地点の選択が解除されます。
- 検索履歴は50か所まで保持されます。50か所を超えると、自動的に古いものから削除されます。

SDカードから読み込む

MapFan.net（Windows用アプリケーションソフト）でブックマークした地点を本機で検索することができます。

MapFan.netについて

MapFan.netは、インクリメントP社製Windows用地図ソフトアプリケーションです。オンライン接続で地図を表示して、行きたいところを探し、ブックマークしておくことができます。
MapFan.netでブックマークした地点をSDカードにコピーして本機に挿入するとブックマークした地点を検索することができます。

MapFan.netを購入する

購入については、http://www.mapfan.net をご覧ください。

パソコンにインストールする

- INCREMENT P MapFan.netとMapFan.netエディタがインストールされます。ディスクトップにできるショートカットアイコンまたは「スタート」-「プログラム」から起動してください。
- 地点をブックマークするには、INCREMENT P MapFan.netを、SDカードへ書き出すにはMapFan.netエディタを使います。

MapFanで地点をブックマークする

ブックマーク登録方法については、立ち上げたときに表示される画面の「ユーザーサポート」→「マニュアル」の中にあるブックマークの項をご覧ください。

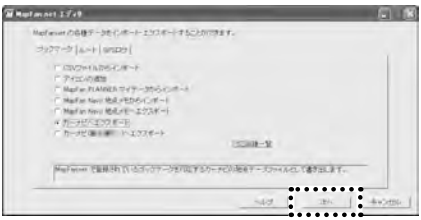


ブックマークをSDカードに書き出す

MapFan.netのブックマークをSDカードに書き出すときは

MapFan.netで登録した地点をSDカードに書き出します。
あらかじめSDカードにmapfandataフォルダを作成し、さらにその中にPOIフォルダ（<SDカードのドライブ名>¥mapfandata¥POI¥）を作成しておいてください。

1 MapFan.netエディタの[ブックマーク]タブで「カーナビへエクスポート」を選択し、[次へ]をクリックします。



2 SDカードに書き出すブックマークを選択し、[次へ]をクリックします。



3 [参照]をクリックして保存先を指定します。



保存先は、<SDカードのドライブ名>¥mapfandata¥POI¥です。

4 [次へ]をクリックします。



選択したブックマークがSDカードに書き出されます。書き出しが完了するとメッセージが表示されます。

本機に読み込むときは

▶ 目的地検索メニューを表示します

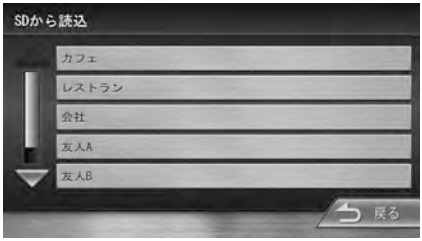
メニュー

1 SDカードを本機に挿入します。

2 [SDから読込]にタッチします。



3 行き先を選んでタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

まっぷるコードで探す

まっぷるコードで観光地などを探します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [まっぷるコードで探す]にタッチします。



2 まっぷるコードを入力し、[決定]にタッチします。



検索した地点のスクロール地図画面に切り替わり、地点情報メニューが表示されます。
行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

● まっぷるコードに関する情報は、昭文社のホームページ（http://www.mapple.co.jp/）をご覧ください。

マップクリップを利用する

マップクリップは、地点情報をQRコード（2次元バーコード）に変換し携帯電話またはスマートフォンで読み取ると、携帯電話またはスマートフォンで地図を見ることができるサービスです。

- 「マップクリップ」は、ドコモ、au、ソフトバンクの携帯電話またはスマートフォンでご利用いただけます。
- 携帯電話の機種によっては、QRコードの読み取りに対応していないものもあります。また、スマートフォンの場合はQRコードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 携帯電話でのQRコードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
 スマートフォンでQRコードを読み取るには、アプリケーションが必要です。
- 読み取った地図1画面のみの閲覧は無料です。スマートフォンの場合、１画面の閲覧と地図の縮尺変更まで無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- ケータイMapFanまたはスマートフォン向けMapFanの会員の方は、地図の縮尺変更（スマートフォンは可能）や移動など、１画面を超える範囲を見ることができます。また、表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することもできます。
- ケータイMapFan、スマートフォン向けMapFanサービスは月額315円（税込）です。
- 「マックックリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

▶ 地点検索します

1 [QRコード]にタッチします。



2 QRコードを表示して、携帯電話またはスマートフォンで読み取ります。



：検索した地点のQRコードを表示します。

：自車位置と検索した地点のQRコードを表示します。

：目的地と検索した地点のQRコードを表示します。

[小]/[中]/[大]：QRコードを大、中、小で表示の大きさを切り替えます。

QRコードを読み取るとMapFanのサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

iPhoneアプリ「NaviCon」との連携

NaviConでできること

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。
また、NaviConには次の機能があります。

- NaviConは、他のiPhone検索アプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報をNaviConに取り込むことができます。
 連携できるアプリの種類や詳細については http://navicon.denso.co.jp/user/support/ をご覧ください。
- iPhoneの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報をNaviConで目的地に設定できます。
- 他のNaviConユーザーに、地点情報をメールまたはSMSで送信することができます。
- 他のNaviConユーザーからの地点情報を受信することができます。

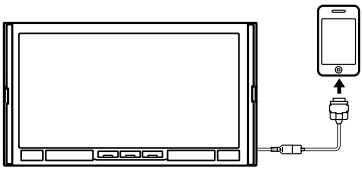
NaviConから本機で目的地を設定する

NaviConで検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。
NaviConを本機に接続して起動すると本機の画面がNaviConで表示している地点と同じ地点の地図画面に切り替わります。

iPhoneを本機に接続するときはiPod接続ケーブル（別売品）が必要です。iPod接続ケーブルについては193ページをご覧ください。

1 App Storeからアプリケーション「NaviCon」をダウンロードします。

2 本機にiPhoneを接続します。



本機に接続するiPhoneがインターネット接続されていることを確認しておいてください。

3 iPhoneの「NaviCon」を起動します。

4 「NaviCon」から本機に地点情報を転送します。

転送方法については「NaviCon」の操作方法をご覧ください。

転送された場所が本機に表示されます。

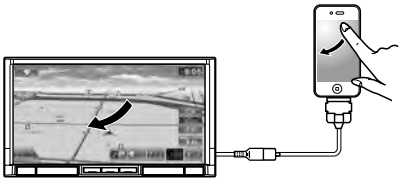


行き先に設定してルート探索する方法については60ページをご覧ください。

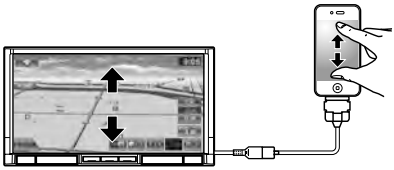
NaviConからナビの地図表示を操作する

NaviConの画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。また、地図を拡大/縮小すると、本機の地図も拡大/縮小されます。本機からNaviConの地図表示を変えることはできません。

《スクロール》



《拡大/縮小》



ルート探索と案内開始

ルートを探索して案内を開始する

地点検索した場所を行き先（目的地、経由地）に設定してルートを探索し、ルート案内を開始します。
経由地は目的地を設定した後に設定できます。

▶ 行き先を地点検索します

目的地に設定するときは

1 [目的地]にタッチします。



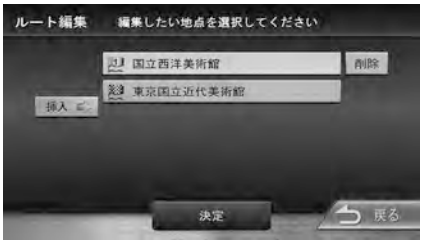
ルート探索が開始されます。

経由地に設定するときは

1 [経由地]にタッチします。



2 経由地の挿入位置を確認し、[決定]にタッチします。



ルート探索が開始されます。
挿入位置の変更や削除については74ページをご覧ください。

ルートを選択して案内を開始するときは

1 ルートを選択します。



目的地までの到着予想時刻と距離が表示されます。
有料道路を通る場合は、料金、および最初と最後のIC名が表示されます。
[推奨]：推奨ルートです。
[一般]：一般道を優先的に通るルートです。
[高速]：高速道路を優先的に通るルートです。
[距離]：距離ができるだけ短くなるルートです。
[高速/距離]：高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道では距離ができるだけ短くなることを優先したルートです。
[5ルート]：すべてのルートを表示します。

2 [案内開始]にタッチします。
ルート案内が開始されます。
ルート案内中の地図については68ページをご覧ください。

- 目的地が設定されていないときには経由地は設定できません。
- 経由地は4か所まで設定できます。
- 続けて経由地を設定する場合は、**2** で、メニュー を押して目的地検索メニューに戻り、行き先を検索してください。
- ルートの全体を見ることもできます（☞ P64）。
- 案内開始後に、行き先の順番を変えたり（☞ P74）、削除することもできます（☞ P75）。
- 料金は、車両ナンバーの設定（☞ P153）に基づいて表示されます。
- 表示される料金には、ETC割引などの各種割引は考慮されていません。
- 料金は、地図データベース作成時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「〜円以上」または「不明」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

［目的地］または［経由地］にタッチしたときに、次のメッセージが表示されることがあります。

「一般道を目的地（経由地）にしますか?」

カーソルが高速道路または有料道路の付近にあるときに表示されます。

一般道にするときは［はい］に、高速・有料道路にするときは［いいえ］にタッチします。

「提携している駐車場があります。検索しますか?」

目的地または経由地にした施設に提携駐車場があるときに表示されます。

［はい］にタッチすると、提携駐車場の一覧が表示されます。利用する駐車場を選んでタッチします。

［いいえ］にタッチすると、施設へのルート探索が始まります。

「 スマートICを利用します。よろしいですか？ 」

ルート探索・再探索にスマートICを利用する設定にしていて（☞ P63）、スマートICを通過するルートを探索したときに表示されます。

利用するときは［はい］に、利用しないときは［いいえ］にタッチします。

利用するインターチェンジを指定する

探索された入口または出口IC（インターチェンジ）以外のICを利用するように指定することができます。

1 入口または出口ICのボタンにタッチします。



2 入口または出口に指定するICをリストで選択してタッチします。



リストに表示された距離は、探索されたICからの直線距離です。

探索されたICと指定したICの2地点が表示された地図が表示されます。

3 地図を確認し、「決定」にタッチします。



指定したICを通過するルートの探索が開始されます。

4 「案内開始」にタッチします。



ルート中の最初と最後のIC名が表示されます。指定したICと同じになる場合はIC名の枠が緑色になります。

- 経由地を設定しているときに、乗降ICを指定しようとすると、「乗降ICを設定すると、経由地設定が解除されます。よろしいですか？」と表示されます。「はい」にタッチすると経由地の設定が解除され、乗降ICを設定する画面が表示されます。
- 乗降ICを指定しているときに、経由地を設定しようとすると「経由地を設定すると、乗降IC設定が解除されます。よろしいですか？」と表示されます。「はい」にタッチすると乗降ICの指定が解除され、経由地の挿入先を指定する画面が表示されます (☞ P60)。
- 現在地と指定したICの位置によっては、指定したICが入口/出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定したIC付近で本機の電源をオフ/オンした場合、ICの指定が解除される場合があります。

インターチェンジ指定を解除するときは

▶ ルートメニューを表示します

メニュー → ルート

1 [再探索]にタッチします。



2 [乗降IC指定解除]にタッチします。



乗降IC指定が解除され、ルートの再探索が開始されます。



探索方法を設定する

ルート探索の方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

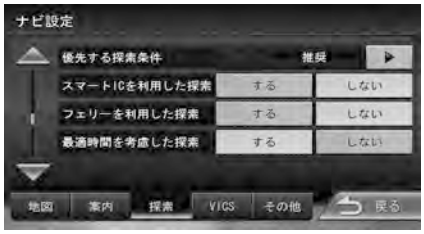
1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [探索]にタッチします。



3 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
優先する探索条件	推奨*	推奨ルートです。
	距離	距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。
	高速	高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。
	一般	一般道を優先的に通るルートです。一般道だけでは目的地に到達できない場合は、高速道路（有料道路）を通るルートになることがあります。
	高速/距離	高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道では距離ができるだけ短くなることを優先したルートです。
スマートICを利用した探索	する	ルート探索時にスマートICを利用します。
	しない*	利用しません。
フェリーを利用した探索	する	ルート探索時にフェリーを利用します。
	しない*	利用しません。
最適時間を考慮した探索	する*	ルート探索時に、VICSによる渋滞情報を考慮します。
	しない	考慮しません。

* お買い上げ時の設定

- 最適時間を考慮した探索をするには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）でのVICS情報取得が必要です。光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）を接続していないと、「最適時間を考慮した探索」で［する］を選んでも機能ははたらきません。

- スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。
- スマートICを利用してのルート案内中にエンジンスイッチを切ると、次にエンジンスイッチを入れたときに「スマートICを利用します。カードの挿入を確認してください。」と表示されます。

目的地付近の地図を表示する

目的地付近の地図を表示することができます。
経由地を設定している場合は、経由地付近の地図も表示することができます。

▶ ルートメニューを表示します

メニュー → ルート

1 [目的地表示]にタッチします。





目的地付近の地図が表示されます。

経由地があるときは

表示したい地点を選択します。



ルート全体を表示する

現在のルート全体を表示します。

▶ ルートメニューを表示します

メニュー → ルート

1 [ルート表示]にタッチします。





ルート全体とルート情報が表示されます。

シミュレーションでルートを見る

実際に走行するときと同じように、地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます（デモ走行）。

▶ ルートメニューを表示します

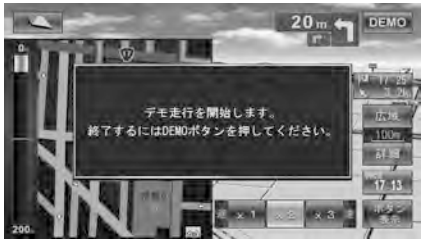
メニュー ➡ ルート

1 [ルート表示]にタッチします。



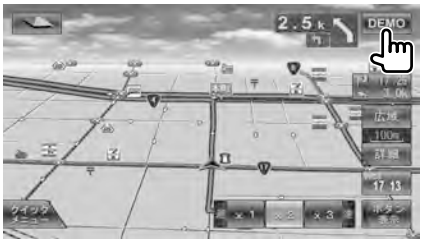
2 [デモ走行]にタッチします。





デモ走行が開始されます。
×1、×2、×3 にタッチすると、デモ走行のスピードを変えることができます。

3 デモ走行を終了するときは、[DEMO]にタッチします。



● デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に、地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

現在地からのルートを探索しなおす

現在地から、ルートの種類（推奨、距離、高速、一般、高速/距離）を変えてルート探索しなおします。

▶ ルートメニューを表示します

メニュー ➔ ルート

1 [再探索]にタッチします。



2 ルートを選択します。



選択できるルートの種類については60ページをご覧ください。

3 [案内開始]にタッチします。

新しいルートでルート案内が開始されます。

- 乗降ICを指定しているときは、ルートの種類を変えることができません。ルートの種類を変えて探索しなおしたいときは乗降ICの指定を解除してください（☞ P62）。

案内を終了する

ルート案内を終了します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [案内終了]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

2 [はい]にタッチします。

案内が終了され、現在地図画面に戻ります。

- [案内終了]は、目的地検索メニューだけではなく、ルートメニューや情報･設定メニューからでも使用できます。
- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ナビの音量を調整する

ナビの音声案内の音量を調整できます。

1 [クイックメニュー]にタッチします。

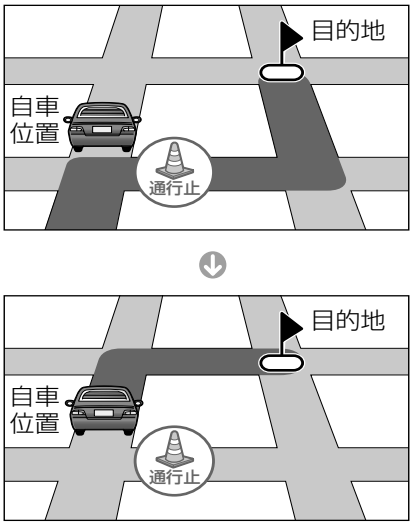


2 ◀または▶で、ナビの音声案内の音量を調整できます。



ルートから外れたときは

案内中のルートから外れても、何も操作する必要はありません。自動的に新しいルートが探索され（オートリルート）、案内が再開されます。

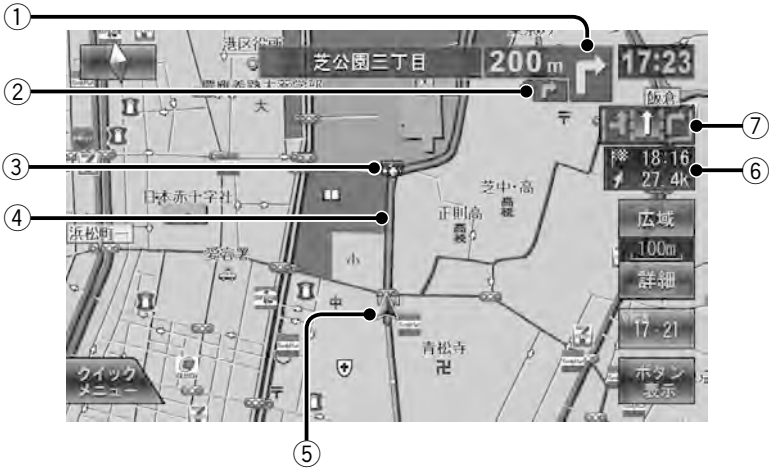


ルート案内中の地図

一般道でのルート案内

一般道でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



① 次案内ポイント案内
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。
ただし、交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

② 次々案内ポイントでの進行方向
①のさらに次の案内ポイントの進行方向が表示されます。①とさらに次の案内ポイントが近い場合に表示されます。

③ 案内ポイント
案内ポイントの位置を表します（☞ P72）。

④ 案内ルート
道路の種類（一般道/高速道路/細街路）によって色分けして表示されます。

⑤ 自車マーク

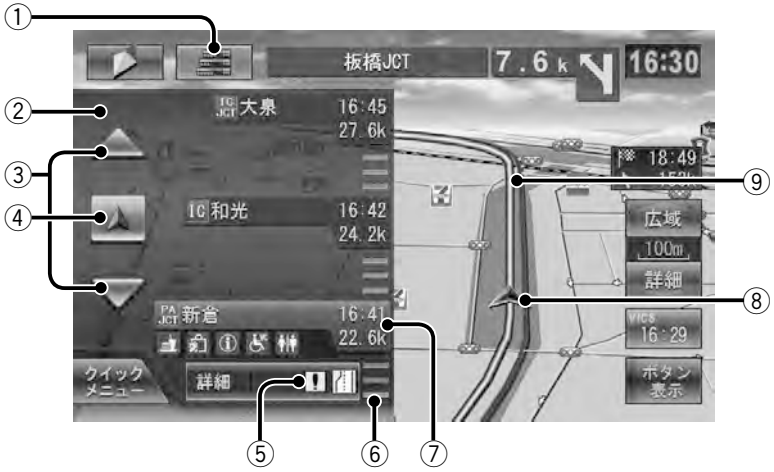
⑥ 到着予想時刻と距離
対象の行き先（次の経由地または目的地）への到着予想時刻と距離が表示されます。
このボタンにタッチするたびに、対象の行き先が切り替わります。

⑦ レーン情報表示
次の交差点での通行区分と、案内レーン（白色矢印）が表示されます。
推奨通過レーンがある場合は水色矢印で表示されます。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中には次の情報が表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。



① ハイウェイモードボタン
ハイウェイモード画面を閉じます。
もう一度タッチすると、ハイウェイモード画面が再び表示されます。

② ハイウェイモード画面
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

③ スクロールボタン
ハイウェイモード画面内の施設情報表示をスクロールします。

④ 現在地復帰ボタン
ハイウェイモード画面をスクロールしているときに表示され、タッチすると現在地まで戻します。

⑤ 規制情報表示
車線規制等の情報（VICS情報規制表示）が4件までマークで表示されます。
マークにタッチすると詳細情報を表示します。
複数情報があるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ 交通情報表示
施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑、赤色：渋滞

⑦ 施設名称/施設案内表示
施設名称が表示されます。
SAまたはPAの場合、タッチすると詳細情報が表示されます。
また、進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）までの距離、通過予想時刻、および各施設の設備が表示されます。

⑧ 自車マーク

⑨ 案内ルート

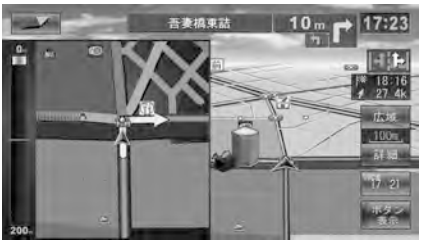
- ⑤の規制情報表示のマークについては85 ページをご覧ください。
- ハイウェイモード画面は、ルート案内中であるかどうかにかかわらず、高速道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路によっては表示されない場合があります。
- ハイウェイモード画面を閉じても、本機の電源をオフにした後に再びオンにしたときには再度表示されます。
- ⑦の施設の設備のマークは最大6個まで表示されます。

案内ポイントでの案内表示

交差点案内図の表示

一般道では、案内ポイントに近づくと交差点案内図が表示されます。
表示しないように設定することもできます(☞ P73)。

《交差点拡大図》
約200m手前に近づくと表示されます。



《リアル交差点イラスト》
イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



《側道分岐イラスト》
イラストのデータがある場合、約300m手前に近づくと表示されます。



● 交差点案内図は、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。
通過前に消したいときは、交差点案内図の表示をタッチしてください。
消した交差点案内図は、現在地 を押すともう一度表示できます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
表示しないように設定することもできます(☞ P73)。

《高速入口》

都市高速道路入口の約300m手前で表示されます。



《分岐》

出口やジャンクションの約1km手前で表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



《出口後分岐》

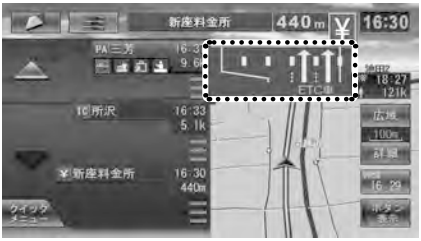
出口分岐を通過後、約1km手前に近づくと表示されます。



- 地点によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。
- イラストは、案内ポイントを通過すると自動的に消えます。
 通過前に消したいときは、イラストの表示をタッチしてください。
 消したイラストは、現在地 を押すともう一度表示できます。

ETCレーン表示

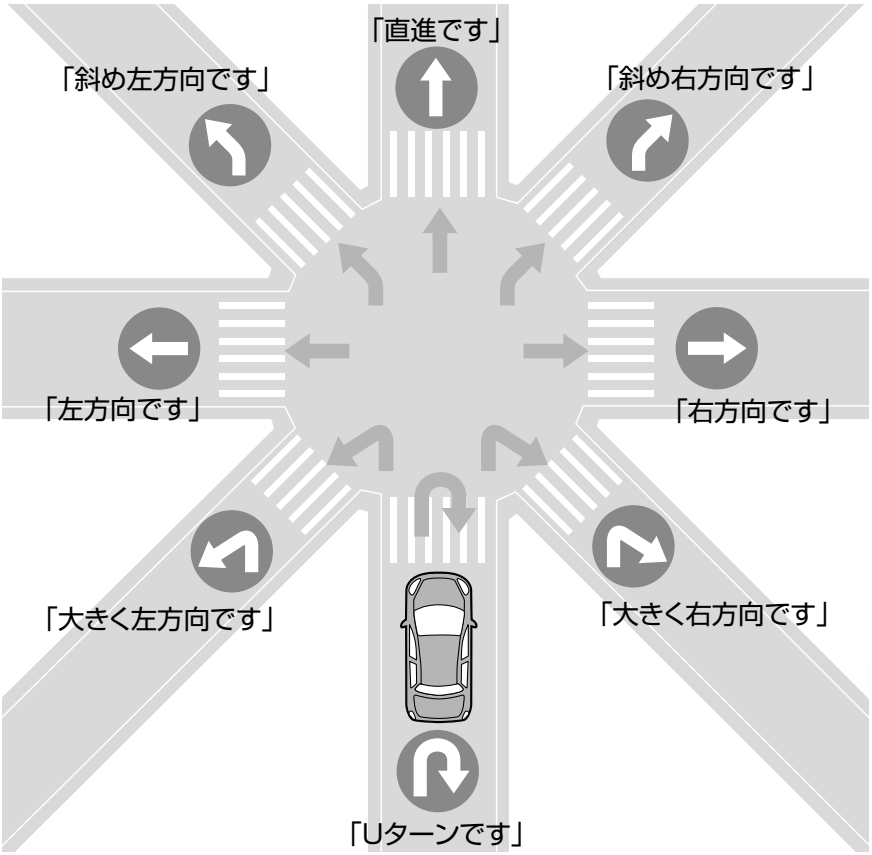
出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートのETCレーンが表示されます。
表示しないように設定することもできます(☞ P73)。



- 案内ポイントを通過すると、ETCレーン表示は自動的に消えます。通過前に消したいときは、ETCレーン表示の枠内にタッチしてください。現在地 を押すと、もう一度表示できます。
- ETCレーン表示は、ルート案内していないときでも表示されます。
- 場所によっては情報がない場合があります。その場合は表示されません。

案内ポイント付近での音声案内

案内ポイントに近づくと、進行方向が音声で案内されます。
案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
また、音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。なお、案内警告音は、鳴らないように設定することもできます（☞ P73）。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

案内方法を設定する

ルート案内の方法を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➡ 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [案内]にタッチします。



3 各項目を設定します。





設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
ナビ案内の音量	1～20	ナビゲーションシステムから出力される音声の音量を設定します。（お買い上げ時は"10"に設定されています。）
案内警告音の出力	する*	案内警告音を出力します。
	しない	出力しません。
ルート案内の音声出力	する*	ルート案内時の案内音声を出力します。
	しない	出力しません。
ETC料金の表示	する*	対応ETC車載器を接続しているときに、ETC通行料金を地図画面に表示します。
	しない	表示しません。
レーン情報の表示	する*	レーン情報を表示します（☞ P30）。
	しない	表示しません。
方面看板の表示	する*	方面看板を表示します（☞ P30）。
	しない	表示しません。
高速道分岐イラストの表示	する*	ルート案内中に高速道分岐イラストを表示します（☞ P71）。
	しない	表示しません。
交差点案内図の表示	する*	ルート案内中に交差点案内図を表示します（☞ P70）。
	しない	表示しません。
ETCレーンの表示	する*	料金所に近づいたときに、ETCレーン案内を表示します（☞ P71）。
	しない	表示しません。

* お買い上げ時の設定

- 「ETC料金の表示」は、対応ETC車載器が接続されている場合に設定できます。
- ETC車載器を接続するには、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310がETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）で接続されている状態です。
- ルート案内の音声の音量は、クイックメニューでも設定できます（☞ P67）。

ルート編集

行き先の順番を変える

行き先（目的地、経由地）の順番を変えます。

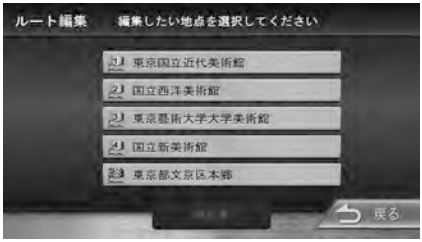
▶ ルートメニューを表示します

メニュー ➔ ルート

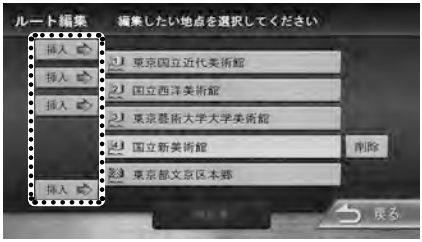
1 [ルート編集]にタッチします。



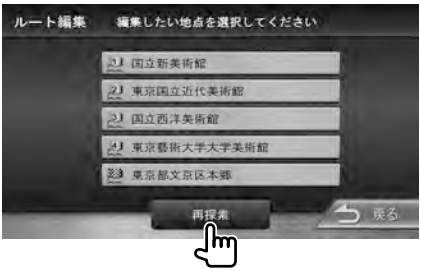
2 順番を変更する行き先を選んでタッチします。



3 移動先の 挿入 にタッチします。



4 [再探索]にタッチします。



5 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。

カーナビ

行き先を削除する

行き先（目的地、経由地）を削除します。

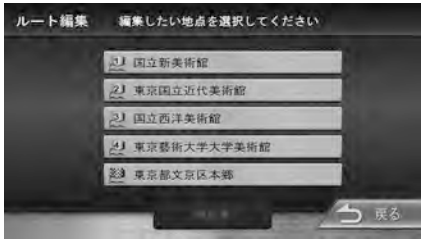
▶ ルートメニューを表示します

メニュー ➔ ルート

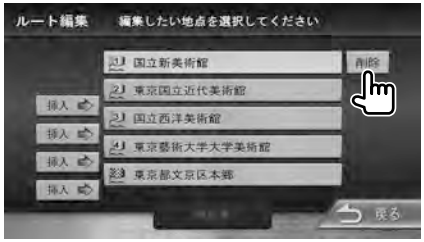
1 [ルート編集]にタッチします。



2 削除する行き先を選んでタッチします。



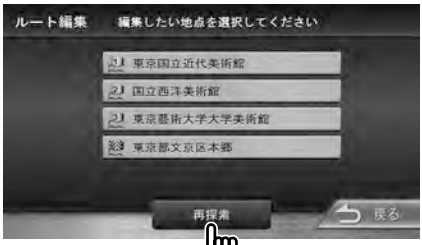
3 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

5 [再探索]にタッチします。



6 [案内開始]にタッチします。



新しいルートで案内が開始されます。

- 削除した行き先を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。
- **4** で[はい]にタッチした後でも、**5** で[戻る]にタッチすると **1** の画面に戻り、削除を中止することができます。

地点登録する

現在地を地点登録します。
地点は300か所まで登録できます。
すでに300か所が登録されている場合は、不要な登録地点を削除してから登録してください。削除方法については82ページをご覧ください。

1 [メモ]にタッチします。



現在地が地点登録されます。

- 操作ボタンが表示されていないときは、[ボタン表示]にタッチしてください。
- 登録した地点は、カテゴリー「未分類」に登録されます。
- 登録した地点の名前、電話番号、カテゴリーを編集することができます（☞ P78）。

また、地図をスクロールしたり地点検索したりして、任意の場所を地点登録することもできます。

1 地点登録する場所にカーソルを合わせます。

目的地検索メニューで地点検索した場合は **3** に進みます。

2 [地点情報]にタッチします。



3 [登録]にタッチします。



カーソルの位置が地点登録されます。

登録地点の情報を見る

本機に記憶させた場所の情報を表示します（登録地点情報）。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

1 [登録地点]にタッチします。



2 表示する情報のカテゴリーを選んでタッチします。



3 情報を表示する登録地点を選んでタッチします。





登録地点の情報が表示されます。

● 情報を表示した地図画面は、常にノースアップの100mスケールで表示されます。

登録地点を編集する

登録した地点の名前、電話番号を編集することができます。また、登録した地点のカテゴリーを変更することもできます。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

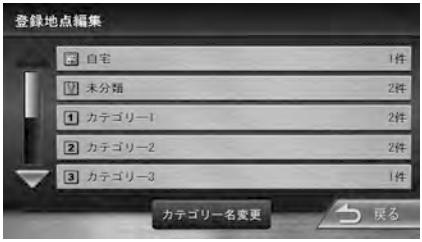
1 [登録地点]にタッチします。



2 [編集]にタッチします。



3 編集する登録地点のカテゴリーを選んでタッチします。



登録後一度も編集していない地点は、(未分類)のカテゴリーに分類されています。

4 編集する登録地点を選んでタッチします。



登録地点編集画面が表示されます。

- 名前をつける ➔ 79ページ
- 電話番号を設定する ➔ 79ページ
- カテゴリーを変更する ➔ 80ページ
- カテゴリー名を変更する ➔ 80ページ

名前をつける

登録地点の名前を変更します。

▶ 名前を変更する登録地点の情報を表示します（☞ P78）

1 登録地点編集画面で、名前欄の[編集]にタッチします。



2 名前を入力します。



文字の入力方法については83ページをご覧ください。

3 [決定]にタッチします。

1 の登録地点編集画面に戻ります。

● 名前には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。

電話番号を設定する

登録地点に電話番号を設定します。

▶ 電話番号を登録する登録地点の情報を表示します（☞ P78）

1 登録地点編集画面で、電話番号欄の[編集]にタッチします。



2 電話番号を入力します。



3 [決定]にタッチします

1 の登録地点編集画面に戻ります。

● ハイフン「－」は省略することもできます。
● 15文字まで入力できます。

登録地点のカテゴリーを変更する

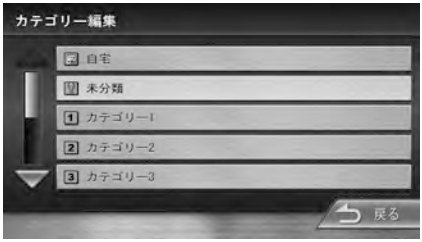
登録地点のカテゴリーを変更します。

▶ カテゴリーを変更する登録地点の情報を表示します（☞ P78）

1 登録地点編集画面で、カテゴリー欄の[編集]にタッチします。



2 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



1 の登録地点編集画面に戻ります。

登録地点のカテゴリー名を変更する

カテゴリー名を変更します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

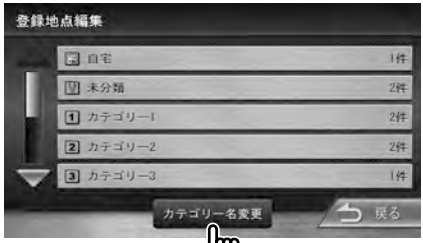
1 [登録地点]にタッチします。



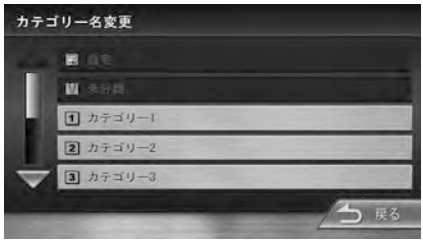
2 [編集]にタッチします。



3 [カテゴリー名変更]にタッチします。



4 変更するカテゴリーを選んでタッチします。



5 カテゴリー名を入力します。



文字の入力方法については83ページをご覧ください。

6 [決定]にタッチします。

4 のカテゴリー名変更画面に戻ります。

● カテゴリー名には、漢字、ひらがな/カタカナ、英字、数字/記号で48文字まで入力できます。

登録地点を削除する

登録地点を削除します。

▶ 目的地検索メニューを表示します

メニュー

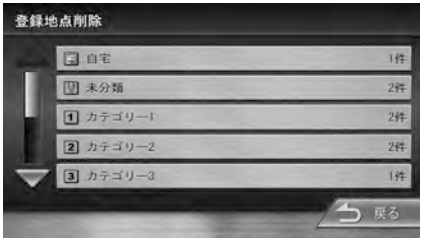
1 [登録地点]にタッチします。



2 [削除]にタッチします。



3 削除する登録地点のカテゴリーを選んでタッチします。



4 削除する登録地点を選んでタッチします。



5 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

6 [はい]にタッチします。

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。まちがいのないように、慎重に操作してください。
- **4** で複数の地点を選択することができます。
- **4** で、[全て選択]にタッチすると、すべての登録地点が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、登録地点の選択が解除されます。

文字の入力



① かな 、カナ 、英数 、記号
入力する文字の種類を切り替えます。

② 小文字
ひらがなまたはカタカナ入力時には拗音（ゃ、ゅ、ょなど）や促音（っ）などを入力します。
アルファベットの入力時には小文字を入力します。

③ 変換
入力した文字を変換します。

④ 無変換
入力した文字を変換せずに確定させます。

⑤ 決定
文字列を確定し、登録地点編集画面に戻ります。

⑥ 戻る
この画面での文字入力を破棄し、登録地点編集画面に戻ります。

⑦ BS
カーソルの左の1文字を削除します。
タッチし続けると、入力したすべての文字を削除します。

⑧ ◀、▶
カーソルを左右に移動します。

⑨ カーソル

⑩ 表示エリア
確定した文字列や入力した文字列が表示されます。

● ③ 変換 にタッチすると、候補が表示されます。



候補にタッチすると、表示エリアに表示されます。
[閉じる]にタッチすると、変換を中止し、変換画面が閉じます。

VICS情報を見る

VICS情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。
VICS情報を受信すると、現在地の地図画面上にVICS情報が自動的に表示されます。
道路交通情報などのVICS情報の表示、受信FM局の選局などの設定はVICSメニュー画面から行います。

VICS情報の内容と種類

渋滞情報、事故情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供されるVICS情報は次の3つのレベル（種類）があります。

■ レベル1（文字型情報）
情報が文字で表示されます。

■ レベル2（簡易図形型情報）
道路地図の模式図で情報が表示されます。

■ レベル3（地図表示型情報）
ナビゲーション画面の地図上に情報が表示されます。

VICS情報の提供方法

VICS情報は、FM多重放送（NHK-FM）、電波ビーコン、光ビーコンの3とおりの方法で提供されています。

● 光・電波ビーコンで送られるVICS情報（ビーコンVICS情報）を受信するためには、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）が必要です。

VICS情報利用上のご注意

以下の点に注意して利用してください。

■ FM多重放送
- 各FM放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、マルチパスなどによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大5分周期でデータを更新する場合があります）。
- 放送時間外は利用できません。

■ 電波ビーコン
- 主に高速道路に設置されています。
- 高速道路の高架下の一般道を走行中に、電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 通信エリア外や外来雑音、大型車並走等で走行環境が良くないとき、ビーコンアンテナ付近に電波を遮断するものがあるとき、法定速度以上で走行しているときは受信が困難になります。
- 低速で走行中は、反対車線のビーコンを受信してしまうことがあります。

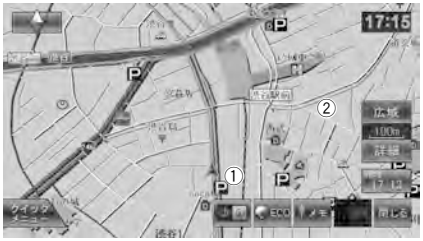
■ 光ビーコン
- 主に一般道に設置されています。
- 通信エリア外、雨や雪の影響がある場合、大型車両の併走などでビーコン発信器の光が遮られた場合、ビーコンアンテナ付近に光ビーコンをさえぎる物がある場合、アンテナ受光面が汚れている場合、直射日光がアンテナ受光面に当たっている場合などは受信困難になることがあります。

地図に表示されるVICS情報

VICS情報を受信すると、地図画面に表示されます。

地図表示型（レベル3）情報の表示

FM VICS情報（標準）または光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）で受信した地図表示型（レベル3）情報は、自動的に地図上に表示されます。



① 駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

② 渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは次のとおりです。

事故	通行止め	大型通行止め	路上障害	チェーン規制	故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限	火災
凍結	車線規制	車線規制：右側	進入禁止	片側交互通行	駐車場閉鎖	駐車場混雑	駐車場空き	駐車場満車	駐車場不明	SA/PA閉鎖
						背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色	
SA/PA混雑	SA/PA空き	SA/PA満車	SA/PA不明	その他の規制	工事	徐行	速度規制	対面通行	作業	
背景橙色	背景青色	背景赤色	背景黒色							

- VICSのマークは変更･追加される場合があります。詳しくは、財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM多重放送による VICS情報を受信/表示できない場合があります。
- 表示するVICS情報を設定できます（☞ P87）。
- 地図表示型（レベル3）情報を表示できる地図の縮尺は10m～ 1kmです（一般道では10m～ 500mです。また、駐車場情報は10m～ 200mで表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICSが受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。

地図上のVICS情報を見るときは

地図画面に表示されたVICSの規制/障害情報マークから情報を見ます。

1 規制/障害マークにタッチします。

地点情報表示に規制情報が表示されます。



地図でマークが重なっている場合は、地点情報表示のマークにタッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 さらに詳しく見るときは、[地点情報]にタッチします。

3 [詳細]にタッチします。





簡易図形型(レベル2) / 文字型(レベル1)情報の割り込み表示

ビーコンVICSで受信した簡易図形型(レベル2)/文字型(レベル1)情報は、地図画面に割り込み表示されます。





① 閉じる
VICS情報表示を閉じて、元の地図の画面に戻ります。

② ▼ ▲
表示ページを切り替えます。

③ 文字
文字型(レベル1)情報の表示に切り替えます。

④ 図形
簡易図形型(レベル2)情報の表示に切り替えます。

- 文字型情報または簡易図形型情報は、地図の画面以外(たとえばメニュー画面やAVソースの画面など)が表示されているときには割り込み表示されません。
- FM多重放送によるVICS情報は、緊急情報のみが割り込み表示されます。
- 緊急情報を受信すると、文字情報または簡易図形情報の表示方法の設定(☞ P87)にかかわらず、割り込み表示されます。

VICS情報の表示方法を設定する

VICS情報の表示方法を設定します。

▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 [VICS]にタッチします。



2 各項目を設定します。





設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
渋滞情報の表示：一般道	する*	一般道路の渋滞情報（レベル3）を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
渋滞情報の表示：高速道	する*	高速道路の渋滞情報（レベル3）を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
規制情報の表示	する*	交通規制情報（レベル3）を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
駐車場情報の表示	する*	駐車場情報（レベル3）を地図上に表示します。
	しない	表示しません。
図形情報の割り込み表示	する*	ビーコンVICSで受信した簡易図形型（レベル2）情報を割り込み表示します。
	しない	割り込み表示しません。
文字情報の割り込み表示	する*	ビーコンVICSで受信した文字型（レベル1）情報を割り込み表示します。
	しない	割り込み表示しません。
割り込み表示の時間	5秒	ビーコンVICSで受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
	10秒	
	15秒*	

* お買い上げ時の設定

● 「図形情報の割り込み表示」、「文字情報の割り込み表示」、および「割り込み表示の時間」は、光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）が接続されているときに設定できます。

VICS図形/文字情報を表示する

FM VICSで受信したVICS情報（文字型情報/簡易図形型情報）を表示します。
また、割り込み表示の終了したビーコンVICSのVICS情報（文字型情報/簡易図形情報）を表示することもできます。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [VICS情報]にタッチします。



2 表示するVICS情報を選んでタッチします。



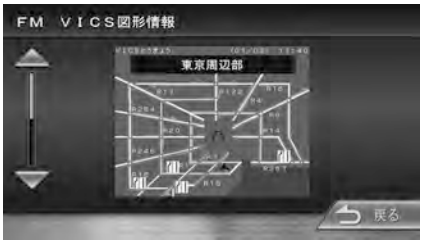
●FM VICS情報を表示 ➔ 88ページ
●ビーコンVICS情報を表示 ➔ 89ページ

FM VICS図形情報/文字情報の表示

見たい情報の番号のボタン（1 ～ 5 ）にタッチすると、情報が表示されます。

《図形情報》





《文字情報》





ビーコンVICS図形情報/文字情報の表示

《図形情報》



《文字情報》



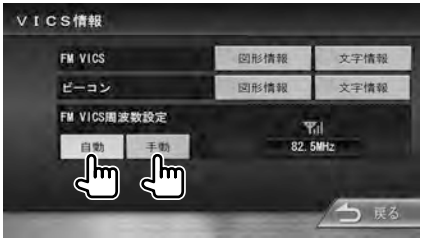
FM VICS局の選局方法を切り替える

FM VICS局の選局方法（自動選局/手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

▶ VICS情報画面を表示します

メニュー

1 [自動]または[手動]にタッチします。



2 手動選局時は、◀ または ▶ にタッチして受信周波数を設定します。



- 自動選局に設定すると、現在地の都道府県に合わせて、FM VICS局が自動的に選局されます。このため、広域で移動する場合は自動選局の方が便利です。
 手動選局に設定していると、設定した周波数以外ではVICS情報を受信できなくなります。
- 手動選局は、県境付近を走行中でFM VICS局を自動変更されたくない場合などに便利です。手動選局に設定すると、FM VICS局の受信周波数は変化しません。
 このため、移動してその周波数の電波を受信できなくなると、VICS情報は受信できません。

ソース切り替え

ソース切り替え画面を表示する

SRC を押すと、ソース切り替え画面が表示されます。



① 

接続されているiPodを再生します（☞ P120）。

② 

地上デジタルTV放送を受信します（☞ P94）。

③ 

USB端子に接続されているUSB機器のオーディオ/ビデオファイルを再生します（☞ P114）。

④ 

ラジオ放送を受信します（☞ P91）。

⑤ 

SDカードのオーディオ/ビデオファイルを再生します（☞ P114）。

⑥ 

AV-IN端子に接続した外部AVソースに切り替えます（☞ P124）。

⑦ 

音楽CD、DVD、またはCD-Rなどに保存されているオーディオファイルを再生します（☞ P104）。

⑧ 

AV機能をオフ（STANDBY）にします。音声も映像もオフになります。

SRC を押し続けても、AV機能をオフ（STANDBY）にできます。

SRC を押してソース切替画面でソースを選択すると、AV機能オフ（STANDBY）は解除されます。また、SRC を押し続けても解除されます。

ラジオを聴く・操作する

ラジオ放送（FM/AM、交通情報）を受信します。

▶ ソースをラジオに切り替えます

SRC ➔ TUNER

《TUNER受信画面》



① プリセットモード
② ステレオ受信表示（FMのみ）
③ 電波の強さ
④ 受信中の放送局
⑤ プリセットボタン

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
1 ～ 8（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
AM FM	受信するバンドを選択します。
交通情報	交通情報の画面に切り替わり、交通情報を受信します（☞ P93）。
< >	放送局を選択します。 タッチするたびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
⏮ ⏭（スキップ/サーチボタン）	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中・・・」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
プリセット切替	プリセットモード（エリア/ユーザー）を切り替えます。 エリアモードでは、登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が8局まで表示されます。 ユーザーモードでは、ユーザーがプリセットした放送局が表示されます。
リスト	エリアモード時に、登録データから取得した放送局をリストで表示します（☞ P93）。

● エリアモード時のプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティFM局を除く）が周波数の低い順に最大8局までが表示されます。

AV

放送局をプリセットする

プリセットボタンに放送局を手動で登録（プリセット）します。

1 プリセットする放送局を受信します。



2 [プリセット切替]にタッチして、ユーザープリセットモードに切り替えます。



すでにユーザープリセットモードの場合は不要です。

3 登録先のプリセットボタンに約2秒以上タッチし続けます。



- プリセットした放送局は、ユーザープリセットモードでプリセットボタンにタッチすると選局できます。
- エリアモードでは、放送局を手動で登録することはできません。

リストから放送局を選局する

エリアプリセットモードのプリセットリストから受信する放送局を選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 受信する放送局を選んでタッチします。



- リストに表示されるアイコンは次のとおりです。
 - 1 ～ 8 : プリセットボタンにプリセットされている放送局
 - : コミュニティFM局

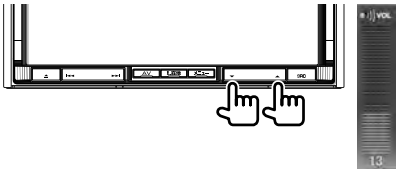
交通情報を受信する

交通情報を受信します。
交通情報は1620kHzまたは1629kHzで放送されますが、受信状態の良いほうが自動的に選択されます。

1 [交通情報]にタッチします。



- 周波数のボタンまたはスキップ/サーチボタンにタッチすると、受信する周波数を手動で切り替えることもできます。
- 交通情報の音量は、他のソースと独立して調整できます。



AV

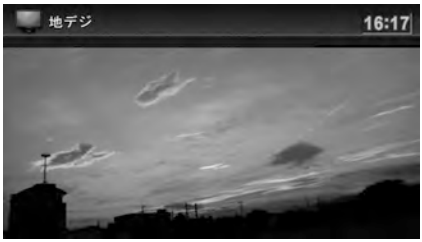
地デジを見る

地上デジタルテレビ放送を受信します。

▶ 地デジ放送を受信します

SRC ➔

《地デジ放送受信画面》



《地デジ放送受信画面でのスキップ/サーチ》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

テレビ画面の中央部にタッチすると、地デジ操作ボタンが表示されます。

《地デジ操作ボタン1》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	地デジ操作ボタンを消します。
サービス	受信中のチャンネルに複数のサービスが提供されているときに、サービスを切り替えます。
次へ▼	地デジ操作ボタン2を表示します。
1Seg 12Seg 自動	受信モードを切り替えます。 [1Seg] ワンセグ固定モードに切り替えます。 [12Seg] 12セグ固定モードに切り替えます。 [自動] 自動受信モードに切り替えます。 放送によっては、12セグとワンセグの切り替え時に音量が変わったり、映像/音声のつながりが途切れる場合があります。 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
⏮ ⏭ （スキップ/サーチボタン）	前または次のプリセット局を選局します。 「サーチ中・・・」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。
プリセット切替	受信バンド（ホーム/お出かけ/エリア）を切り替えます。
1 ～ 12 （プリセットボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます（☞ P96）。

《地デジ操作ボタン2》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
画質	地デジの映像の画質を調整します（☞ P140）。
前へ▲	地デジ操作ボタン1を表示します。
映像	視聴番組に複数の映像/マルチビューがあるときに、映像/マルチビューを切り替えます。
音声	視聴番組に複数の音声/二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
字幕	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
表示	バナー表示をオン/オフします。  バナーに表示される内容については98ページをご覧ください。
リスト	チャンネルリストから放送局を選びます。
設定	地デジ設定メニューを表示します（☞ P102）。
番組表	番組表を表示します（☞ P100）。
詳細	視聴中の番組の詳細情報を表示します。

受信バンドを切り替える

本機には、ホーム、お出かけ、エリアの3つのバンドがあります。

ホームとお出かけは、それぞれに別のプリセットが登録できます。自宅周辺ではホームバンド、ドライブ先ではお出かけバンドと使い分けると便利です。

また、エリアバンドでは、プリセットは自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

▶ 地デジ操作ボタン1を表示します

1 [プリセット切替]にタッチします。



タッチするたびに、ホーム→お出かけ→エリア→ホームの順に切り替わります。

- ホームバンドには、初期セットアップで設定したプリセットが登録されています。
- ホームバンドのプリセットを登録しなおす場合やお出かけのプリセットを登録する場合は、チャンネルスキャンを実行してください。

AV

プリセットを登録する

チャンネルスキャンして、現在のバンド（ホームまたはお出かけ）のプリセットを登録します。

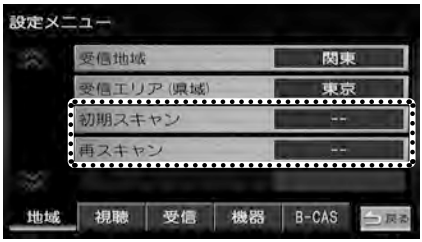
チャンネルスキャンを開始する前に、設定する受信地域/受信エリアを設定してください(☞ P102)。また、プリセットを登録するバンドに切り替えておいてください。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示します

1 [設定]にタッチします。



2 [初期スキャン]または[再スキャン]にタッチします。



[初期スキャン]：
現在受信できるサービスを検索し、プリセットに登録します。初期スキャン前に登録されていた内容は削除されます。
[再スキャン]：
現在登録されているサービスのほかに新たに受信できるサービスを検索し、プリセットに登録します。再スキャン前に登録されていた内容は残ります。

確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

チャンネルスキャンが開始されます。



- エリアバンドでは、チャンネルスキャンはできません。
- チャンネルスキャン中に[中止]にタッチすると、チャンネルスキャンは中止されます。
- 送信チャンネルが変更になった場合は、初期スキャンを行ってください。

AV

プリセットボタンへの割り当てを変える

プリセットボタンへのチャンネルの割り当てを変更します。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示します

1 [リスト]にタッチします。



2 編集 にタッチします。



3 変更するプリセット番号を選んでタッチします。



4 < または > にタッチして、割り当てるチャンネルを選択します。



5 [戻る]にタッチします。

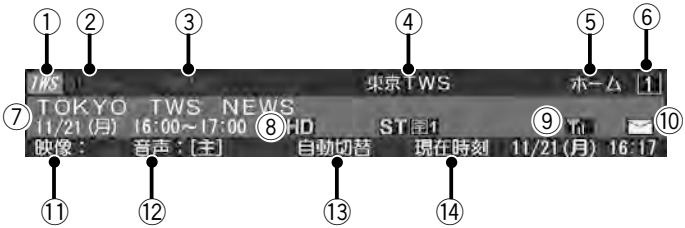
1 の画面に戻ります。

- **4** で、[削除]にタッチすると、プリセット番号へのチャンネルの割り当てを削除できます。
- エリアバンドでは、プリセットへの割り当ては変更できません。

AV

バナー表示について

バナーに表示される情報について説明します。



① サービスのロゴ

② チャンネル番号

③ サービス名

④ 放送事業者名

⑤ バンド名

⑥ プリセット番号

⑦ 番組名／放送時間

⑧ 放送内容アイコン

視聴中の番組内容によりアイコンが表示されます。

放送種別

HD：ハイビジョン放送
SD：標準放送(SDTV)
ワンセグ：ワンセグ

マルチビューあり：マルチビュー

音声Ch

ST：ステレオ放送
5.1ch：サラウンドステレオ放送

表示字幕

字：字幕表示オフ
字1：字幕表示オン（第一言語）
字2：字幕表示オン（第二言語）

⑨ 電波の強さ

⑩ メールアイコン

未読のお知らせメッセージがあるときに表示されます。

⑪ 映像の種類

複数の映像があるときに、視聴している映像の種類が表示されます。

⑫ 音声の種類

複数の音声/二重音声があるときに、出力している音声の種類が表示されます。

⑬ 受信モード

⑭ 現在の時刻

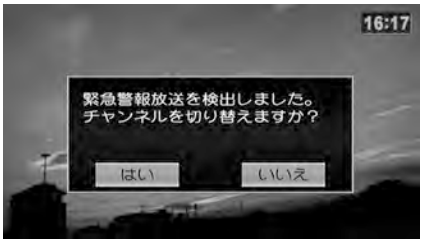
● 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

AV

緊急警報放送を受信する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

「緊急警報放送」を“ユーザー通知”に設定している場合(☞ P102)は、受信時にメッセージが表示されます。



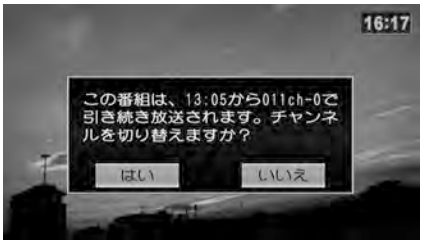
[はい]にタッチすると、緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AVソースが地デジのときのみに表示されます。
- 地図の画面を表示しているときは、画面は切り替わりません。

イベントリレー

番組が予定時刻に終わらない場合、他のサービスで番組の続きが放送される場合があります。このような場合、続きのサービスに自動的に選局されます(イベントリレー)。

「イベントリレー」を“ユーザー通知”に設定している場合(☞ P102)は、受信時にメッセージが表示されます。



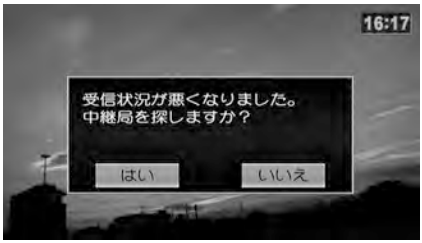
[はい]にタッチすると、続きが放送されるサービスに切り替わります。

中継局/系列局サーチ

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局/系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

「中継局/系列局サーチ」を“自動切替(中継局)”または“ユーザー通知(中継局)”に設定している場合（☞ P102）は、中継局のみがサーチされます。

“ユーザー通知(中継局)”または“ユーザー通知(中継局+系列局)”に設定している場合（☞ P102）は、受信レベル低下時にメッセージが表示されます。



[はい]にタッチすると、受信可能な中継局または中継局/系列局がサーチされます。

- プリセットボタンまたはチャンネルリストで選局したときに受信レベルが低かった場合は、「中継局サーチ」を“切替しない”に設定していても、中継局がサーチされます。
- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上の時間がかかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

番組表を見る・操作する

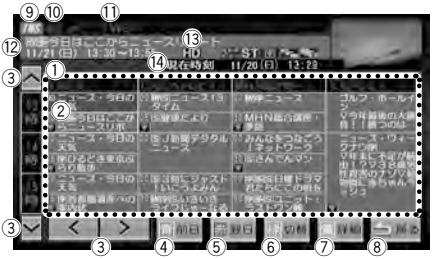
最大1週間分の番組表（EPG）を表示します。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示して、番組表にタッチします

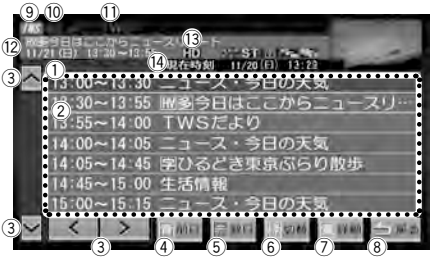
《地デジ操作ボタン2》



《地デジ番組表（4チャンネル表示）》



《地デジ番組表（1チャンネル表示）》



AV

① 番組表

番組表が表示されます。
番組にタッチすると、放送時間内であれば、その番組を受信します。放送時間前であれば、番組詳細情報が表示されます。
左下に▼が表示されている番組にフォーカスを移動すると、そこに隠れている番組名が表示されます。

② フォーカス

番組の選択を示します。

③ ∧、∨、＜、＞

番組表をスクロールします（フォーカスを移動します）。

④ 前日

前日の番組表に切り替えます。

⑤ 翌日

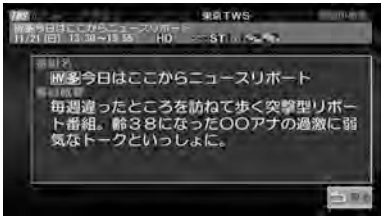
翌日の番組表に切り替えます。

⑥ 切替

番組表の1チャンネル表示/4チャンネル表示を切り替えます。

⑦ 詳細

フォーカスのある番組の詳細情報を表示します。



⑧ 戻る

直前の画面に戻ります。

⑨ サービスのロゴ

⑩ チャンネル番号

⑪ サービス名

⑫ 番組名/放送時間

⑬ 放送内容アイコン

視聴中の番組内容によりアイコンが表示されます。

放送種別

HD：ハイビジョン放送
SD：標準放送(SDTV)
ワンセグ：ワンセグ

マルチビューあり：マルチビュー

音声Ch

ST：ステレオ放送
5.1ch：サラウンドステレオ放送

字幕あり：字

マルチ編成あり：

複数音声あり：

⑭ 現在の時刻

- ワンセグサービスでは、最大10番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。
- 番組表のデータを取得するには、取得したいチャンネルを受信してください。
 ただし、本機の電源をオフにすると取得したデータは消去されますので、電源をオンにしたときに受信しなおしてください。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

地デジの設定を変える

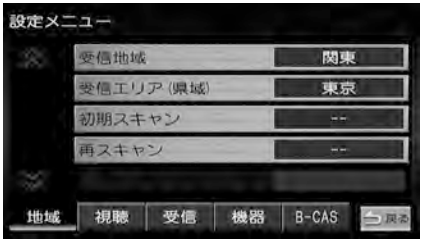
地デジの各種の設定を変更します。

▶ 地デジ操作ボタン2を表示します

1 [設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



[地域][視聴][受信][機器][B-CAS]にタッチすると切り替わります。

設定できる項目は次のとおりです。

地域

項目	説明
受信地域	受信する地域を設定します。
受信エリア（県域）	受信する都道府県を設定します。「受信地域設定」で設定された地域の都道府県を選択できます。
初期スキャン	チャンネルスキャンを行います（☞ P96）。
再スキャン	再スキャンを行います（☞ P96）。

視聴

項目	説明
二重音声	出力する二重音声（主音声*/副音声/主音声＋副音声）を切り替えます。
マルチビュー	視聴番組にマルチビューがあるときに、マルチビューを切り替えます。
映像	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
音声	視聴番組に複数の音声があるときに、音声を切り替えます。
字幕言語	表示する字幕（第一言語/第二言語/表示しない*）を切り替えます。なお、番組によっては、切り替えても字幕がない場合があります。
文字スーパー	表示する文字スーパー（第一言語*/第二言語/表示しない）を切り替えます。

* お買い上げ時の設定

受信

項目	説明
受信モード	受信モード（自動切替*/12Seg固定/1Seg固定）を設定します。
緊急警報放送	緊急警報放送を受信したときの切り替え方法（自動切替*/ユーザー通知/切替しない）を設定します。
イベントリレー	イベントリレーがあったときの切り替え方法（自動切替*/ユーザー通知/切替しない）を設定します。
中継局/系列局サーチ	中継局サーチ時の切り替え方法（自動切替（中継局）/自動切替（中継局＋系列局）*/ユーザー通知（中継局）/ユーザー通知（中継局＋系列局）/切替しない）を設定します。

* お買い上げ時の設定

機器

項目	説明
お知らせメッセージ	放送局からのお知らせメッセージ（メール）を表示します。
ユーザー情報削除	地デジに関するユーザー情報を消去し、各種の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 表示された確認メッセージで[はい]にタッチすると、ユーザー情報が削除されます。
アップデート	使用しません。
バージョン情報	現在の地デジのソフトウェアのバージョンを表示します。

B-CAS

項目	説明
B-CASカードID	miniB-CASカードの情報を表示します。
B-CASカードテスト	miniB-CASカードを抜き差ししたときはB-CASカードテストを行ってください。 miniB-CASカードを差し込み、表示されたメッセージで[実行]にタッチすると、カードテストが開始されます。テストが完了すると結果が表示されます。

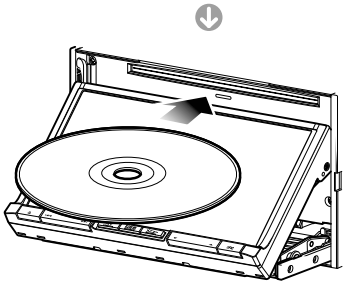
ディスクを出し入れする

ディスク（音楽CD、DVD、CD-RやDVD-Rなどの記録型ディスク）を出し入れします。

1 （オープンキー）を押します。

2 [Disc⏏]にタッチします。





ソースが “DISC” に切り替わり、再生が始まります。

ディスクを取り出すときは

ディスクが入っているときに **1**、**2** を操作すると取り出せます。

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは設定されている角度に自動的に戻ります。
- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約15秒後に自動的に引き込まれます。

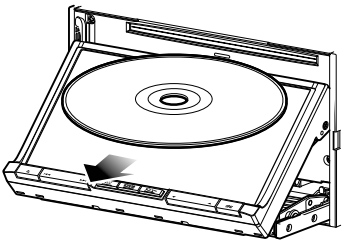
ディスクが取り出せないときは

1 メッセージが表示されるまで （オープンキー）を押し続けます。

2 [はい]にタッチします。



3 ディスクを取り出します。



- ディスクを強制イジェクトした場合は、通常のイジェクトと異なり、約15秒たってもディスクは引き込まれません。このため、落下することもありますので、必ずディスクは取り出してください。

DVDセットアップ

DVDに関する各種の設定を行います。

▶ 再生画面の中央部にタッチして操作ボタンを表示します

1 [DISC設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
メニュー言語	–	ディスクメニューの優先言語を設定します。
音声言語	–	音声の優先言語を設定します。
字幕言語	–	字幕の優先言語を設定します。
Dレンジコントロール	ワイド	DVDの音声のダイナミックレンジを設定します。ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフ等は明確に聞き取れるようになります。
	ノーマル	
	ダイアログ*	
モニタータイプ	16:9*	ワイドモードで表示します。通常はこの設定でお使いください。
	4:3LB	ワイド版の映像をレターボックス(LB)方式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。
	4:3PS	ワイド版の映像をパン&スキャン(PS)方式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。

* お買い上げ時の設定

- ここで設定した言語をDVDの再生時に変更することもできます (☞ P106)。
- 設定した優先言語が再生するDVDに収録されていない場合は、DVDに収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語やモニタータイプが変わらない場合があります。
- モニタータイプは、外部モニターでの表示にも設定されます。
- CD再生画面の[DISC設定]ボタンにタッチしても設定できます。

DVDビデオ/DVD-VRを再生する

DVDを再生します。

▶ DVD再生画面を表示します

SRC ➔ DISC

《DVD再生画面》



《DVD再生画面でのスキップ/サーチ》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。
映像表示部の左右にタッチしてもスキップ/サーチできます。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

本編の再生中に、画面の中央部にタッチすると、DVD操作ボタンが表示されます。

《DVD操作ボタン》



① タイトル番号
② チャプター番号
③ 再生時間
④ シークバー

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	DVD操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します（☞ P140）。
‹ ›	カーソルを表示します（☞ P108）。
■	再生を停止します。
⏮ ⏭ （スキップ/サーチボタン）	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。スピードが2倍から10倍に変わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
DISC 設定	Disc設定画面を表示します（☞ P105）。
メニュー	ディスクメニューを表示します。
トップメニュー	ディスクのトップメニューを表示します。
音声	音声の言語を切り替えます。
字幕	字幕の言語を切り替えます。
アングル	アングルを切り替えます。
T.REP	タイトルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のタイトルが繰り返し再生されます。
C.REP	チャプターリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のチャプターが繰り返し再生されます。

DVD-VRの再生中に画面の中央部にタッチすると、DVD-VR操作ボタンが表示されます。

《DVD-VR操作ボタン》



① プログラム番号
② チャプター番号
③ 再生時間
④ シークバー

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	DVD-VR操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します（☞ P140）。
■	再生を停止します。
⏮ ⏭ （スキップ/サーチボタン）	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。スピードが2倍から10倍に変わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
DISC 設定	Disc設定画面を表示します（☞ P105）。
プレイリスト	プレイリストを表示します。
プログラムリスト	プログラムリストを表示します。
音声	音声の言語を切り替えます。
字幕	字幕の言語を切り替えます。
P.REP	プログラムリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のプログラムが繰り返し再生されます。
C.REP	チャプターリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のチャプターが繰り返し再生されます。

● タイトルリピートプレイ、プログラムリピートプレイ、チャプターリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。

ディスクメニューを操作する

DVDビデオのディスクに収録されたメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作するときは

本機が表示するボタンで操作することもできます。

1 ディスクメニューの表示中に画面にタッチします。

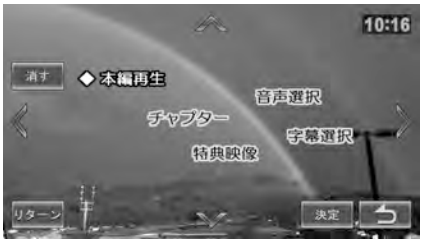
2 [表示]にタッチします。



3 にタッチします。



4 各ボタンにタッチして操作します。



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	操作ボタンを消します。
	カーソルを移動します。
リターン	ディスクメニューの1階層上の項目を表示します。
決定	項目の選択を決定します。
	DVD操作ボタンの画面に戻ります。

● 表示されるディスクメニューは再生しているDVDによって異なります。また、ディスクメニューを操作できる内容も異なります。

ダイレクトに操作するときは

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目にタッチして操作できます。



音楽CDを再生する

音楽CDを再生します。
音楽CDの出し入れについては104ページをご覧ください。

▶ CD再生画面を表示します

SRC ➔ DISC

《CD再生画面》



① トラック番号
② 演奏時間
③ アルバム名
④ 曲名
⑤ アーティスト名
⑥ シークバー
⑦ ジャンルの画像

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
⏮ ⏭ (スキップ/サーチボタン)	前または次の曲を再生します(スキップ)。タッチし続けると、早戻し(バックサーチ)または早送り(フォワードサーチ)されます。
▶/II	再生または一時停止(ポーズ)します。
DISC 設定	Disc設定画面を表示します(☞ P105)。
録音	現在の音楽CDをSDカードに録音します(☞ P127)。
アルバム名変更	iPhoneアプリで楽曲情報を取得するときに使用します(☞ P110)。
RDM	ランダムプレイをオン/オフします。オンのときには、音楽CD内の全曲がランダムな順番で再生されます。
REP	リピートプレイをオン/オフします。オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。再生する曲をリストから選択できます(☞ P111)。

● 本機では、音楽CDを再生しながらSDカードに録音(リッピング)することができます。詳しくは126ページをご覧ください。
● ランダムプレイ、リピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
● ジャンルの画像は、ディスクによっては表示されない場合があります。
● アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
● 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は、表示されますが、スクロールはできません。

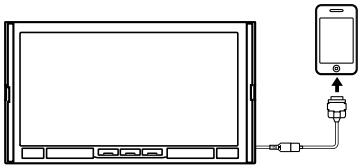
iPhoneから楽曲情報を取得する

iPhoneを本機に接続してiOSアプリケーション「KENWOOD Music Info.」を起動しておくと、iPhone経由でインターネット上にあるRovi音楽データサーバーの楽曲情報データベースにアクセスして楽曲情報を取得することができます。

iPhoneを本機に接続するときはiPod接続ケーブル(別売品)が必要です。ケーブルについては193ページをご覧ください。

1 App Store からアプリケーション「KENWOOD Music Info.」をダウンロードします。

2 本機にiPhoneを接続します。



本機に接続するiPhoneがインターネットに接続できていることを確認しておいてください。

3 iPhoneの「KENWOOD Music Info.」を起動します。

4 SRC を押し、ソース切替画面でDISCにタッチします。

5 [アルバム名変更]にタッチします。



6 [楽曲情報取得]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

7 [はい]にタッチします。





取得できた楽曲情報の候補が表示されます。

8 楽曲情報を選んでタッチします。



再生画面が表示されます。

- この機能をご使用の場合には、通信料金が発生します。パケット定額料金プランをお勧めします。
- **7** の確認メッセージは、本機の電源をオンにして情報を取得しようとしたときに一度だけ表示されます。
- 楽曲情報を取得したら前の情報は破棄されます。
- **8** で[該当なし] にタッチすると、引き当てたアルバム名、アーティスト名、タイトルなどの楽曲情報を破棄してCD再生画面に戻ります。このため、アルバム名およびアーティスト名は表示されず、タイトル名は“Track01”などになります。

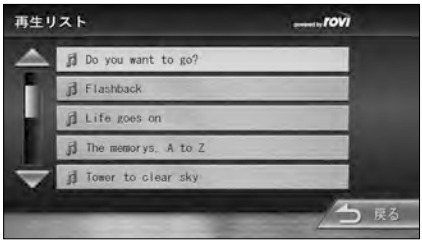
再生する曲をリストで選択する

トラックリストで再生する曲を選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生する曲を選んでタッチします。



選択した曲の再生が始まります。

AV

オーディオファイルディスクを再生する

オーディオファイルが保存されているディスクを再生します。

オーディオファイルの再生

《オーディオファイル再生画面》



① 音声形式
② フォルダ番号
③ ファイル番号
④ 演奏時間
⑤ アルバム名
⑥ 曲名
⑦ アーティスト名
⑧ シークバー
⑨ アルバムアート画像

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
（スキップ/サーチボタン）	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
DISC 設定	Disc設定画面を表示します（☞ P105）。
	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
RDM	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順番で再生されます。
REP	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
REP	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するファイルをリストから選択できます（☞ P113）。

● フォルダランダムプレイ、フォルダリピートプレイ、ファイルリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
● アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
● アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
● 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は、表示されますが、スクロールはできません。

AV

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

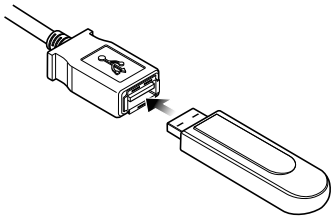
- トップ にタッチすると最上位階層へ、一つ上 にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- フォルダリストで ▶ にタッチすると、フォルダの先頭のファイルから再生されます。



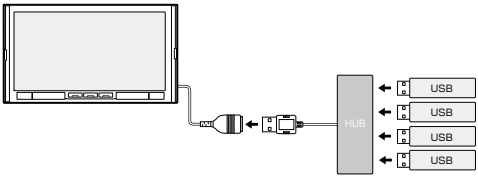
AV

USB機器を接続する/外す

USB機器を接続または取り外します。



本機では、USBケーブルにUSBハブを接続して最大4つのUSB機器を接続することができます。



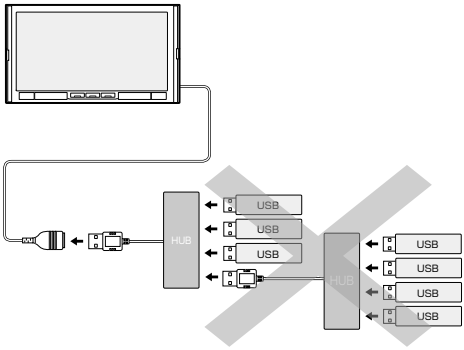
複数のUSB機器を接続した場合は、USB再生画面の[デバイス切替]にタッチして再生するUSB機器を切り替えることができます(☞ P117、P119)。

USB機器を取り外すときは

ソースをUSB以外に切り替えてから、USB機器を取り外します。
USBソースのまま取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

使用上のご注意

●USBハブは、USBケーブルに2台以上接続しないでください。



●消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSBケーブルに直接接続してください。

●USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSBケーブルに接続してから、USB機器をUSBハブに接続してください。
USBハブにUSB機器を接続した状態で本機のUSBケーブルに接続しないでください。

●USB機器とiPodを同じUSBハブに接続することもできます。

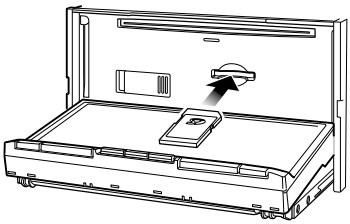
SDカードを出し入れする

SDカードを出し入れします。

1 (オープンキー)を押します。

2 [フルオープン]にタッチします。





SDカードは、止まるまで奥に押し込んでください。

3 (オープンキー)を押して
フロントパネルを閉じます。

SDカードを取り出すときは

ソースをSD以外に切り替えて、上記の **1**、**2** の操作を行ってSDカードを取り出します。
SDソースのまま取り出すと、SDカード内のデータが破損する場合があります。

SDカードを取り出すときは、いったん押し込んでからつまんで引き出してください。

- フルオープン状態から閉じるときにフロントパネルに触れると、安全装置が働き、フロントパネルが開きます。
- フルオープンのままで電源をオフ(ACCオフ)にすると、フロントパネルは開いたままになります。
- フルオープンの状態でディスクを挿入しても、フロントパネルは自動的には閉じません。

ファイルを再生する

USB機器またはSDカードに保存されているオーディオファイル/ビデオファイルを再生します。

KENWOOD Music Editor-VXⅡを使って同期したUSB機器またはSDカードを再生するときは、137ページをご覧ください。
また、本機で録音したSDカードを再生するときは、128ページをご覧ください。

● USB機器またはSDカードにKME-VXⅡ以外で取り込んだファイルが入ったままKME-VXⅡと同期すると、本機で再生できるのはKME-VXⅡで同期したファイルだけです。
ただし、本機でSDカードに録音したファイルは、KME-VXⅡで同期しても再生できます。
KME-VXⅡについては132ページをご覧ください。

▶ USBまたはSD再生画面を表示します

SRC ➔ または

オーディオファイルの再生

《USB再生画面》



《SD再生画面》



① ソースメディア名(USB/SD)
② 音声形式
③ フォルダ番号
④ ファイル番号
⑤ 演奏時間
⑥ アルバム名
⑦ 曲名
⑧ アーティスト名
⑨ シークバー
⑩ アルバムアート画像

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

AV

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
 （スキップ/サーチボタン）	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
	再生または一時停止（ポーズ）します。
 （USBソースのみ）	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。 接続した機器の最初のファイルから再生されます。
 （SDソースのみ）	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生/本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。 切り替えたモードの最初のファイルから再生されます。 モードを切り替えると、画面のソースメディアアイコンも切り替わります。 **パソコンで保存したファイルの再生：**  **本機で録音したオーディオファイルの再生：** 
	前のフォルダの先頭のファイルから再生されます。
	次のフォルダの先頭のファイルから再生されます。
	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順序で再生されます。
	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のファイルが繰り返し再生されます。
	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
	再生リストを表示します。 再生するファイルをリストから選択できます（☞ P119）。

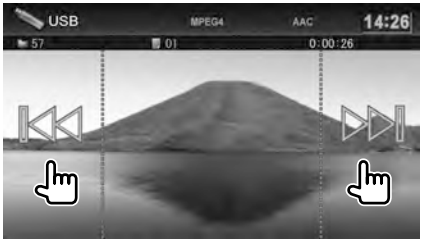
- フォルダランダムプレイ、ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は、表示されますが、スクロールはできません。

ビデオファイルの再生

《ビデオファイル再生画面》



《ビデオファイル再生画面でのスキップ/サーチ》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。
映像表示部の左右にタッチしてもスキップ/サーチできます。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

ビデオファイル再生画面の中央部にタッチすると、ビデオファイル操作ボタンが表示されます。

《USB操作ボタン》



《SD操作ボタン》



① ソースメディア名
② 映像形式
③ フォルダ番号
④ ファイル番号
⑤ 再生時間
⑥ フォルダ名
⑦ ファイル名
⑧ シークバー

AV

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	ビデオファイル操作ボタンを消します。
⏮ ⏭ （スキップ/サーチボタン）	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
デバイス切替 （USBソースのみ）	複数のUSB機器を接続しているときに、再生するUSB機器を切り替えます。
モード （SDソースのみ）	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生/本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。 モードを切り替えると、画面のソースメディアアイコンも切り替ります。 **パソコンで保存したファイルの再生：** SD **本機で録音したオーディオファイルの再生：** SD
🗀	前のフォルダの先頭のファイルから再生します。
🗀	次のフォルダの先頭のファイルから再生します。
RDM	ランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内のファイルがランダムな順番で再生されます。
REP	ファイルリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のファイルが繰り返し再生されます。
REP	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するファイルをリストから選択できます（☞ P119）。

- 再生できるファイル形式については190ページをご覧ください。
- 対応メディアについては191ページをご覧ください。
- 走行中は、ビデオファイルの映像は映りません。
- ランダムプレイ、ファイルリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。

再生するファイルをリストで選択する

再生するファイルを選択します。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生するファイルを選んでタッチします。



選択したファイルが再生されます。

- トップ にタッチすると最上位階層へ、一つ上 にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- フォルダリストで ▶ にタッチすると、先頭のファイルから再生します。

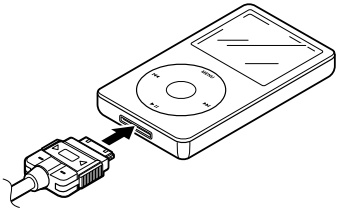


AV

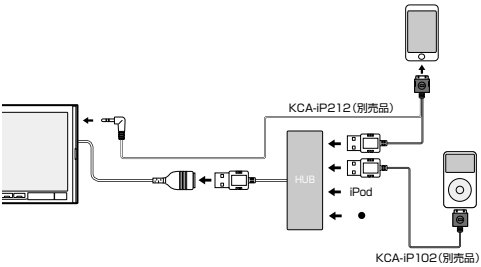
iPodを接続する/外す

iPodを接続または取り外します。

iPodを本機に接続するときはiPod接続ケーブル（別売品）が必要です。ケーブルについては193ページをご覧ください。



本機では、USBケーブルにUSBハブを接続して最大4つのiPodを接続することができます。



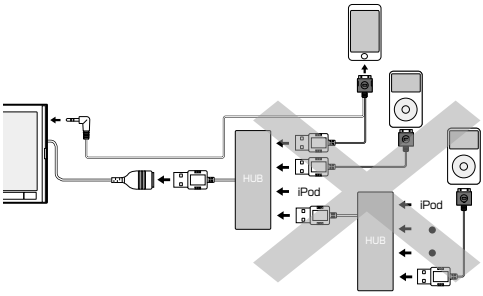
複数のiPod機器を接続した場合は、iPod再生画面の[デバイス切替]にタッチして再生するiPodを切り替えることができます（☞ P121、P123）。

iPodを取り外すときは

ソースをiPod以外に変えてから、iPodを取り外します。iPodソースのまま取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。

ご使用上のご注意

- iPodを充電するときは、USB接続ケーブルに直接接続してください。USBハブを介して接続すると充電できません。
- USBハブは、USBケーブルに2台以上接続しないでください。



- USBハブを使って接続するときは、USBハブを本機のUSBケーブルに接続してから、iPodをUSBハブに接続してください。
 USBハブにiPodを接続した状態で本機のUSBケーブルに接続しないでください。

- USB機器とiPodを同じUSBハブに接続することもできます。

iPodを再生する

iPodを再生します。

▶ iPod再生画面を表示します

SRC

曲を再生する

《iPod再生画面》



① 曲番号/全曲数
② 演奏時間
③ アルバム名
④ 曲名
⑤ アーティスト名
⑥ シークバー
⑦ アルバムアート画像
⑧ iPodモード表示

《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。

● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
（スキップ/サーチボタン）	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
モード	タッチするたびにiPodモードが切り替わります。 **本機でiPodを操作する** ⬇ **iPod側で操作する（HANDモード）** 本機の再生操作ボタンは押せなくなります。 ⬇ **iPodからの音声または映像を出力する（Externalモード）** iPhoneアプリで音声や映像を再生する際にご使用ください。本機の再生操作ボタンは押せなくなります。iPodから操作してください。 それぞれの画面については123ページをご覧ください。
標準	オーディオブックの読み上げ速度（遅い/標準/早い）を切り替えます。
RDM	曲のシャッフル再生をオン/オフします。
RDM	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
REP	リピート再生をオン/オフします。 オンのときには、現在の曲が繰り返し再生されます。
デバイス切替	複数のiPodを接続しているときに再生するiPodを切り替えます。
リスト	再生リストを表示します。 再生する曲をカテゴリーから選択できます（☞ P122）。

● シャッフル、リピート再生がオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
● アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
● アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目にタッチすると情報がスクロール表示されます。
● 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は、表示されますが、スクロールはできません。

AV

再生する曲またはビデオをリストで選択する

iPod本体での操作と同様に、再生する曲やビデオを本機側で選択することができます。

1 [リスト]にタッチします。



2 (ビデオリスト)または(ミュージックリスト)を選択します。



3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチします。

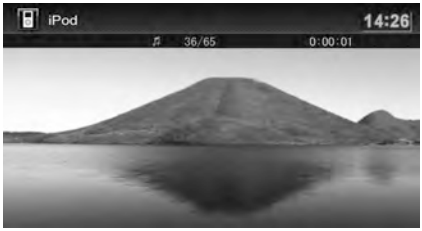


- **2** 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。また、ビデオリストのサブカテゴリーは接続するiPodによって異なります。
- トップ にタッチすると最上位階層へ、一つ上 にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- ▶ にタッチすると、曲またはビデオが再生されます。

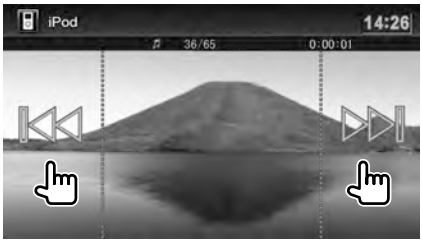
ビデオを再生する

iPodビデオを再生するときはリストから選んでください(☞ P122)。

《iPodビデオ再生画面》



《iPodビデオ再生画面でのスキップ/サーチ》



《簡易AV表示でのスキップ/サーチ》



スキップ/サーチボタンと同じはたらきをします。
映像表示部の左右にタッチしてもスキップ/サーチできます。

- 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

iPodビデオ再生画面の中央部にタッチすると、iPodビデオ操作ボタンが表示されます。

《iPodビデオ操作ボタン》



① ファイル番号/全ファイル数
② 再生時間
③ アルバム名
④ ファイル名
⑤ アーティスト名
⑥ シークバー
⑦ iPodモード表示
モードボタンにタッチするたびに次のように画面が切り替わります。



曲を再生しているときは曲の再生画面になります。

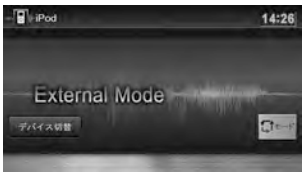
⬇

《HANDモード》



⬇

《Externalモード》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します（☞ P140）。
⏮ ⏭（スキップ/サーチボタン）	前または次のビデオを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
モード	タッチするたびにiPodモードが切り替わります。 **本機でiPodを操作する** ⬇ **iPod側で操作する（HANDモード）** 本機の再生操作ボタンは押せなくなります。 ⬇ **iPodからの音声または映像を出力する（Externalモード）** iPhoneアプリで音声や映像を再生する際にご使用ください。本機の再生操作ボタンは押せなくなります。iPodから操作してください。
RDM	シャッフル再生をオン/オフします。
RDM	アルバムシャッフル再生をオン/オフします。
REP	リピート再生をオン/オフします。 オンのときには、現在のビデオが繰り返し再生されます。
デバイス切替	複数のiPodを接続しているときに再生するiPodを切り替えます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するビデオをカテゴリーから選択できます（☞ P122）。

- シャッフル、リピート再生がオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
- iPodビデオ再生中に本機の電源をオフにすると、電源をオンしたときにiPodビデオは再生されません。先頭の曲から再生されます。
- iPod nano（1st generation）とiPod with videoはiPodモードの切り替えはできません。本機からの操作のみとなります。

AV-INソース

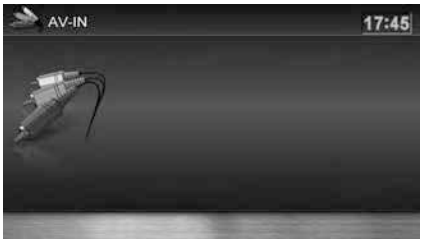
外部AVソースの音を聴く/映像を見る

本機のAV-IN端子に接続した外部AV機器の音声や映像を視聴します。

▶ AV-INソースに切り替えます

SRC ⇒ ⇒ 外部AV機器を再生する

《AV-INオーディオ画面》



《AV-INビデオ画面》



《簡易AV表示》



● 簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

AV-INビデオ画面で画面にタッチすると、AV-IN操作ボタンが表示されます。

《AV-IN操作ボタン》



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
消す	AV-IN操作ボタンを消します。
画質	画質を調整します（☞ P140）。

外部AVソースの接続機器を設定する

本機のAV-IN端子に接続する外部AV機器の種類を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 「AV-INの接続機器」で、接続しているAV機器の種類を選んでタッチします。



[Video]*： AV機器（音声と映像）をAV-IN端子に接続しているときに選択します。

[Audio]： オーディオ機器（音声のみ）をAV-IN端子に接続しているときに選択します。

[接続なし]： AV-IN端子を使用しないときに選択します。

* お買い上げ時の設定です。

● ソースがAV-INのときには[接続なし]は選択できません。

SDカードへの録音と再生

録音について

- 本機では、SDカードに録音できます。
- 録音中はSD、USB、およびSTANDBYは選択できません。ただし、録音が終了（REC表示消灯）すると、選択できるようになります。
- SDカードが本機に挿入されていないときは［録音］にタッチできません。
- 録音した曲や録音する曲の楽曲情報がない場合には、KME-VXⅡで、インターネット上の楽曲データベースから最新の楽曲情報を取得することができます（☞ P135）。
- 録音中にナビの画面に切り替えても、録音は継続されます。
- 録音中は、画面に下のアイコンが表示されます。



- 録音中に本機の電源がオフになったり、録音を中断しても、それまでに完了しているデータは録音されています。
- 本機はSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）に対応しており、デジタル録音された複製ディスク内の曲をSDカードに録音することはできません。
- SDカードがいっぱいで録音できない場合はメッセージが表示されます。不要なデータを削除して（☞ P130）から、録音してください。
- SDカードへの録音は、最大999フォルダ（アルバム）です。
- 録音する音楽CDのアルバム情報がないときには、次のように名前が付けられます。
 - タイトル名：“Track”＋Track番号＋年（西暦）＋月日＋時刻（24時間制）
 - アルバム名：“Album”＋年（西暦）＋月日＋時刻（24時間制）
 - アーティスト名：“Artist”＋年（西暦）＋月日＋時刻（24時間制）

 なお、タイムスタンプは、音楽CDが初めて録音されたときの開始時のものです。
- 録音中は、システム設定の「楽曲データ管理」、「録音設定」は設定できません。

録音音質を設定する

音楽CDから録音するときの録音音質を設定します。また、残りの録音可能時間や容量も確認できます。

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「録音設定」の[設定]にタッチします。



2 「録音音質」の[標準]または[高音質]タッチします。



AV

SDカードに録音する

音楽CDを再生しながら、SDカードに4倍速で録音することができます。録音音質については126ページをご覧ください。

SDカードへの録音中にエンジンを切ったり、スタートしないでください。ファイルが消えてしまったり、SDカードが破損するおそれがあります。
エンジンを切ったりスタートさせたいときは、録音を中止してから行ってください。
また、録音中にSDカードを取り出さないでください。SDカードが破損するおそれがあります。

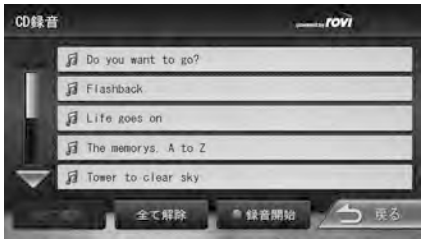
▶ 音楽CDを再生します

SRC → DISC

1 [録音]にタッチします。



2 録音する曲を確認または選択します。



表示されるリストでは、すべての曲が選択（ハイライト表示）されています。
録音しない曲にタッチすると、選択が解除されます。

3 [録音開始]にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。



「録音準備中・・・」と表示され、録音が開始されます。



録音中の画面で、録音の状況および録音済み/録音予定の曲数が表示されます。
すべての録音が終了すると、ディスクの1曲目から再生されます。

[録音停止]にタッチすると確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると録音を停止し、ディスクの1曲目から再生します。

- **2** で、[全て選択]にタッチするとすべての曲が選択されます。また、[全て解除]にタッチすると、すべての選択が解除されます。
- **2** の録音リストでは、すでに録音が完了した曲は、選択（ハイライト）は解除されています。
- すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示されて上書きされます。
- 録音リストでは、録音状況は次のアイコンで表示されます。
 - ：録音済みの曲
 - （赤）：録音中の曲
 - （エンジ）：録音予定の曲
 - ：録音予定がない曲
 - ：録音がスキップされた曲
 - ：エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はシークバーを操作することができません。

録音したデータを再生する

ソース切替画面でSDを選択すると、録音したデータを再生できます。
本機で録音したデータは、本機以外の機器やパソコンでは再生できません。

▶ SDカード再生画面を表示します

SRC ⇒ SD

《SDカード再生画面》



① フォルダ（アルバム）番号
② トラック番号
③ 演奏時間
④ アルバム名
⑤ 曲名
⑥ アーティスト名
⑦ シークバー
⑧ ジャンルの画像

《簡易AV表示》



●簡易AV表示の表示方法については37ページをご覧ください。

表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

ボタン	説明
（スキップ/サーチボタン）	前または次のデータを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
モード	再生モード（パソコンで保存したファイルの再生/本機で録音したオーディオファイルの再生）を切り替えます。 モードを切り替えると、画面のソースメディアアイコンも切り替ります。 **パソコンで保存したファイルの再生：** SD **本機で録音したオーディオファイルの再生：** SD
アルバム名変更	iPhoneアプリで楽曲情報を取得するときに使用します（☞ P110）。
	前のフォルダの先頭のデータから再生します。
	次のフォルダの先頭のデータから再生します。
RDM	フォルダランダムプレイをオン/オフします。 オンのときには、フォルダ内の全データがランダムな順番で再生されます。
REP	トラックリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のデータが繰り返し再生されます。
REP	フォルダリピートプレイをオン/オフします。 オンのときには、現在のフォルダ内のデータが繰り返し再生されます。
リスト	再生リストを表示します。 再生するデータをリストから選択できます（☞ P129）。

●フォルダランダムプレイ、トラックリピートプレイ、フォルダリピートプレイがオンのときには、ボタンが青くハイライト表示されます。
●ジャンルの画像は、情報があるときに表示されます。

AV

再生するデータをリストで選択する

再生するデータを選択することができます。

1 [リスト]にタッチします。



2 再生するデータを選んでタッチします。



選択したデータが再生されます。

- 一つ上 にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- フォルダリストで ▶ にタッチすると、フォルダの先頭のファイルから再生されます。



録音したデータを削除する

音楽CDからSDカードに録音したデータを削除します。
SDカードの録音データを削除する場合は、事前にSDカードの再生モードを本機で録音したオーディオファイルの再生に切り替えておいてください。

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定 ➔

1 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



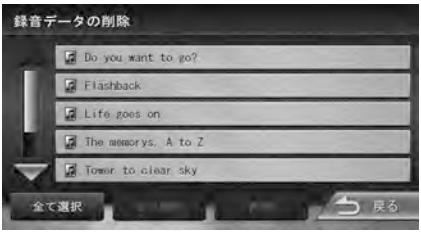
2 「録音データ削除」の［削除］にタッチします。



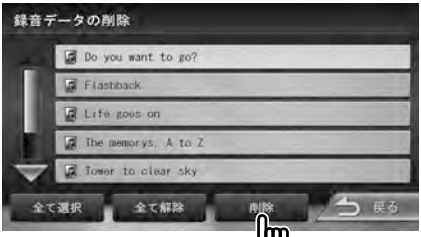
3 削除するデータの入っているアルバムを選んでタッチします。



4 削除するデータを選んでタッチします。



5 [削除]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

6 [はい]にタッチします。

選択したデータが削除され、**2** の画面に戻ります。

● **4** で、複数のデータを選択することもできます。
また、[全て選択]にタッチするとすべてのデータが選択され、[全て解除]にタッチするとすべての選択が解除されます。

AV

楽曲データ管理ソフトKME-VXⅡを使う

こんなことができます

楽曲データ管理ソフトKENWOOD Music Editor-VXⅡ（以降、「KME-VXⅡ」）は、パソコンやUSB機器/SDカードに保存されている音楽/動画ライブラリを管理します。
また、パソコンに保存されている曲（オーディオファイル）や動画（ビデオファイル）をUSB機器/SDカードに転送し、本機で再生できるようにします。

■ ライブラリの管理

パソコンに保存されている曲や動画を、KME-VXⅡに追加します。
ライブラリ内の曲や動画は、アーティスト、アルバム、ジャンルなどで並べ替えて一覧表示できます。

■ オーディオ/ビデオファイルの転送/同期

KME-VXⅡのライブラリ内のオーディオファイルやビデオファイルをUSB機器/SDカードに転送/同期して本機で再生します。

■ 楽曲情報の編集

ライブラリ内の曲の楽曲情報（曲名、アーティスト、アルバムなど）をRovi音楽データサーバーの楽曲情報データベースから取得します。取得した楽曲情報を、KME-VXⅡでの表示用に編集できます。
また、本機の楽曲情報データベースに収録されていない曲の楽曲情報を、インターネット上にある最新の楽曲情報データベースからKME-VXⅡで取得して本機に書き戻し、本機で楽曲情報を表示することができます（楽曲データベース都度更新）。

■ サビSCAN再生

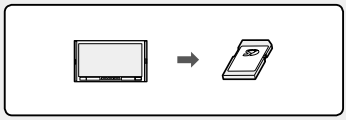
KME-VXⅡでサビSCANモードを設定したオーディオファイルは、同期したUSB機器/SDカードを本機で再生するときにサビSCAN再生できます。

■ 曲調解析

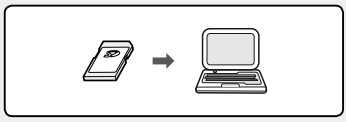
KME-VXⅡでは、曲調を解析して13の曲調にグループ化することができます。
ターゲットデバイスに同期して本機に接続すると、本機の再生リストから曲調を選んで再生できるようになります。

KME-VXⅡ使用のながれ

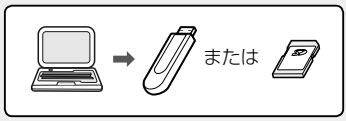
KME-VXⅡのインストールファイルを、本機からSDカードに書き出す（☞ P133）。



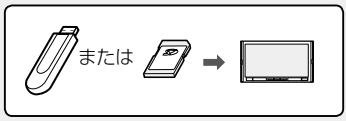
KME-VXⅡを、SDカードからパソコンにインストールする。



KME-VXⅡを使って、オーディオ/ビデオファイルをパソコンからUSB機器/SDカードに書き出す（同期）。



USB機器/SDカードを本機に挿入して、オーディオ/ビデオファイルを再生する（☞ P137）。



AV

KME-VXⅡに必要な動作環境

KME-VXⅡをパソコン上でご使用いただくためには、次のソフトウェアおよびハードウェアなどが必要です。

オペレーティングシステム（OS）

- Microsoft Windows XP Professional SP2以上（32ビット版）
- Microsoft Windows XP Home Edition SP2以上（32ビット版）
- Microsoft Windows Vista（32ビット/64ビット版）
- Microsoft Windows 7（32ビット/64ビット版）
- Microsoft Windows 8*（32ビット/64ビット版）

* Windows RTは除く

パソコン本体

- 上記OSが推奨する環境以上
- ハードディスク：100MB以上の空き容量（オーディオ/ビデオファイル用領域を除く）

USBインターフェイス

- USB 2.0または1.1 インターフェイス

その他のソフトウェア

- Microsoft .NET Framework 2.0以上
 Windows XPでご使用の場合は自動でインストールされませんので、手動でインストールしてください。
- Microsoft Windows Media Player 10以上
- Quick Time 7.7以上
 （Microsoft Windows XPまたはMicrosoft Windows VistaでM4AまたはMP4ファイルを使用する場合）
- DirectX End-User Runtime
 （9.29.1974以上）
 （FLACファイルを使用する場合）

メモリデバイス

- USBマスストレージクラス対応品
- SD/SDHCメモリカード
 （カードリーダーが必要）

- 上記に適合するすべての環境について動作を保証するものではありません。
- パソコンは、上記OSがプリインストールされたものをご使用ください。OSをアップグレードしたパソコンや自作パソコンでの動作は保証はいたしません。
- KME-VXⅡをインストールするためには、管理者（Administrator）の権限が必要です。
- メモリデバイスは、ご使用前にKME-VXⅡで使用可能な状態にする必要があります。詳しくはKME-VXⅡのヘルプをご覧ください。

KME-VXⅡをインストールする

KME-VXⅡのインストールファイルは本機からSDカードに書き出して、パソコンにインストールします。

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 SDカードを本機にセットします。

2 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



3 「楽曲管理ソフト書き出し」の[書き出し]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

書き出しが完了すると、メッセージが表示されます。

5 メッセージにタッチします。

3 の楽曲データ管理画面に戻ります。

6 SDカードを取り出しパソコンにセットします。

7 KME_setup.exeをクリックしてインストールを開始します。

8 [次へ]をクリックします。



9 画面の指示に従ってインストールします。



ソフトウエア使用許諾契約書は、内容をご確認のうえで次に進んでください。

10 [次へ]をクリックします。



AV

11 [インストール]をクリックします。

インストールが開始されます。

12 [完了]をクリックします。

[プログラムの起動]のチェックボックスにチェックマークを付けると、セットアッププログラムの終了後、本ソフトウェアが自動的に起動されます。

- KME-VXⅡを書き出すためには、SD カードに20MB以上の空き容量が必要です。
- KME-VXⅡのインストールファイルは、次のように書き込まれます。
 ＜SDカードのドライブ名＞¥APPLI.¥KME_setup.exe
- KME-VXⅡの使いかたは、KME-VXⅡのヘルプをご覧ください。

KME-VXⅡで楽曲情報を取得する

KME-VXⅡで楽曲情報をインターネットから取得してSDカードに書き出し、本機で読み込みます。

楽曲情報書き出し用のSDカードを作成する

本機で情報を表示できなかった音楽CDの情報をSDカードに保存します。

▶ システム設定メニューを表示します

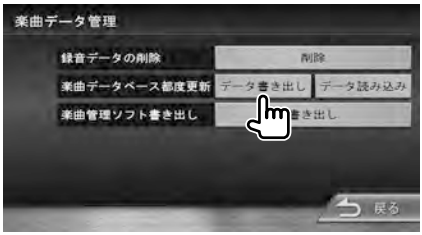
メニュー → 情報/設定 → システム

1 SDカードを本機に挿入します。

2 「楽曲データ管理」の[設定]にタッチします。



3 「楽曲データベース都度更新」の[データ書き出し]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。

必要なデータがSDカードに書き出されます。

5 SDカードを本機から取り出し、パソコンにセットします。

KME-VXⅡでSDカードに楽曲情報を保存する

1 楽曲情報書き出し用のSDカードをパソコンにセットし、KME-VXⅡを起動します。

2 ツリービューに表示されたSDカードのアイコンをクリックします。



3 「更新する」をチェックし、[はい]をクリックします。



インターネット上のRovi音楽データサーバーにアクセスして、最新のデータベースから楽曲情報が取得されます。取得が完了すると、CD情報の取得ダイアログが表示されます。

4 採用する楽曲データにチェックを付け、[OK] をクリックします。



5 SDカードをパソコンから取り出します。

本機で楽曲情報を読み込む

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定 ➔

1 楽曲情報を保存したSDカードを本機に挿入します。

2 「楽曲データ管理」の [設定] にタッチします。



3 「楽曲データベース都度更新」の [データ読み込み]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

4 [はい]にタッチします。
楽曲情報が本機に読み込まれます。

5 本機の電源を入れ直してください。

楽曲情報が本機に読み込まれます。
音楽CDの楽曲情報を取得したときは、楽曲情報を取得した音楽CDを再生すると楽曲情報が表示されるようになります。

録音した曲の楽曲情報を取得したときは **6** ～ **8** を行ってください。

AV

6 SRC を押してソースをSDにします。

7 [アルバム名変更]にタッチします。



8 アルバム情報を選んでタッチします。



アルバム情報が変更されて、再生画面に戻ります。

- 表示されているアルバム名が同じでも、内容が異なる場合があります。
- [該当なし]にタッチすると、引き当てたアルバム名、アーティスト名、タイトルなどのアルバム情報を破棄してSD再生画面に戻ります。
- 都度更新のデータ書き出しまたは読み込み中にSDカードを取り出さないでください。
 SDカードが破損するおそれがあります。

KME-VXⅡで同期したUSB機器またはSDカードを本機で再生する

KME-VXⅡで同期したUSB機器またはSDカードを再生します。

《オーディオファイル再生画面》



サビSCAN再生をするときは

オーディファイル再生画面には、サビSCAN が表示されます。このボタンにタッチすると、各曲のサビ部分が次々と再生されます。

[サビSCAN]と[スライドショー]以外に表示されるボタンのはたらきについては、117ページおよび119ページをご覧ください。スライドショーについては138ページをご覧ください。

《ビデオファイル再生画面》



- ソースを変更した場合または本機の電源を入れなおした場合、サビSCANは解除されます。
- KME-VXⅡで同期したUSB機器またはSDカードでは、KME-VXⅡで同期したオーディオ/ビデオファイル以外のファイルは再生できません。

AV

スライドショーを再生する

KME-VXⅡでスライドショーに登録した画像を本機でスライドショー再生します。

1 [スライドショー]にタッチします。





スライドショーが開始されます。

- スライドショー切替ボタンにタッチすると、スライドの切り替る時間を3秒、5秒、10秒に設定することができます。

再生する曲またはビデオをリストで選択する

再生する曲またはビデオを選択できます。

1 [リスト]にタッチします。



2 (ビデオリスト)または(ミュージックリスト)を選択します。



3 カテゴリー、または再生する曲/ビデオファイルを選んでタッチします。



- **2** 以降で表示されるカテゴリー/サブカテゴリーは、ミュージックリストとビデオリストで異なります。
- トップ にタッチすると最上位階層へ、一つ上 にタッチすると一階層上のリストに戻れます。
- ▶ にタッチすると、曲またはビデオが再生されます。

ミュージックコントロールアプリKENWOOD Music Controlを使う（Android™用）

Android™搭載スマートフォンで、Android™アプリKENWOOD Music Control for Android（以降「KMC」）をインストールし、スマートフォン端末内の楽曲をKMCで管理、編集し、USB接続をすると本機で再生することができるようになります。

1 Google Play™から「KENWOOD Music Control」をダウンロードします。

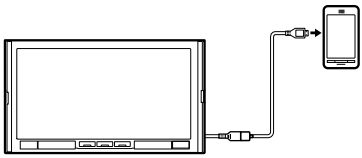
2 スマートフォンでインストールしたKMCの「設定」にタッチして設定画面を表示します。



3 「今すぐ出力」にタッチします。



4 本機にスマートフォンを接続します。



接続ケーブルはスマートフォンに同梱されているケーブルをご使用ください。

5 スマートフォンをUSBマスストレージクラスで接続します。

接続の設定方法についてはスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

6 SRC を押してソースをUSBにします。



曲の再生が始まります。

- **2** の情報出力設定は必ず行ってください。出力設定をしないと本機で再生することができません。
- 出力設定方法、その他KMCの使いかたについては http://www2.jvckenwood.com/products/car_audio/app/ をご覧ください。
- 表示されるボタンのはたらきについては、117ページおよび119ページをご覧ください。また、サビSCANについては137ページをご覧ください。
- KMCではスライドショーとビデオ再生には対応しておりません。

AV

映像ソースの画質を調整する

映像ソースの画質を調整します。

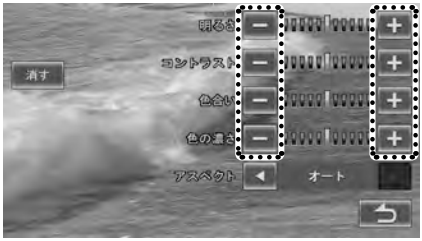
▶ 各映像ソースの操作ボタンを表示します

1 [画質]にタッチします。



(画面例：DVD)

2 − または ＋ にタッチして、各項目を調整します。



明るさ：
明るさを調整します。
＋ にタッチすると明るくなり、− にタッチすると暗くなります。
コントラスト：
コントラストを調整します。
＋ にタッチするとコントラストが強くなり、− にタッチすると弱くなります。
色合い：
色相を調整します。
＋ にタッチすると赤が強くなり、− にタッチすると緑が強くなります。
色の濃さ：
色の濃淡を調整します。
＋ にタッチすると濃くなり、− にタッチすると淡くなります。

3 各ソースの映像画面に戻る場合は[消す]に、操作画面に戻る場合は ⮌ にタッチします。

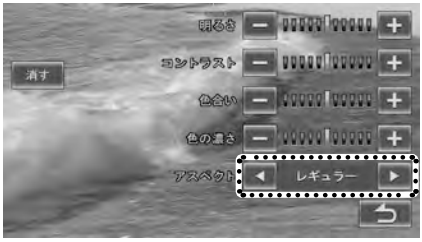
●ナビ、USB、SDソースの画面の画質は調整できません。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

1 「映像ソースの画質を調整する」の **2** の画面を表示します。

2 「アスペクト」の ◀ または ▶ にタッチして、サイズを調整します。

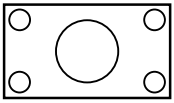
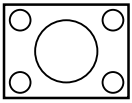
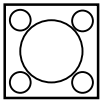
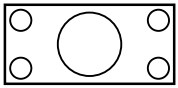
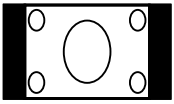
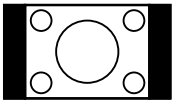
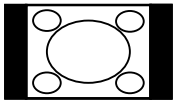
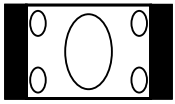
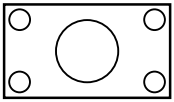
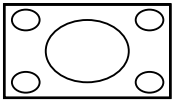
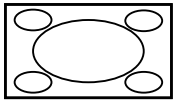
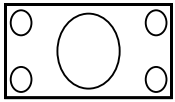
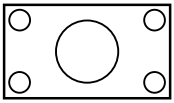
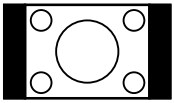
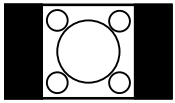
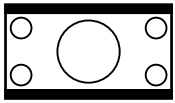


レギュラー：
4:3の比率で表示します。
フル：
画面いっぱいに表示します。
オリジナル(USB/SDのみ)：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。
オート(DVDのみ)：
16:9の映像はフルで、4:3の映像はレギュラーで表示します。

●USBまたはSDソースの“オリジナル”は、データの縦横比を変えずにできる限り大きく表示するように設定します。

AV

映像サイズイメージ

アスペクト設定	16：9画像	4：3画像	その他	
				
レギュラー				
フル				
オリジナル（SD/USBのみ）				
オート（DVDのみ）	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

サウンド設定

サウンドを設定する

車内の音響効果や音質を調整します。
サウンド設定は、AVソースを選択しているときに行ってください。スタンバイのときには設定できません。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [サウンド設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ポジション	リスニングポジションを設定します（☞ P146）。
スピーカー	スピーカーの構成を設定します（☞ P144）。
イコライザー	音質を設定します（☞ P148）。
車両設定	車両のタイプを設定します（☞ P143）。
バランス/フェーダー	左右/前後の音量バランスを設定します（☞ P143）。
ソースレベル	各AVソースの音量をそろえます（☞ P149）。
オーディオ効果	音響効果を設定します（☞ P150）。
ハードウェア	内蔵アンプとプリアウトを設定します（☞ P151）。

AV

バランス/フェーダーを設定する

左右および前後の音量バランスを調整します。

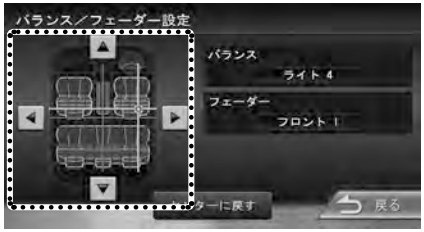
▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「バランス/フェーダー」の[設定]にタッチします。



2 バランスを合わせる位置にタッチします。



◀または▶にタッチして左右のバランスを、▲または▼にタッチして前後のバランスを調整することもできます。
[センターに戻す]にタッチすると、左右/前後ともに中央になります。

カータイプを設定する

車両タイプを設定します。

▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 [車両設定]にタッチします。



2 車両タイプを選んでタッチします。



選択した車両タイプに合ったDTAが設定されます。
さらに詳細に調整したい場合は、リスニングポジションの設定を行ってください(☞ P146)。

AV

スピーカー構成を設定する

車両のスピーカー構成を設定します。
外部アンプを使用する場合は、ハードウェアの設定を確認また設定してください(☞ P151)。

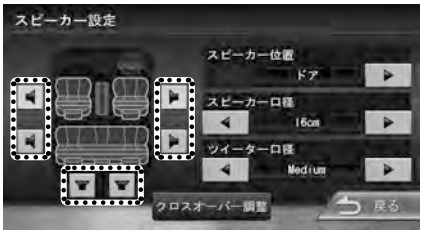
▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 [スピーカー]にタッチします。



2 設定するスピーカーを選んでタッチします。



3 「スピーカー位置」の◀または▶にタッチして、スピーカーの位置を設定します。



4 「スピーカー口径」の◀または▶にタッチして、スピーカーの口径を設定します。



口径が不明なときは“16cm”を選択します。
スピーカーがないときは“なし”を選択します。

5 フロントスピーカーの場合のみ、「ツイーター口径」の◀または▶にタッチして、ツイーターの口径を設定します。



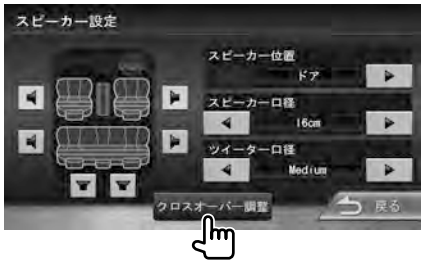
- フロントスピーカーの口径は“なし”(スピーカーなし)には設定できません。
- 「プリアウト端子の出力切替」を“リア”に設定(☞ P151)している場合は、サブウーファーは設定できません。
- サブウーファーの「スピーカー口径」を“なし”に設定している場合は、サブウーファーのクロスオーバーは調整できません。
- リアスピーカーの口径を“なし”に設定している場合は、リアスピーカーのクロスオーバーは調整できません。

AV

スピーカーのクロスオーバー周波数を変更するときは

フロント/リアスピーカーとサブウーファーのクロスオーバー周波数とスロープ（減衰率）、サブウーファーの位相、スピーカーレベルを設定します。

1 [クロスオーバー調整]にタッチします。



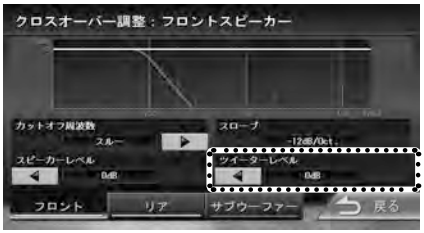
2 クロースオーバー周波数を変更するスピーカーのボタンにタッチします。



3 ◀ または ▶ にタッチして、フロント（またはリア）スピーカーとサブウーファーの各項目を設定します。



4 フロントスピーカーを選択したときで、スピーカー設定でフロントスピーカーにツイーターの口径が設定されている場合のみ、◀ または ▶ にタッチして、ツイーターの出力レベルを設定します。



5 サブウーファーの場合のみ、「位相反転」の[する]（逆相）または[しない]（正相）にタッチして、位相を設定します。



- カットオフ周波数とは、フロント/リアスピーカーの場合はその周波数よりも低い成分をカットする周波数です。また、サブウーファーの場合は、その周波数よりも高い成分をカットする周波数です。この機能により、フロント/リアスピーカーでは低域成分、サブウーファーでは高域成分が出力されないようにできます。
 “スルー”に設定すると、この機能はオフになります。
- スロープとは、カットオフ周波数で設定した帯域の音をカットするときの減衰率です。1オクターブ（oct）あたりの減衰率をdBで設定します。
- 各スピーカーやツイーターの出力レベルを変えると、トーンカーブ全体が上下に動きます。各スピーカーの出力レベルがそろうように調整します。
- 「プリアウト端子の出力切替」を”リア”に設定している場合は、サヴウーファーのクロスオーバーは調整できません。

リスニングポジションを設定する

車に乗っている人にとってより良い音場になるように、リスニングポジションを選択します。

ここでの設定を行う前に、カータイプを設定しておいてください(☞ P143)。

▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定 ➔

1 [ポジション]にタッチします。



2 設定するリスニングポジションを選んでタッチします。



選択したリスニングポジションに合ったDTA(Digital Time Alignment)が設定されます。DTA値は微調整することもできます(☞ P146)。

DTAとは、実際のリスニングポジションから各スピーカーまでの距離が等しくなるように、スピーカーの仮想位置を調整する機能です。

リスニングポジションのDTAを微調整するときは

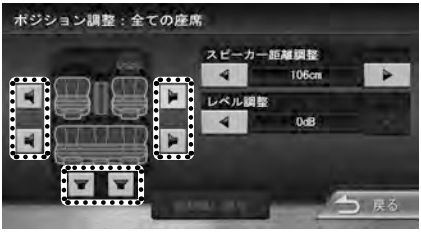
実際のリスニングポジションに合わせて、DTAを微調整することもできます。

▶ リスニングポジションを選択します

1 [ポジション調整]にタッチします。



2 調整するスピーカーのボタンにタッチします。



AV

3 「スピーカー距離調整」または「レベル調整」の ◀ または ▶ にタッチして調整します。



「スピーカー距離調整」で調整する場合は、実際に測った距離を入力します。
この際、ポジションが「全ての座席」を選択したときは全席の中央からの距離、「フロント両座席」を選択したときは左右両座席の中央間からの距離を指定します。
また、「レベル調整」で調整する場合は、音を聴きながら調整します。

4 2 と 3 を繰り返して、すべてのスピーカーを設定します。

- 「プリアウト端子の出力切替」を“リア”に設定(☞ P151)している場合は、サブウーファーのDTAは調整できません。
- リアスピーカーおよびサブウーファーの口径が“なし”に設定されている場合は、当該スピーカーのDTAは調整できません。
- **3** で、[初期値に戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、調整中のリスニングポジションのすべてのスピーカー調整値が初期値に戻ります。

プリセットイコライザーを設定する

ソースごとに、プリセットイコライザーを設定します。

▶ サウンド設定メニューを表示します

設定するソースを選ぶ ➔ メニュー ➔ 情報・設定 ➔ 

1 [イコライザー]にタッチします。



2 プリセットイコライザーのジャンルを選んでタッチします。



ユーザーイコライザーを設定するときは

プリセットイコライザーのカーブを変更したり、ユーザー独自のイコライザーカーブに設定することができます。

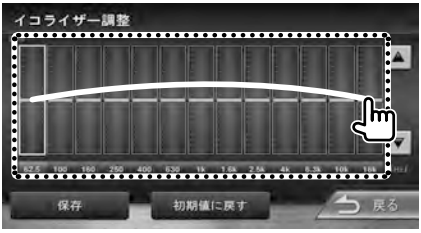
▶ イコライザ設定画面を表示します

設定するソースを選ぶ ➔ イコライザー設定画面を表示する

1 [イコライザー調整]にタッチします。



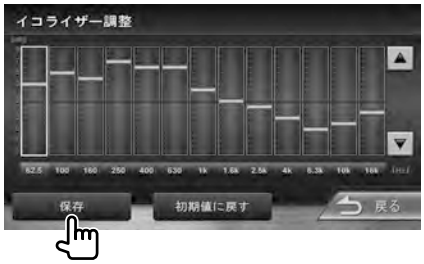
2 設定したいイコライザーカーブを画面でなぞります。



調整する周波数を選択してタッチし、▲または▼にタッチしてレベルを設定することもできます。

AV

3 [保存]にタッチします。



[初期値に戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。
[はい]にタッチすると、イコライザーカーブの設定はリセットされて“0”になります。

4 保存先を選択します。



ソースの音量バランスをそろえる

音楽CDの音量を基準に、各ソースの音量をそろえます。

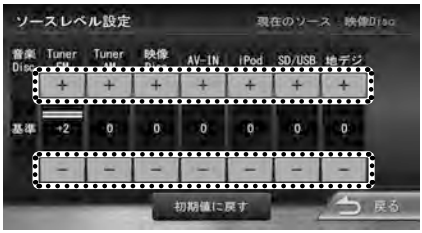
▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 「ソースレベル」の[設定]にタッチします。



2 現在のソースの ＋ または － にタッチして、音量を調整します。



[初期値に戻す]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。
[はい]にタッチするとすべてのソースレベルの調整はリセットされて“0”になります。

AV

オーディオ効果を設定する

各種の音響効果を設定します。
オーディオ効果は、AVソースを選択しているときに設定してください。スタンバイ（オーディオオフ）のときには設定できません。

▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ ➔

1 [オーディオ効果]にタッチします。



2 各項目の ◀ または ▶ にタッチして調整します。





3 [戻る]にタッチします。
サウンド設定メニューに戻ります。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
バスブースト	Level3	低音を増強するレベルを設定します。
	Level2	
	Level1*	
	Off	バスブーストをオフにします。
スペースエンハンサー	Large	実際の車室よりも広い仮想空間での音響効果を作り出します。ここでは、仮想空間の広さを設定します。
	Medium	
	Small	
	Off*	スペースエンハンサーをオフにします。
ラウドネス	High	小音量時に不足する低音と高音を補います。ここでは、そのレベルを設定します。
	Low	
	Off*	ラウドネスをオフにします。
エレベーション	High	実際のスピーカの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。
	Middle	
	Low	
	Off*	エレベーションをオフにします。
ハイウェイサウンド	High	ロードノイズで消されがちな小さな音を大きくし、さらに低音を増強します。
	Middle	
	Low	
	Off*	ハイウェイサウンドをオフにします。
リアライザー	Level3	ぼけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
	Level2	
	Level1*	
	Off	リアライザーをオフにします。
サブリーム	On	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで、自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
	Off*	サブリームをオフにします。

* お買い上げ時の設定

● ソースが"TUNER"のときには、スペースエンハンサーは設定できません。

ハードウェアを設定する

内蔵アンプの出力と、プリアウト端子の出力を設定します。

▶ サウンド設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定 ➔

1 [ハードウェア]にタッチします。



2 各項目の選択肢にタッチして選択します。



3 [戻る]にタッチします。

サウンド設定メニューに戻ります。

設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
内蔵アンプ出力	On*	内蔵アンプの出力をオンにします。
	Off	内蔵アンプの出力をオフにします。
プリアウト端子の出力切替	サブウーファー*	リア/サブウーファ出力にサブウーファーを接続するときに選択します。
	リア	リア/サブウーファー出力にリアスピーカーを接続するときに選択します。

* お買い上げ時の設定

● 「プリアウト端子の出力切替」を“リア”に設定すると、サブウーファーのDTAは調整できません(☞ P146)。また、サブウーファーのクロスオーバーの調整もできません。

AV

システムを設定する

本機のシステムに関する項目を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー → 情報・設定

1 [システム設定]にタッチします。



2 各項目を設定します。



● [AV]、[音量]、[表示]、[車両]、[その他]にタッチすると、項目を切り替えることができます。

設定できる項目は次のとおりです。

AV

項目	選択肢	説明
楽曲データ管理	–	楽曲の更新や録音データの削除などを行います。
録音設定	–	音楽CDからSDカードに録音するときの設定を行います（☞ P126）。
AV-INの接続機器	Video*	AV機器（音声と映像）をAV-IN端子に接続しているときに選択します。
	Audio	オーディオ機器（音声のみ）をAV-IN端子に接続しているときに選択します。
	接続なし	AV-INソースを使用しないときに選択します。

* お買い上げ時の設定

音量

項目	選択肢	説明
走行スピードと音量の連動	連動しない	車速に応じて、自動的に音量を上げます。“連動しない”に設定すると、音量は変化しません。
	小*	
	中	
	大	
ナビ音声案内時のAV音量	消音	音声案内時にAVソースの音声を消します。
	下げる*	音声案内時にAVソースの音量を下げます。
	そのまま	音声案内時でもAVソースの音量は変化しません。
リバース時のAV音量	下げる*	バックするときにAVソースの音量を下げます。
	そのまま	バックするときでもAVソースの音量は変化しません。
スターターボリューム	動作しない*	電源オンの時にAVの音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。「動作しない」に設定すると、音量は変化しません。
	更新間隔：速	
	更新間隔：中	
	更新間隔：遅	

* お買い上げ時の設定

表示

項目	選択肢	説明
画面の明るさ：昼	-5 ～ +5*	昼画面（イルミオフ）の明るさを調整します。
画面の明るさ：夜	-5 ～ +1* ～ +5	夜画面（イルミオン）の明るさを調整します。
イルミネーションカラー	–	キーイルミネーションの色を設定します（☞ P154）。
映像画面/消灯画面の時計	表示する*	AVソースの映像画面や画面オフ時に時計を表示します。
	表示しない	表示しません。

* お買い上げ時の設定

車両

項目	選択肢	説明
車両ナンバー	軽	車両ナンバーの分類番号を設定します。 ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
	5・7*	
	3	
	1	
オートアンテナ	あり	オートアンテナが装着されているときに選択します
	なし*	オートアンテナが装着されていないときに選択します。
リアビューカメラ接続	専用	リアビューカメラCMOS-310（別売品）が接続されているときに選択します。 詳しくは、CMOS-310の取扱説明書をご覧ください。
	汎用	市販のリアビューカメラが接続されているときに選択します。
	なし*	リアビューカメラが接続されていないときに選択します。
専用カメラ設定	–	リアビューカメラCMOS-310（別売品）が接続されているときの表示方法を設定します。
ステアリングリモコン	設定	ステアリングリモコンの動作設定をします。
	なし*	設定しません。

* お買い上げ時の設定

その他

項目	選択肢	説明
操作音の出力	する*	画面のボタンにタッチしたときにピッという音を出します。
	しない	音を出しません（一部の音は鳴ります）。
ショートカットボタン	–	現在地図画面に表示されるクイックメニューに機能を割り当てます（☞ P37）。
暗証番号	–	本機の起動のための暗証番号を設定/変更します（☞ P20）。
セキュリティインジケータ	On	ナビの電源をオフにしたときにセキュリティインジケータの点滅をオンします。
	Off*	セキュリティインジケータの点滅をオフします。
店頭デモの表示	–	この項目が表示されたときは、“しない”に設定してください。
ユーザー設定の初期化	–	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。 初期化を行っても、暗証番号、楽曲データベースは消去されません。楽曲データベースの都度更新は消去されます（☞ P159）。

* お買い上げ時の設定

イルミネーションの色を設定する

フロントパネルのキーのイルミネーションの色を設定します。

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定 ➔ 

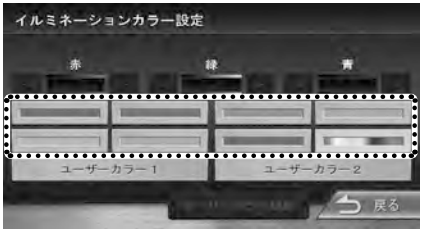
1 [表示]にタッチします。



2 「イルミネーションカラー」の[設定]にタッチします。



3 色のボタンにタッチします。



レインボーカラーにタッチすると、イルミネーションの色は時間とともに変化します。

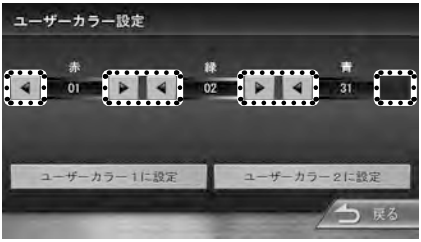
ユーザー独自の色を作るときは

ユーザー独自のイルミネーションカラーを作ることもできます。

▶ 前項 **3** で、レインボーカラー以外を選択します

1 [ユーザーカラー設定]にタッチします。

2 赤緑青の◀または▶にタッチして、新しい色を作ります。



色の設定はすぐに反映されますので、キーの発光色を見ながら設定できます。

3 登録先のボタン([ユーザーカラー 1に設定]/[ユーザーカラー 2に設定])にタッチします。

● イルミネーションカラーとしてレインボーカラーが選択されているときには、ユーザー独自の色は作れません。

ステアリングリモコンを設定する

本機でステアリングリモコンの設定を行うと、車両のステアリングリモコンから本機を操作することができます。

ステアリングリモコンは、車両メーカーによる各キーへの機能の割り当てで使用することもできます。
この場合は、車両のメーカーやモデルを設定します(☞ P155)。
また、ユーザー独自の割り当てで使用することもできます(☞ P156)。車両モデルの設定がない場合も、この方法で割り当てできます。

車両のステアリングリモコンを使うためには、ETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX(別売品)が必要です。

車両を選んで設定する

車両のステアリングリモコンで本機を操作できるように設定します。

対応している車種については、下記ホームページをご覧ください。
http://www2.jvckenwood.com/products/car_audio/option/etccable/index.html

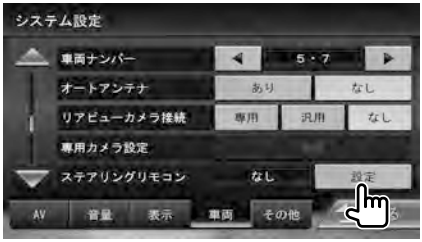
▶ システム設定メニューを表示します



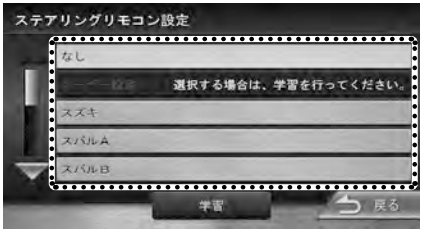
1 [車両]にタッチします。



2 「ステアリングリモコン」の[設定]にタッチします。



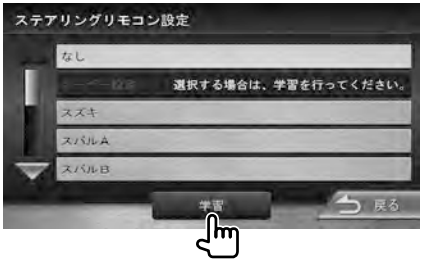
3 車両のメーカーを選んでタッチします。



ステアリングリモコンにユーザー独自に割り当てる

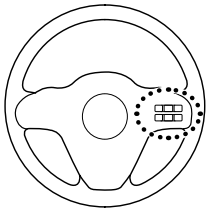
対応車両でない場合や、機能の割り当てを独自に変更した場合の設定です。

1 [学習]にタッチします。



ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングリモコンは押さないでください。

2 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを約2秒以上押します。



3 割り当てる機能を、リストで選んでタッチします。



機能を割り当てると、ボタン名が割り当てた機能に変わります。

4 他のキーにも割り当てるには **2** ～ **3** を繰り返してください。

5 割り当てが終わったら、「学習を完了する」にタッチします。

● 学習を完了したあとでも割り当てた機能を変更することはできますが、機能を追加することはできません。追加した場合は、割り当ての初期化を行ってください（☞P158）。

割り当てを変更する

独自に割り当てたキー設定を、学習完了後に変更することができます。

1 [キー割当て変更]にタッチします。



2 割り当てを変更するボタンを選んでタッチします。



もう一度タッチすると選択が解除されます。

3 割り当てる機能を、リストで選んでタッチします。



4 **2** ～ **3** を繰り返して、使用するボタンに機能を割り当てます。

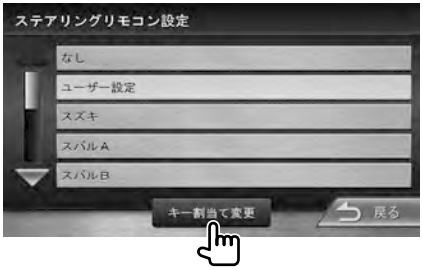
5 [変更を完了する]にタッチします。

● **3** で、[未設定]を選択すると、割り当てを削除できます。

割り当てを初期化する

ステアリングリモコンへのキーの割り当てを、お買い上げ時の状態に戻します。

1 [キー割当て変更]にタッチします。



2 [学習を初期化する]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

● 学習を初期化すると、ステアリングリモコンの設定は［なし］になります。

ユーザー設定の初期化

本機の設定をお買い上げ時の状態にもどします。
設定を初期化しても暗証番号、SDカードに録音した曲、楽曲データベースは削除されません。

▶ システム設定メニューを表示します

メニュー → 情報・設定 → システム設定

1 [その他]にタッチします。



2 「ユーザー設定の初期化」の[初期化]にタッチします。



確認のメッセージが表示されます。

3 [はい]にタッチします。

接続状態を確認する

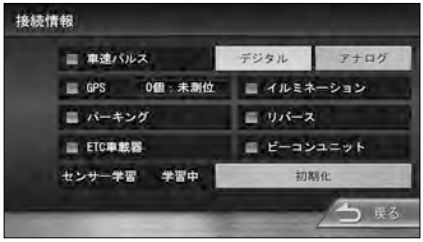
本機の各種のケーブルの接続状態を表示します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ {α} 情報・設定

1 [接続情報]にタッチします。





接続情報が表示されます。

表示または設定できる項目は次のとおりです。

項目	選択肢	説明
車速パルス	デジタル*	車速パルスの設定をデジタルに切り替えます。
	アナログ	車速パルスの設定をアナログに切り替えます。
GPS		GPSアンテナの接続状態を表示します。正しく接続されていると、インジケーターが点灯します。
イルミネーション		イルミネーションコードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のライトスイッチをオンにしたときにインジケーターが点灯します。
パーキング		パーキング検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のパーキングブレーキをかけたときにインジケーターが点灯します。
リバース		リバース検出コードの接続状態を表示します。コードが正しく接続されていると、車両のギアをリバースに切り替えたときにインジケーターが点灯します。
ETC車載器		ETC車載器の接続状態を表示します。対応ETC車載器が正しく接続されていると、インジケーターが点灯します。
ビーコンユニット		光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）の接続状態を表示します。正しく接続されていると、インジケーターが点灯します。
センサー学習		学習をリセットします。

* お買い上げ時の設定

- 「センサー学習」の[初期化]にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。[はい]にタッチすると、センサーの学習をリセットできます。通常は使用する必要はありませんが、タイヤを交換したときなどに使用してください（☞ P194）。
- ETC車載器を接続するには、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310とETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）が必要です。

データやソフトウェアのバージョンを確認する

地図などのデータやソフトウェアのバージョンを表示します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー → 情報・設定

1 [バージョン情報]にタッチします。





バージョン情報が表示されます。

開通した道路情報の更新

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。
詳 細 は http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/index.html をご覧ください。

KENWOOD MapFan Clubを利用して地図を更新する

KENWOOD MapFan Clubのサービスとは

「KENWOOD MapFan Club」は、インクリメントP株式会社が提供するサービス「MapFan」とKENWOOD製カーナビが連動した会員制地図更新サービスプログラムです。

KENWOOD MapFan Clubに入会し、続けて会費をお支払いいただくと、最大5年間、5回の地図更新が可能になります。

サービスの詳細や会員登録については、同梱のKENWOOD MapFan Clubに関するお知らせをお読みください。

また、弊社ホームページからもご覧になれます。
http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/mapfan/index.html

会員登録は本機のQRコードを使っても登録できます。

オービスデータについて

本機はオービスデータを読み込むことができます。

オービスデータSDカード（別売品）を販売店で購入することができます。

またMapFan Club会員登録していると、MapFanのWEBサイトからオービスデータSDカードをお得に購入することもできます。
詳 細 は http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/memory/obis_download/index.html をご覧ください。

QRコードを使ってKENWOOD MapFan Clubに登録する

あらかじめ、スマートフォンにQRコード読み込みアプリケーションのインストールが必要です。

▶ ナビ設定（地図）メニューを表示します



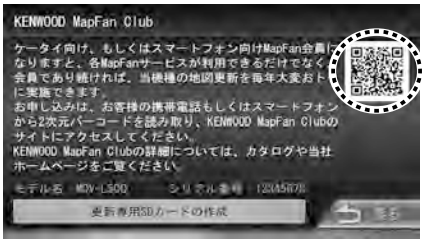
1 「その他」にタッチします。



2 「地図更新プログラム」の[KENWOOD MapFan Clubについて]にタッチします。



3 QRコードを携帯電話またはスマートフォンで読み取ります。



「KENWOOD MapFan Club」会員登録サイトにアクセスします。

4 [会員/カーナビ登録]にタッチして会員登録します。

画面に従って会員登録を行ってください。

●カーナビ登録に使用する「モデル名」と「シリアル番号」はQRコード表示画面（手順3）に表示されます。

ETC情報を確認する

ETC情報について

●ETC車載器を接続するには、株式会社デンソー製ETC車載器DIU-5310とETC/ステアリングリモコン対応ケーブルKNA-300EX（別売品）が必要です。

●ETC（Electronic Toll Collection System）は高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過するために発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

ETC履歴/車載器情報を見る

ETCの利用履歴や登録情報を確認できます。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー → 情報・設定

1 [ETC情報]にタッチします。





車載器の情報を見るときは[ETC車載器情報]にタッチします。



●ETCの利用履歴は、100件まで表示されます。
●履歴情報は、ETCカードの挿入時のみ表示されます。

ETCの料金表示を設定する

ETCの料金表示を設定します。

▶ 情報・設定メニューを表示します

メニュー ➔ 情報・設定

1 [ナビ設定]にタッチします。



2 [案内]にタッチします。



3 「ETC料金の表示」の[する]または[しない]にタッチします。



リアビューカメラを設定する

リアビューカメラの接続を設定します。

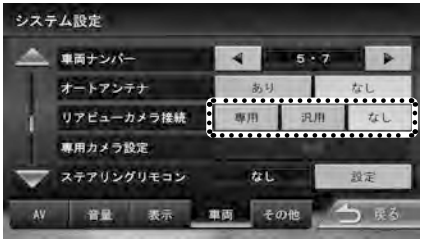
▶ システム設定メニューを表示します

メニュー ➔ (α) ➔

1 [車両]にタッチします。



2 「リアビューカメラ接続」の該当するボタンにタッチします。



CMOS-310を接続した場合は[専用]、CMOS-210またはその他の市販品を接続した場合は[汎用]を選択します。

CMOS-310を接続したときは

リアビューカメラCMOS-310（別売品）を接続したときは、本機の画面上でCMOS-310を設定できます。

1 「専用カメラ設定」の「設定」にタッチします。



CMOS-310の設定画面が表示されます。
CMOS-310を本機で操作するために「設定」にタッチして設定を行ってください。

設定方法については、CMOS-310の取扱説明書をご覧ください。

● 本機で操作できるリアビューカメラは1台のみです。

リアビューカメラの映像を表示する

リアビューカメラを接続すると、カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

- リアビューカメラシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

1 シフトレバーを“R”（リバース）にします。



- シフトレバーを“R”（リバース）にしてもカメラの映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。
- リアビューカメラ映像の表示中は、▼ ▲ と ⏮ ⏭ が操作できます。

操作ボタンを表示する

警告文を下に表示すると、車両の後端が映らなくなり、危険な場合があります。そのような場合は、表示位置を上に切り替えてください。

1 画面にタッチします。



CMOS-310を接続したときは



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

① 消す
操作ボタンを消します。

② 画質
映像の画質を調整します（☞ P140）。

③ 上位置 / 下位置
警告文の表示位置を選択します。

④ ビュー
画面表示モードを切り替えます。

⑤ ガイド線
ガイド線を消します。もう一度タッチすると表示します。

- CMOS-310を接続しているときに表示されるガイド線の形状は画面と異なります。

CMOS-210または市販品を接続したときは



表示されるボタンのはたらきは次のとおりです。

① 消す
操作ボタンを消します。

② 画質
映像の画質を調整します（☞ P140）。

③ 上位置 / 下位置
警告文の表示位置を選択します。

④ ガイド調整
ガイド線を調整します（☞ P169）。

⑤ ガイド線
ガイド線を消します。もう一度タッチすると表示します。

ガイド線の調整について

CMOS-210または市販品を接続している場合に表示されるガイド線を調整します。CMOS-310をご使用の場合はCMOS-310の取扱説明書をご確認ください。

使用上のご注意

- ガイド線を調整するときは、必ず安全で迷惑のかからない場所に停車してから操作してください。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて調整した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。
- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。
- リアビューカメラに表示される映像は実際の車幅や距離間隔が異なる場合がありますのでご注意ください。

ご使用の前に

- リアビューカメラをお使いになる場合は、システム設定メニューの「車両」ー「リアビューカメラ接続」を「汎用」に設定してください。
- ガイド線の調整は車両が動かないようにエンジンを切って、車両のイグニッションキーを“オン”にし、パーキングブレーキを引いて、必ず輪止めをして行ってください。

ガイド線を調整する

1 パーキングブレーキを引いて、シフトレバーを“R”（リバース）にします。



2 画面にタッチします。

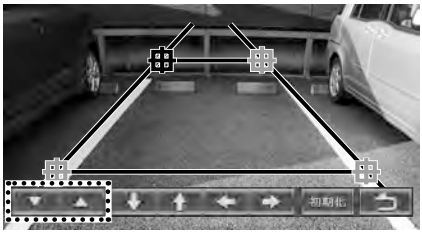


3 [ガイド調整]にタッチします。

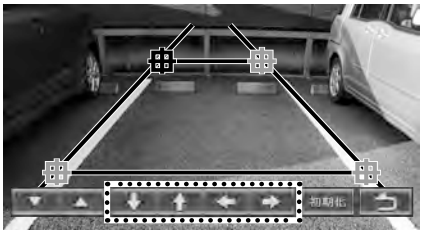


ガイド線が表示されていないときは、［ガイド線］にタッチしてガイド線を表示してください。

4 ▼または▲にタッチして調整したいカーソル（✛）を選択します。



5 選択したカーソル（✛）を↓、↑、←、→にタッチしてガイド線を調整します。



選択しているカーソル（✛）位置を上下左右に移動します。

初期化：カーソル（✛）を初期の位置に戻します。

：調整ボタンを消して、ガイド線表示の画面に戻ります。

6 **4** と **5** を繰り返して、その他のカーソル（✛）位置を調整します。

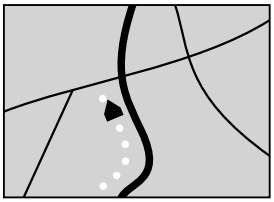
● ガイド線の調整はパーキングブレーキを引いて、ガイド線が表示されているときに調整できます。調整画面を表示しているときにパーキングブレーキを解除すると、調整ボタンが消えます。

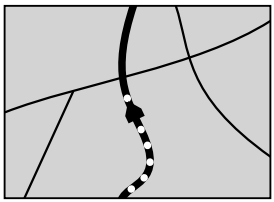
自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPSや自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

マップマッチングしていない場合　　マップマッチングしている場合





本機は、GPSと自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

3Dセンサーについて

内蔵の3Dセンサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路/国道/県道などの全国主要道です。高さ情報が無いところでは、判定されません。
高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

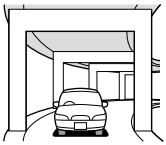
本機は、GPSと自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

GPS測位不能によって生じる誤差について

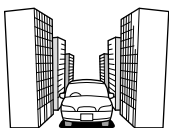
1）次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中や
ビル内の駐車場



2層構造の
高速道路の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間

2）GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的にGPS衛星からの電波を受信できなくなるため、GPSによる測位ができないことがあります。
3）3基以下のGPS衛星の電波しか受信できない場合は、GPSによる測位ができないことがあります。

4) GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗った場合は、電波の感度が低下したり、電波を受信できなくなり、GPSによる測位ができないことがあります。
GPSアンテナにペンキや車のワックスを塗らないでください。また、アンテナやアンテナ付近に雪が積もっている場合も電波の感度が低下します。雪が積もったときは、雪を取り除いてください。

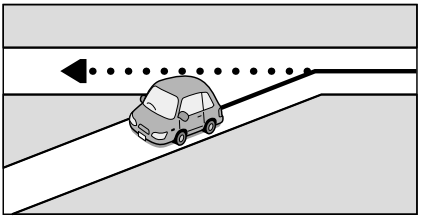
GPS衛星自体の原因により生じる誤差について

1) 電波を受信しているGPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2) GPS衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

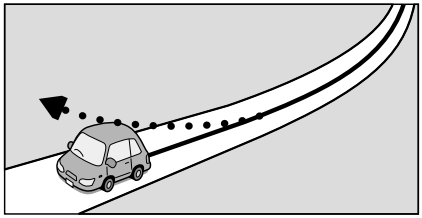
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さいY字路を走行した場合



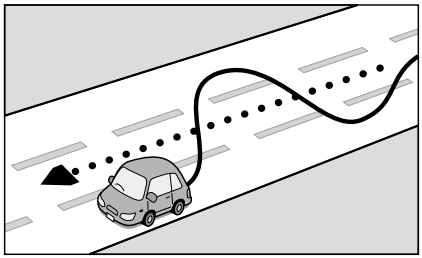
直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



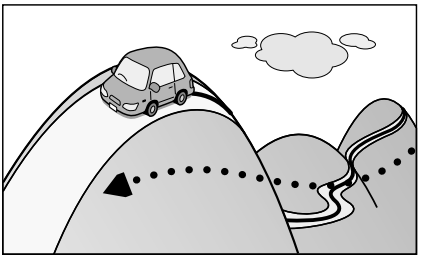
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



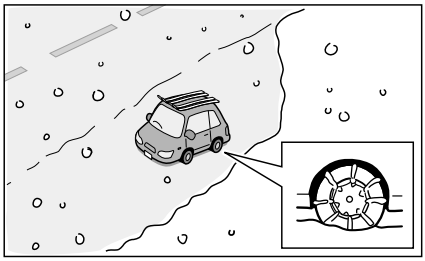
蛇行運転をした場合



勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合

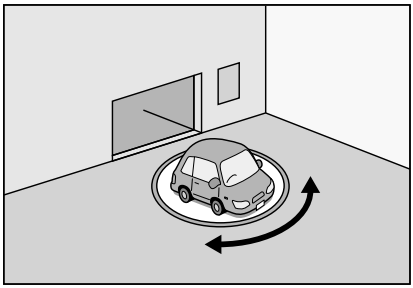


チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合

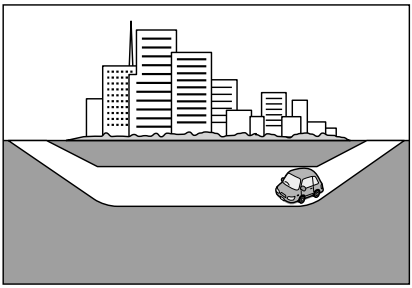


自車位置の測位精度について

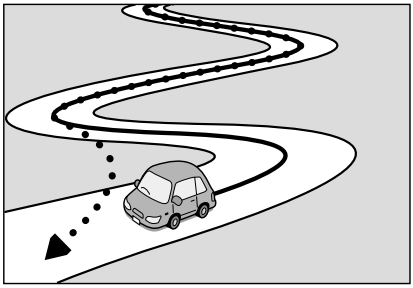
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



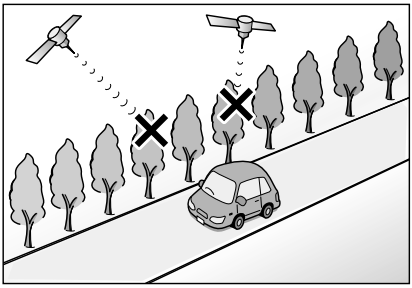
地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



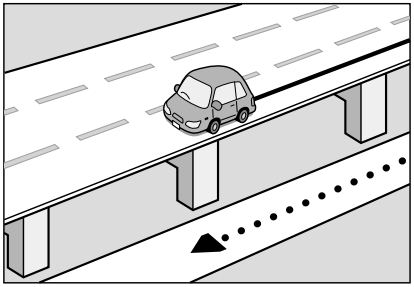
ヘアピンカーブが続いた場合



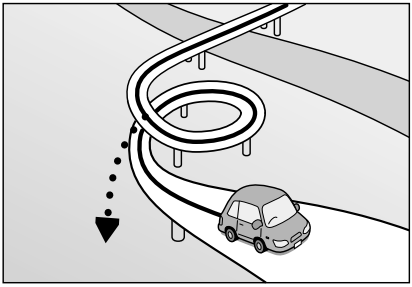
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



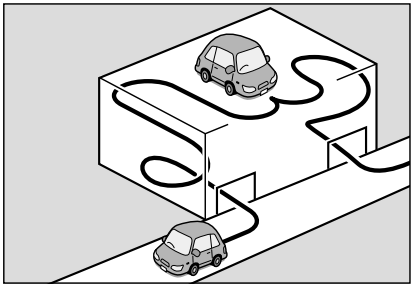
高速道路と側道などが隣接している場合



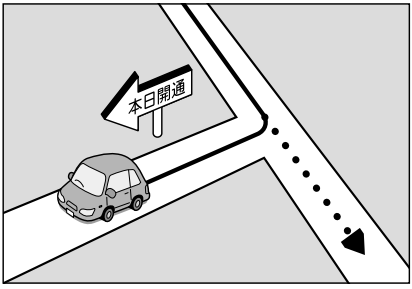
ループ橋などを走行した場合



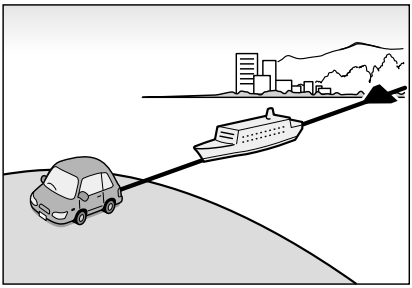
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



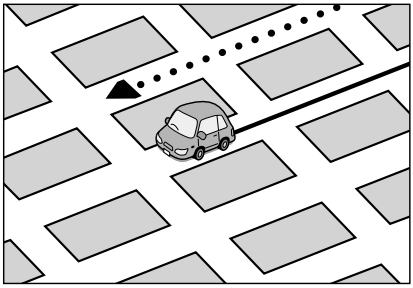
地図データにはない、新設道路を走行した場合



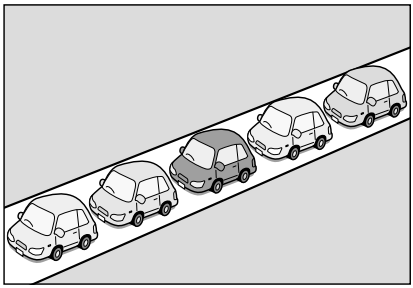
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数km程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数km程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称
	信号機
	都道府県庁舎
	市特別区庁舎
	町村指定都市区庁舎
	官庁公共施設
	警察
	消防
	学校
	郵便局
	病院
	デパートスーパー
	カー用品店
	ＩＣ
	ＳＡ
	ＰＡ
	パーキング
	工場
	飛行場
	フェリー
	港
	料金所

記号	名称
	マリーナ
	史跡名勝
	城跡
	神社
	寺院
	教会
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー
	キャンプ
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	スポーツ施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館
	図書館

記号	名称
	テーマパーク
	城・天守閣
	展望タワー
	温泉
	山頂
	自衛隊
	墓地
	ボウリング場
	サッカー
	競馬場ウィンズ
	大学
	短大
	高専
	高校
	中学校
	小学校
	その他学校
	保健所
	税務署
	発電所
	裁判所

記号	名称
	灯台
	ホール
	スマートＩＣ
	その他の目的物
	ＮＴＴ
	サーキット
	テニスコート
	ディスカウントストア
	ビルアパート名称
	道の駅
	ヘリポート
	乗馬
	体育館
	牧場
	ホール
	自動車学校
	トンネル
	船着場（観光船等）
	野球場
	展望台

● 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などの 施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称	記号	名称	記号	名称
IC	IC	PA JCT	PA/JCT（併設）		休憩所
スマートIC	スマートIC	¥	料金所		ハイウェイ情報ターミナル
SA	SA	スマートIC	スマートIC		ベビーコーナー
PA	PA		ガソリンスタンド		ドッグラン
JCT	JCT		レストラン		障害者用トイレ
IC JCT	IC/JCT（併設）		スナック	¥	ATM
IC SA	IC/SA（併設）		ショッピング		トイレ
IC PA	IC/PA（併設）	オアシス	ハイウェイオアシス		
SA JCT	SA/JCT（併設）		インフォメーション		

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

ジャンルの分類について

ジャンル検索等に使用するジャンルは、次のように分類されています。

大分類	中分類
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア各社
ガソリンスタンド	石油元売各社
駐車場	－
食事	ファミリーレストラン、ファーストフード、和食、中華、ラーメン、焼肉・ホルモン、韓国料理、イタリア料理、スパゲティ専門店、ピザハウス、フランス料理、ステーキハウス、カレーハウス、喫茶・カフェ、パン・お菓子、持ち帰り弁当、居酒屋・バー・クラブ
ショッピング	ショッピングセンター・モール、アウトレットモール、スーパーマーケット、デパート、ドラッグストア、ホームセンター、ディスカウントストア、雑貨屋、100円ショップ、電器店、携帯電話ショップ、本屋、古本屋、CDレコード店、レンタルビデオ・CD、おもちゃ屋、ゲームショップ、アウトドア用品店、釣具店、花屋・園芸店、家具店、インテリア用品店、食器店、酒屋
レジャー	入浴施設、遊園地・テーマパーク、レジャー公園、牧場、海水浴場・海岸、釣り、野・川遊び、キャンプ場、果物狩り、遊覧船、リフト・ロープウェイ、ホール・会館、映画館、ボウリング場、カラオケ、パチンコ・スロット、公営ギャンブル、その他レジャー
観光	動物園・サファリパーク、水族館、植物園、美術館、博物館、資料館、文化施設、神社、寺院、教会、劇場、プラネタリウム、観光名所、星の観察、天文台、城・城跡、史跡、観光案内所、その他観光
宿泊	ホテル、ビジネスホテル、カプセルホテル、ファッションホテル、旅館、民宿、ペンション、公共の宿、その他宿泊
交通機関	高速・都市高速・有料道路施設、駅、道の駅、空港、旅客船発着所、フェリーターミナル
トイレ	－
銀行	都市銀行、地方銀行（北海道・東北）、地方銀行（関東）、地方銀行（中部）、地方銀行（近畿）、地方銀行（中国・四国）、地方銀行（九州・沖縄）、JAバンク、ゆうちょ銀行、その他銀行
公共施設	役所、警察署・交番、消防署、郵便局、図書館、裁判所、法務局、税務署、年金事務所、保健所、外国公館、放送局、新聞社、運転免許試験場
病院	病院・医院・診療所、内科、外科、小児科、歯科、矯正歯科、小児歯科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、アレルギー科、産婦人科・産院、胃腸消化器内科・同外科、呼吸器内科、循環器内科・同外科、精神科、脳神経外科、心療内科、整形外科、泌尿器科、肛門内科・同外科、ホスピス、はり・きゅう、カイロプラクティック、整体、美容外科、その他病院
教育	大学、短大、高専、高校、中学校、小学校、幼稚園、保育園、特別支援学校、各種専門学校、予備校、自動車教習所
ファッション装飾品	フォーマルウェア、カジュアルウェア、婦人服店、ブティック、子供服店、和服店、アクセサリー店、宝石・貴金属店、めがね店、かばん・ハンドバッグ店、靴店、理容・美容、その他ファッション・装飾品
スポーツ	スポーツ用品店、体育館、武道館・道場、野球場、陸上競技場、テニスコート、バッティングセンター、スポーツクラブ、プール、マリンスポーツ、スキー・スケート、ゴルフ、サーキット場、その他スポーツ
ペット	ペットショップ、ペット病院、ペット美容院、ペットホテル、ペット霊園・葬祭、ペットと泊まれる宿泊施設、ペットと泊まれるキャンプ場、ペットと入れるレストラン、ペットと行ける観光名所、ドッグスクール、ドッグラン＆ドッグスパ、その他ペット
冠婚葬祭	冠婚葬祭場、結婚式、霊園・墓地
カーディーラー	カーディーラー各社
自動車	カー用品店、自動車整備工場、中古車販売、中古車買取、洗車、運転代行サービス、レッカーサービス、ロードサービス、レンタカー、レンタルバイク

地図データベースについて

●この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
（測量法第44条に基づく成果使用承認　90－063）[2012年3月発行データ使用]
●この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。
（承認番号）小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
●この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
●この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。
(平成12年 養建第1902号)
●この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。
（承認番号）平10. 近公. 第34号
●この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。
(承認番号 15大木建第734号)
●この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。
(承認番号 16堀第5417号)
●この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。
（承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認）
●この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
●この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。
(承認番号:18東デ共041号)
●この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。
(承認番号) 18都市基交 第478号
●この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用し調製したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
承認番号)指令宇都第13号 平成18年5月15日承認
●この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号)指令宇都第14号 平成18年5月31日承認
●この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
(承認番号)周防建設第56号 平成18年5月12日承認
●この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。
(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
●この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。
(承認番号 H18東温都第174号)
●この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認)
●この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
●この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
●この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。
承認番号森第18-10号
●この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。
(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
●この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。
使用承認 平成19年3月1日 森整第1561号
●この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。
(承認番号 18森政第5-5号)
●この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号 平成18年11月24日付け森第1286号)
●この地図は島根県が作成した森林基本図1:5,000を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
(承認番号 平成19年2月27日付け森第1736号)
●この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(広島県使用承認林振第115号 平成19年2月15日承認)

地図データベースについて

●この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第484号 平成19年1月30日承認)
●この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 森整第010634号 平成18年10月4日承認)
●この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図(1/5,000)を使用し調製したものである。
承認番号 18林第492号(平成18年10月6日)
●この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。
(承認番号 森整第993号・平成19年2月14日)
●この地図は、熊本県知事の承認を得て5,000分の1の森林地形図を複製したものである。
(承認番号 森整第1079号・平成19年3月7日)
●この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号林18-1 平成18年12月5日)
●この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号林18-2 平成19年3月7日)
●この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号 使18-1号 平成18年12月8日)
●この地図は宮崎県知事の承認を得て5000分の1森林基本図を使用し、調製したものである。
(承認番号 使18-3号 平成19年3月8日)
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
(承認番号 平18 林振第360号)
●この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の1/5,000全図を使用し、調製したものである。
(承認番号)平成18年5月26日知耕第590号
●この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の5千分の1森林基本図を使用しました。
(測量法第44条第3項の規定に基づく成果使用承認 平成19年8月8日付、承認番号 林政19-482号、茨城県林政課長)
●この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。
(承認番号 平成18年11月30日 指令水緑-947)
●この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の10000分の1の全図を使用し、作成したものである。
(承認番号 笛まち第12-25号 平成19年12月13日承認)
●この地図は、岐阜県知事の承認を得て、岐阜県共有空間データ(18国地部公発第334号)を使用したものである。
(承認番号 情企第590号 平成20年3月24日承認)
●この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。
(承認番号 平成19年2月14日付け 18高森推第568号)
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
(承認番号 平19 林振第404号)
●この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成19年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。
(承認番号) 平21樽港事第33号
●この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の5000分の1の森林基本図を複製したものである。
(承認番号)平成21年森計第477号
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
(承認番号 平18 林振第497号)
●この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調製したものである。
(承認番号 東建収第8号 平成21年5月27日承認)
●この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の２千５百分の１幕別町現況図を使用し、調整したものである。
(承認番号)H22 幕都計第185号
●この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。
(承認番号 国地企調第180号 平成22年9月28日)
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
(承認番号 平22業使、第311号)
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。
(承認番号 平23情使、第43号-46号)
●この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5千分の1森林基本図を使用したものである。
(承認番号 平19 林振第246号)
●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用した。
(承認番号 平23情使、第283号-46号)
●この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。
(承認番号)23田街第55号

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。（承認番号 平24情使、第199号-46号）

交通規制データについて

本製品に使用している交通規制データは、2012年3月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

駐車場データについて

駐車場データは、株式会社アイ・エム・ジェイ提供の2011年10月データを使用しています。

タウンページデータについて

●タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2012年3月現在のデータを使用しています。
●もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
●一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

ハローページデータについて

●訪問宅（個人宅）電話番号データ(ハローページデータ)は、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2012年3月時点をのデータを使用しています。
●もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
●一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

料金データについて

高速道路(有料道路を含む)料金データは、2012年3月調査で2012年10月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

抜け道データについて

ぬけみちデータは、㈱昭文社発行の「抜け道データ2011年7月版」のデータを使用する。

放送局リストのデータについて

放送局リストのデータは2012年4月現在のものです。放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報及び個人情報（電話番号）について

●電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
●これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
●本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

注意事項

データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
収録するデータは、その正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取り替え、代金の返却はいたしかねます。
本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2012（一般財団法人)日本デジタル道路地図協会
©2012 INCREMENT P CORP.

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品をご使用前に必ずお読みください。

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」といいます。）および同梱品（併せて、以下、「本製品」といいます。）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「当社」といいます。）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」といいます。）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「本ソフトウェア」といいます。）が含まれております。本ソフトウェアは、コンピュータソフトウェア、それに関連する媒体、マニュアルその他の印刷物を含み、「オンライン」または電子文書を含むこともあります。
当社では、本製品をお客様がご使用になるに当たり、本製品をご使用を開始する前に、下記に示される「使用許諾契約書」をよく読まれたうえで、「使用許諾契約書」への同意をお願いしております。
お客様は、「使用許諾契約書」をお読みになり同意されるまでは、本製品をご使用になれません。
本製品をご使用になられた場合には、お客様は「使用許諾契約書」の各条項に同意されたものとみなされます。
本契約書の各条項に同意されない場合には、代金返還手続きを行いますので、梱包を解かれずに、本製品を直ちに購入店にご返品ください。
当該契約に違反するソフトウェアのいかなる除去、再生、解読、その他権限なき使用は厳格に禁止されます。

【使用許諾契約書】

本ソフトウェアは、著作権法および著作権に関する条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。

(1) 本ソフトウェア使用許諾および権利権限に関して

当社は本契約書によりお客様に以下の権利を許諾します。

- お客様は、本ソフトウェアを本システム上でのみ使用することができます。
- お客様は、本システム上への本ソフトウェアによるインストールおよび本システム上の本ソフトウェアを復元する以外の目的で使用することはできません。
- お客様は、本製品に付属するドキュメントの一部または全部を無断で複製することはできません。
- お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。但し、当該行為がこの制限にもかかわらず適用法によって明確に許されている範囲においてだけは許されるものとします。
- お客様は、本契約に基づいて、お客様の本ソフトウェアの使用権を第三者に恒久的に譲渡することができます。ただしその場合、お客様は複製物を保有することはできず、本契約書、本製品およびこれに付属するマニュアルその他のドキュメント類全てを譲渡し、かつ譲受人が本契約書の各条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがバージョンアップされている場合、譲渡は本ソフトウェアの以前のバージョンも全て含んだものでなければなりません。

(2) バージョンアップメディア

バージョンアップソフトウェア（本ソフトウェアの不具合対策、機能追加またはオペレーティングシステムのバージョンアップを含みますが、これに限りません。）が、読み出し専用メモリーや、CD-ROMのような媒体またはWebからのダウンロードやその他の手段で本システムとは別に当社によって提供され、かつ用途が「For Version up Purposes Only」または「For Recovery Purposes Only」となっている場合、お客様は、既存の本ソフトウェアのコピーと交換して、お客様自身の本システムにのみそのようなバージョンアップソフトウェアをインストールし、本契約書の各条項に従って使用することができます。

(3) 著作権

本ソフトウェア、付属のマニュアルなどの印刷物および本ソフトウェアの複製物についての権原および無体財産権は、当社またはソフトウェア供給者が有するものです。お客様は、本ソフトウェアに付属のマニュアルその他の印刷物を複製することはできません。本ソフトウェアを使ってアクセスされるコンテンツについての権原および無体財産権は、各コンテンツ所有者の財産であり、著作権法およびその他の無体財産権に関する法律ならびに条約によって保護されています。本契約書は、そのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本契約のもとに特に規定されていない権利は全て当社およびソフトウェア供給者に留保されます。

(4) 保証期間および保証内容

- 当社は、本ソフトウェアが付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合にお買い上げ後90日間に限りお客様からの当社に対する文章による通知により、当社は、当社の基準に従って、代替品と交換致します。本ソフトウェアについてのいかなる黙示の保証についても90日間に限ります。
- いかなる場合もソフトウェア供給者は、お客様に対して直接責任を負うものではありません。但し、本ソフトウェアの不具合が、事故、お客様の故意もしくは過失、誤用その他異常な条件下での使用によって生じた場合には、保証の責任を負いません。
- 上記に示した限定保証を除いては、本ソフトウェアはお客様に対して現状のまま提供されるものであり、明示たると黙示たるとを問わず無体財産権についての非侵害保証、商品性の保証あるいは特定目的に対する適合性の保証など一切の保証をいたしません。本ソフトウェアの品質および動作についてのリスクはお客様が負うものとします。
- いかなる場合においても、当社およびソフトウェア供給者は、本ソフトウェアの頒布、使用または動作からお客様に生ずるいかなる他の損害（通常損害、特別損害、逸失利益、事業の中止、企業情報の損失、事業設備の損失その他の金銭的損害を含みますが、これに限定されません）に関して、250米ドルを超える分について一切責任を負わないものとします。

(5) 輸出規制

- 本ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
- お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国で製品化された物を含むことを認めるものとします。お客様は、アメリカ合衆国の輸出管理規則ならびに、エンドユーザー、エンドユーザーによる使用、および輸出対象国に関する制限を含めた、アメリカ合衆国およびその他の政府機関による、本ソフトウェアに適用される全ての国内法および国際法を遵守することに同意されたものとします。

(6) その他

- 本契約は、日本法を準拠法といたします。
- 本契約に基づき紛争が生じた場合、東京地方裁判所をその専属的な管轄裁判所といたします。
- 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、本ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

VICSについて

VICSサービスの問い合わせ

VICSサービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

●VICSの仕組みやサービスエリアなどについて

●文字情報（レベル1）、簡易図形情報（レベル2）の情報表示について

＜問い合わせ先＞
（財）VICSセンター
サービスサポートセンター
電話受付時間　9:30 ～ 17:45（但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
電話番号　0570-00-8831（ナビダイヤルでは全国から市内通話料金でご利用になれます）
※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※ PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX受付時間　24時間
FAX番号（全国）03-3562-1719

●VICS関連商品の機能や使用方法について

●サービスエリア内の受信可否について

●地図表示（レベル3）の情報表示について

＜問い合わせ先＞
JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル　0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
FAX　045-450-2308
住所　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間　月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

●VICSの最新情報について

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
インターネットURL http://www.vics.or.jp/
なお、お問い合わせ先の判断に迷う場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンター（またはお買い上げの販売店）までご連絡ください。

付録

VICSリンクの更新について

VICSセンターでは、レベル3の情報の収集と提供に、VICSリンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICSリンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しいVICSリンクによる情報の提供が行われると、変更前のVICSリンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前のVICSリンクに対しても変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

● VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4) VICSデスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICSサービスの種類）

第4条　VICSサービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー 1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内）とします。

ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応ＦＭ受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応ＦＭ受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　1. 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。
また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2. 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章　雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が 不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2. VICSサービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金315円（うち消費税15円）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

本機器で提供している道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には財団法人交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

地上デジタルテレビ放送について

地上デジタル放送の受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルテレビチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたりする場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。これにより混信した場合、黒画面となり、音声が出なくなることがあります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動き等により受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させると、映像にブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 本機は、双方向データサービスおよびデータ放送には対応していません。

以下の点にご注意ください。

- 放送局からのおしらせメッセージなどの地上デジタルテレビ放送に関する情報は、本機に記憶されます。万一、本機の故障、不具合によって、これらの情報が消失した場合でも補償はできません。
- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ビデオレコーダーなどで録画・録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

地デジチャンネル変更（リパック）について

地上デジタル放送周波数再編事業、および受信障害解消のため、送信チャンネルが変更になる地域があります。
送信チャンネルが変更になった場合には、初期スキャンを行ってプリセットを登録しなおしてください。
地デジチャンネル変更に関する情報は、下記にお問い合わせください。

総務省 テレビ受信者支援センター（デジサポ）
http://digisuppo.jp/
チャンネル変更コールセンター
0120-922-303
受付時間
平日　9:00 ～ 21:00
土日祝　9:00 ～ 18:00

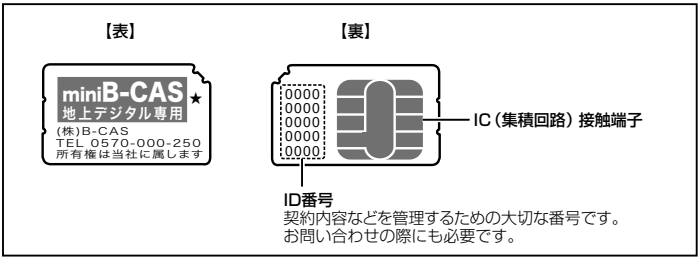
当社ホームページでも情報が公開されています。
http://www2.jvckenwood.com/products/information/info_ch_repack.html

付録

miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送を受信するうえで必ず必要なカードです。

本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号（ID番号）が付与されています。
ID番号は大切な番号です。（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。



- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い時には、次の点に留意してください。
 - miniB-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
 - miniB-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
 - miniB-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
 - miniB-CASカードのIC（集積回路）接触端子には手をふれないでください。
 - miniB-CASカードの分解加工は行なわないでください。
 - miniB-CASカードはカード挿入口に正しく挿入してください。
 - ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしないでください。地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - 付属のminiB-CASカードの所有権は、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。無断で譲渡できません。
 - 破損・紛失などminiB-CASカードの再発行には手数料がかかります。
 - miniB-CASカードの受信契約については、miniB-CASカードの台紙に記載されている事項やB-CASカード使用許諾契約約款などをよくお読みください。
 - 付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。
 - miniB-CASカードを破損・紛失などされた場合は、お客様より（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンターへお問い合わせください。
 - 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。
（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
電話番号　0570-000-250　受付時間　10：00～20：00（年中無休）
※電話番号はお間違えないようお願いいたします。
※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID（識別）番号の告知が必要になる場合があります。お客さまのminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

本機で再生できるディスクメディア

本機では、下表「ディスク再生対応一覧表」で「○」が表示されているディスクを再生できます。

ディスク再生対応一覧表

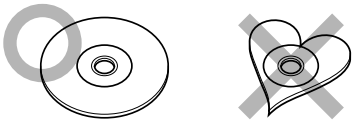
分類	規格	対応	説明
DVD	DVDビデオ	○	−
	DVDオーディオ	×	−
	DVD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV再生 VRモード対応（DVD-R/RWのみ） CPRM対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2層）	○	
	DVD-R DL（2層）	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/WAV再生
	CD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV再生 パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオCD、スーパービデオCD	×	−
	フォトCD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

- 本機で再生可能な音楽CDは  マークの入ったCDだけです。前記マークの入っていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWおよびDVD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。
- その他、CD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは、記録状態によっては再生できない場合があります。

使用できるディスク

特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。
レーベル面にシールの貼ってあるディスクを使用すると、ディスクが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるディスクは使用しないでください。
インクジェットプリンタでレーベル面に印刷可能なCD-R/RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

結露について

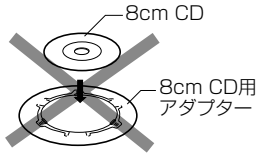
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売店へ連絡してください。

ディスク用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDアダプターは使用しないでください。
8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

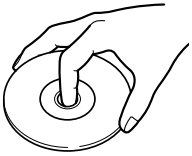


レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

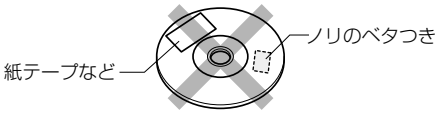
ディスクの取り扱いについて

ディスクの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。
（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）



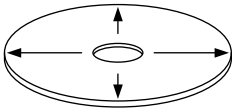
CD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは 通 常 のディスクより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がディスクのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままディスクプレーヤーにかけるとディスクが取り出せなくなったり、故障することがあります。



ディスクのお手入れ

ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



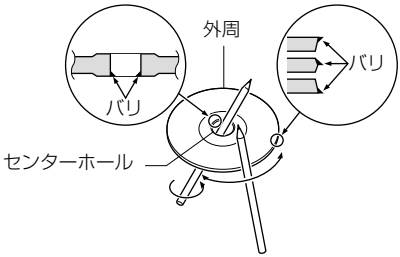
ディスクの保存

直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高くなる場所には置かないでください。
特にCD-R/RWやDVD-R/RW、DVD+R/RWは通常のディスクに比べて高温、多湿の環境に弱く、車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

長期間演奏しないときは、本機からディスクを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

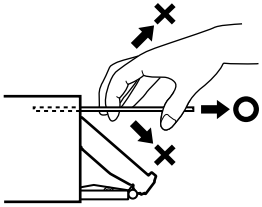
新しいディスクを使うときは

新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。
"バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



ディスクの取り出しかた

本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



DVDのリージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVDディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

禁止マーク

メディアおよびファイルについて

本機で再生できるオーディオ/ビデオファイル

本機で再生できるメディアとオーディオ/ビデオファイルの種類は以下の表でご確認ください。

	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD	DVD	USB	SD
オーディオ	.mp3	MP3	–	○	○	○	○
	.wma	WMA	–	○	○	○	○
	.m4a	AAC	–	○	○	○	○
	.wav	WAV	–	○	○	○	○
	.fla/.flac	FLAC	–	×	×	○	○
ビデオ	.avi/.mp4	AAC	H.264/AVC	×	×	○	○
		MP3	MPEG4	×	×	○	○
	.wmv	WMA	WMV	×	×	○	○

CD、DVDについては187 ページの「ディスクについて」もお読みください。
○：再生できます
×：再生できません

● .mp3ファイル

- フォーマット：MPEG 1/2 Audio Layer 3
- ビットレート：
 32kbps～320 kbps（VBR対応）
- サンプリング周波数：
 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- ジョイントステレオ：対応
- ID3タグ：
 1.0(*1)/ 1.1(*1)/ 2.2(*2)/ 2.3(*2)/ 2.4(*2)

*1:半角30文字、*2:半角128文字

● .wmaファイル

- フォーマット：
 Windows Media Audio Standard L3 Profile
- ビットレート：32～320 kbps
- サンプリング周波数：
 16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- WMA-Tag：
 全角/半角64文字（Unicodeの2バイト文字）

※DRM/Professional/Lossless/Voiceは非対応

● .m4aファイル

- フォーマット：
 MPEG 2/4 AAC-LC HE-ACC V1
- ビットレート：32～320 kbps/VBR
- サンプリング周波数：
 16/ 22.05/ 32/ 44.1/ 48kHz
- タグ：iTunes m4aメタデータ

※DRM/マルチチャンネルは非対応
iTunesで作成したAACファイルのみ再生可能

● .wavファイル

- フォーマット：
 RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
- ビット数：16 bit
- サンプリング周波数：44.1 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：RIFF LISTチャンク

※DRM/マルチチャンネルは非対応

● .fla/.flacファイル

- フォーマット：flacフォーマット
- 圧縮レベル：0/ 1/ 2/ 3/ 4/ 5/ 6/ 7/ 8
- ビット数/サンプル：16bit
- サンプリング周波数：
 8/ 16/ 22.05/ 24/ 32/ 44.1/ 48 kHz
- チャンネル：モノラル/ステレオ
- タグ：Vorbis Commentに対応

● .avi/.mp4ファイル

H.264/AVC

- フォーマット：MPEG4 AVC/H.264
- プロファイル&レベル：
 ベースラインプロファイル
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大8Mbps
- 音声フォーマット：AAC
- 音声ビットレート：
 32 ～ 320 kbps(VBR対応)
- 音声サンプリング周波数：
 32/ 44.1/ 48 kHz

MPEG4

- フォーマット：ISO MPEG4
- プロファイル：シンプルプロファイル
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大8Mbps
- 音声フォーマット：MP3
- 音声ビットレート：
 32 ～ 320 kbps(VBR対応)
- 音声サンプリング周波数：
 32/ 44.1/ 48 kHz

● .wmvファイル

- フォーマット：
 Windows Media Video Version9 MP@ML
- ピクチャサイズ：720×480 (30fps)
- ビデオビットレート：最大 8Mbps
- 音声フォーマット：WMA
- 音声ビットレート：32kbps～ 320kbps
- 音声サンプリング周波数：
 32/ 44.1/ 48 kHz



- オーディオ/ビデオファイルのフォーマットによっては、本機で再生/表示できない場合があります。
- CD-DAとオーディオファイルを1枚のディスクに記録した場合、CD-DA部分のみが再生されます。

本機で再生できるメディア

本機で再生するオーディオ/ビデオファイルを記録するメディアに関する注意事項を説明します。

(1) 使用できるメディア

使用できるディスク

使用できるオーディオファイルを収録するためのメディアは、CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R/RW、およびDVD+R/RWです。

使用できるUSB機器

本機で使用できるUSB機器の条件は次のとおりです。

- USB1.1/ 2.0
- MSC（USBマスストレージクラス）対応品
- 最大消費電流：1A以下（USBケーブル接続時）

消費電流の大きい機器をUSBハブに接続すると動作しない場合があります。この場合はUSBケーブルに直接接続してください。
上記を満たしていないUSB機器は接続しないでください。正しく再生できません。
また、上記を満たしているUSB機器でも、機種や状況によって、正しく再生できない場合があります。

使用できるSDカード

本機で使用できるSDカードの条件は次のとおりです。

- SD/SDHC仕様準拠

使用できるUSB機器、USBハブ、SDカードについての詳細は、http://www2.jvckenwood.com/faq/ce_navi/index.html の「USB機器適合情報」でモデルを選んでください。

(2) 使用できるフォーマット

ディスクフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。

- ISO 9660 Level 1
- ISO 9660 Level 2
- Joliet
- Romeo
- UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できる文字は、ライティングソフトの説明書および下記「(3)ファイル名とフォルダ名の入力」をご覧ください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：250

前記のフォーマット以外で書き込まれたオーディオファイルやビデオファイルは、正常に再生されなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

USB機器およびSDカードのフォーマット

本機で使用できるUSB機器およびSDカードは、以下のフォーマットです。

- FAT32、FAT16、またはFAT12

ただし、本機で再生できるUSB機器およびSDカードには以下の制限があります。

- 1フォルダ中の最大ファイル数：999
- 最大フォルダ数：9999

(3) ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、半角カタカナ、および全角文字で入力できます。これら以外の文字で入力されたファイル名およびフォルダ名は、正常に表示されません。

次の文字はファイル名には使用できません。

¥、\、/、:、*、?、"、<、>、|

また、使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

また、オーディオファイルやビデオファイルと認識されて再生されるファイルは、".mp3"、".wma"、".m4a"（".aac"）、".wav"、".fla"（".flac"）、".avi"、".mp4"、".wmv" の拡張子が付いたものだけです。各形式のファイルには、正しく拡張子を付けてください。

なお、本機で表示できる文字数はファイル名によって異なります。

(4) ID3/ WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x、2.2、2.3、または2.4規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。

(5) メディアに収録するファイルについて

本機は、オーディオファイルやビデオファイルが収録されているメディアを挿入/接続すると、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。このため、再生するメディアに多くのフォルダやオーディオファイルやビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで長時間必要になります。

また、次のオーディオファイルやビデオファイルの再生に移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

(6) 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。

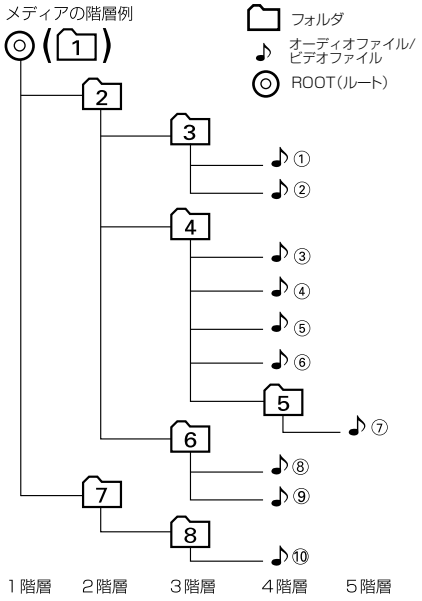
個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

(7) オーディオ/ビデオファイルを再生する順番

再生、ファイルスキップ、フォルダスキップでファイルやフォルダが選択される順番は、ディスクではライティングソフトで書き込まれた順番、USB機器およびSDカードではファイル名の昇順です。このため、再生されると予想していた順番と実際に再生される順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、"01" ～ "99" などとファイル名の頭に再生する順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、再生する順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は、次のようになります。



(8) ご使用上の注意事項

- 本機で再生するオーディオ/ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。
- USB機器やSDカードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- SDカード、またはUSB機器内のオーディオ/ビデオファイルは、破損する場合があります。ファイルが失われることによる損害につきましては、弊社では一切補償いたしません。

本機でコントロールできるiPodについて

本機からコントロールできるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (4th generation)
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1stgeneration)
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G

- 本書では上記iPodおよびiPhoneをまとめて「iPod」と呼びます。また、ビデオ対応iPodを区別する場合には「iPodビデオ」と呼びます。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- iPod with videoのビデオ再生時の音声には対応しておりません。

iPod接続ケーブルについて

本機にiPodを接続するときは、別売のiPod接続ケーブルが必要です。

音楽を聴く場合

➡ KCA-iP102

音楽を聴く/ビデオを見る場合

➡ KCA-iP212

iOSアプリケーションを使う場合

➡ KCA-iP102/KCA-iP212

センサー学習について

本機は、GPSの情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください(☞ P160)。

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。
学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物(建物、街路樹など)が少ない場所を走行してください。

センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。

GPSアンテナの接続状態や、GPS情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます(☞ P160)。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	ヒューズが切れている。	コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
	入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売店で接続を確認してください。
	暗証番号設定されている。	設定した暗証番号を入力してください（☞ P20）。
デモスライドが始まった。	店頭デモの表示が“する”に設定されている。	店頭デモの表示を“しない”に設定してください（☞ P153）。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください（☞ P140）。
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト、明るさを調整してください（☞ P140）。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください（☞ P140）。
リアビューカメラに切り替わらない。	リアビューカメラが正しく接続されていない。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
	リアビューカメラの設定が“なし”になっている。	CMOS-310を接続しているときはリアビューカメラの設定を“専用”に、その他の市販品を接続しているときは“汎用”にしてください（☞ P166）。
音が出ない。	入出力ケーブルなどの接続が間違っている。	お買上げの販売店で、接続を確認してください。
	内蔵アンプ出力の設定が“Off”になっている。	内蔵アンプ出力の設定を“On”にしてください（☞ P151）。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	スピーカーの配線を確認してください。
	スピーカーの配線が間違っている。	スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
	市街地図が表示可能なスケールになっていない。	市街地図が表示されるのは、50m以下のスケールです。
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは100m以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに300か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください（☞ P82）。
経由地を設定できない。	すでに4か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください（☞ P75）。
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の50か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPSアンテナの設置場所が悪い。	GPSアンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売店で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください（☞ P160）。 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図（50m～10mスケール）を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICSの地図表示情報（レベル3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICSの地図表示情報（レベル3）を表示できるのは、10m～ 1km（一般道は10m～ 500m、一般道の駐車場情報は10m～ 200m）のスケールです。
	—	VICSの受信状態が悪い場合は、表示できません。オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください（☞ P89）。

症状	考えられる原因	対処方法
VICS情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が“しない”に設定されている。	VICS設定画面で、割り込み表示を“する”に設定してください（☞ P87）。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）を接続してください。
最適時間考慮をオンに設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	最適時間考慮は、渋滞道路を回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	ビーコンアンテナが接続されていない。	光・電波ビーコンVICSユニットVF-M99（別売品）を接続してください。
	現在提供されているVICS情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	“昼色に固定”に設定されている。	“イルミに連動”に設定してください（☞ P39）。
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、正しく接続してください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が“しない”に設定されている。	ルート案内の音声出力を“する”に設定してください（☞ P73）。
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	現在地 を押してナビモードに切り替えてください（☞ P26）。
	画面がオフになっている。	現在地 を押すか、画面にタッチしてください（☞ P29）。
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状況により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	ナビ音量を大きくしてください（☞ P67）。
ナビメニューの「ルート確認/編集」が選択できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に選択できます。
センサー学習が完了しない。	車速パルスの設定が正しくない。	車種により“アナログ”または“デジタル”に設定する場合があります。
	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売店で、車速検出コードを正しく接続してください。

症状	考えられる原因	対処方法
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。
「SDから読込」で地点が本機で読み取れない。	MapFan.netエディタでSDに地点を書き出すときに所定のフォルダにデータが保存されていない。	地点データは保存するSDカードにmapfandataフォルダを作成し、さらにその中にPOIフォルダを作成した中に保存してください(☞ P54)。

AV機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない/音が小さい。	バランス、フェダーが片方に寄っている。	バランスやフェダーを正しく調整してください(☞ P143)。
音質が悪い(音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。
映像が乱れる。	コードやケーブルが干渉している。	モニターの配線の時は、コードやケーブルを束ねないようにしてください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付け角度が40°を超えている。	40°以内になるように取り付けしなおしてください。
	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	⏏(オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置(約1時間)してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	⏏(オープンキー)を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください(☞ P104)。
ファイルの再生が始まるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。

症状	考えられる原因	対処方法
CD-R、CD-RWが再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVDの禁止マーク"⃠"が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。
CDのタイトルが表示されない。	楽曲情報がない。	● KME-VXⅡで楽曲情報を取得してください（☞ P135）。 ● iPhoneから楽曲情報を取得してください（☞ P110）。

ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ディスクフォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるディスクフォーマットを確認してください（☞ P187）。
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください（☞ P190）。
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—

地デジ

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売店にご相談ください。
	スキャンされていない。	● 初期セットアップを行ってください（☞ P18）。 ● 現在地を設定してください（☞ P18）。 ● チャンネルスキャンをしなおしてください（☞ P96）。
	miniB-CASカードが正しく読みとれていない。	miniB-CASカードのIC（集積回路）接触端子が汚れていないか確認をし、miniB-CASカードを入れなおしてください。
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
	字幕が[表示しない]に設定されている。	字幕を表示するように切り替えてください（☞ P102）。

症状	考えられる原因	対処方法
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください（☞ P18）。
	使用しているチャンネルリストが車の場所のエリアの放送チャンネルと合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください（☞ P18、P96）。
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	● 見通しのいい場所に移動してください。 ● ワンセグに切り替えてください（☞ P94）。
	ワンセグ/12セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPodが認識されない。	iPod接続ケーブルKCA-iP212またはKCA-iP102（別売品）が正しく接続されていないか、iPodが正しく動作していない。	iPod接続ケーブルKCA-iP212またはKCA-iP102（別売品）を接続してください。それでもiPodが認識されない場合は、iPodをリセットしてください。
iPodをコントロールできない。	iPodにヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPodを本体から取り外し、iPodからすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPodが異常状態になっている。	● iPodメニューに表示されるリセットではなく、iPod本体のリセットを行ってください。 ● iPodを本機から取り外し、iPodの電源を入れなおしてください。
iPodの曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	カチッと音がするまで、しっかりと接続してください。
音が歪む。	iPodのEQ機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPodの再生を停止することをお勧めします。
iPodの充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USBハブを介して接続している。	充電するときはUSBハブを使用せずに直接接続してください。
本機に接続すると、iPodの操作ができなくなる。	iPodモードが本機でiPodを操作するモードになっている。	iPodモードを切り替えてください（☞ P123）。

USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB機器を認識しない。	USBコネクタが正しく接続されていない。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
	USB接続ケーブル1本に対してUSBハブを2台以上接続している。	USB接続ケーブル1本に対してUSBハブを2台以上接続してUSB機器を接続すると、本機で再生することができません。 USBハブを1台にして接続しなおしてください。
	複数のUSB機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USBデバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください(☞ P119)。
USB機器やSDカード内のオーディオ/ビデオファイルが再生できない。	オーディオ/ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください(☞ P190)。
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、<、>、\| ファイル名を変更してください。
	USB機器またはSDカードをKME-VXⅡで同期した。	KME-VXⅡで同期したUSB機器またはSDカードでは、同期以前にKME-VXⅡ以外で保存されたオーディオ/ビデオファイルは再生されません。
	再生モードが録音したSDカードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください(☞ P119)。
	SDXCカードを再生しようとしている。	本機では、SDまたはSDHCカードのみ使用できます。

SDカードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音したSDカードが再生できない。	録音データ(kenwood.direct.recフォルダのデータ)を編集または変更した。	録音データ(kenwood.direct.recフォルダのデータ)を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存したSDカードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください(☞ P128)。
音楽CDをSDカードに録音できない。	SCMSによるコピー制限がかかっている音楽CDを録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽CDを使用してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 サービスセンターにお問い合わせください。	ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
暗証番号が違います。 番号を再入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は サービスセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、スピーカー接続を確認してください。 接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	地デジアンテナケーブルの配線がショートしています。配線を確認してください。
GPSアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、正しく接続してください。
車速パルスに異常があります。 サービスセンターにお問い合わせください。	取付説明書を参照して、車速検出コードの接続を確認してください。 接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	● ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 ● 探索条件を「一般」以外にしてください。
地点情報ファイルが正しくありません。 ファイルを確認してください。	地点情報ファイルを作成しなおしてください。問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。
SDカードに地点情報ファイルがありません。 ファイルを確認してください。	SDカードの所定のフォルダに地点情報ファイルが保存されていません。もう一度SDカードに保存しなおしてください（☞ P54）。

VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。またはVICS放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

ETC

メッセージ	対処
ETCに異常が発生しました。販売店にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETC車載器との接続を確認してください。	接続が正しいことを確認しても、問題が解決されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが読めません。 ETCカードが読めません。(02)、(03)、(05)	● 差し込まれたカードがETCカードかどうか確認してください。 ● カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 ● カードの金属端子面をきれいにふいてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCカードが挿入されていません。 ETCカードが挿入されていません。(01)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETCがセットアップされていません。	お買い上げの販売店にご相談ください。
ETCをご利用できません。 ETCをご利用できません。(06)、(07)	ETCカードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください

カメラ

メッセージ	対処
専用カメラと通信できません。 接続を確認してください。	取付説明書を参照して、CMOS-300またはCMOS-310との接続を確認してください。接続が正しいことを確認しても問題が解決されない場合は、ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません	再生できるファイルはMP3/WMA/AAC/WAV/FLAC/MP4/AVIです。(ディスクはFLAC再生できません)
走行中は音声のみお楽しみください	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
KENWOOD Music Info.と通信できませんでした。 KENWOOD Music Info.の起動、または接続状態をご確認ください。	● KENWOOD Music Info.を起動しておいてください。 ● iPhoneがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アルバム情報が取得できませんでした。	楽曲情報が登録されていない楽曲については、楽曲情報を取得できません。

AV（Disc）

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
リージョンコードエラー	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または2を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ローディングエラー/イジェクトエラー	強制イジェクトを実行してください（☞ P104）。 または、ケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を超えています。	録音できるアルバムは最大999枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください（☞ P130）。
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	不要な楽曲を削除してから録音してください（☞ P130）。 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます（☞ P126）。

AV（地デジ）

メッセージ	対処
チャンネルが登録されていません。	プリセット切り替えをするには、初期スキャンを実行してください。

ナビ関係

ナビ関係の主な用語を解説します。ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

GPS

GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国国防総省が開発運用しているシステムで、3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信して、現在の位置を知ることができます。

VICS

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。事故の情報や渋滞状況、駐車場の空き情報などを表示することができます。

オートリルート

ルート案内中に、ドライブルートから外れてしまったとき、自動的にルートを探す機能です。

車速パルス

自動車から出力される信号で、ナビは走行距離の計測に利用しています。
また、車速パルスと本機に内蔵されているジャイロスコープによって、トンネル等のGPS衛星からの電波を受信できないところでも測位できるようになっています。

自車

本機を取り付けているお客様のお車のことです。

スマートIC

SA/PAやバス停などに設置されたETCのインターチェンジゲートです。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を算出することです。

ルート

目的地と経由地の設定に従って本機が探索した道筋です。ドライブルートは、ユーザーが編集することはできません。

マップマッチング

測位誤差があっても、自車位置が道路から外れにくくする処理です。

目的地/経由地

本機では、5か所までの行き先を設定して、ルート探索/ルート案内できます。5か所の行き先のうち、最後に行く場所を目的地といいます。
経由地は、設定した順に、経由地1、経由地2・・・経由地4となり、この順に通るようにルート探索されます。

ランドマーク

お店や施設などを、地図上で見やすくするためにマークで表した目印です。

AV関係

AV関係の主な用語を解説します。ここで解説されていない用語は、巻末のキーワードインデックスから説明ページを探すことができます。

AAC

「Advanced Audio Coding」の略称で、高圧縮かつ高音質が特長の音声圧縮方式です。

B-CASカード

地上デジタルテレビ放送を受信するために必要なICカードです。
さらに詳しい情報は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのホームページ（http://www.b-cas.co.jp/）をご覧ください。

DTA

Digital Time Alignmentの略。
距離の異なるスピーカーから出た音がリスナーに同時に届いたように聴こえるようにデジタル処理する技術です。
本機では、ポジションDTA（☞ P146）を設定できます。

DRM

Digital Rights Management（デジタル著作権管理）の略で、音楽や映像等のデジタルデータを正当なユーザー以外がコピーや再生することを制限する技術です。

D（ダイナミック）レンジコントロール

ドルビーデジタルで収録されたDVDビデオの場合、大音量シーンで音量を下げても、セリフなどの比較的小さな音を明瞭に聞き取ることができる機能です。

FLAC（フラック）

Free Lossless Audio Codecの略称で、可逆的な音声圧縮フォーマットです。

MP3（エムピースリー）

「MPEG Audio Layer 3」の略称で、音声圧縮方式の国際規格です。

MPEG（エムペグ）

規格を作成した組織「Moving Picture Experts Group」の略称で、ビデオ、オーディオ、およびシステムまで含めた国際規格です。

MSC（マスストレージクラス）

追加プログラムなしで、パソコンに外部記憶装置として認識されるUSB機器の規格です。

WMA（ダブリュエムエー）

「Windows Media™ Audio」の略称で、米国Microsoft社が開発した音声圧縮符号化方式です。

WMV（ダブリュエムブイ）

「Windows Media™ Video」の略称で、米国Microsoft社が開発した動画圧縮符号化方式です。

イコライザー

本機には、プリセットイコライザーとグラフィックイコライザーの2種類のイコライザーが内蔵されています。
プリセットイコライザーは、ジャンルに合わせたトーンカーブを設定します。

コミュニティFM局

市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

タイトル

DVDビデオディスクに記載されている映像や曲などを区切るいちばん大きな単位です。

チャプター

DVDビデオディスクにタイトルの内容を場面や曲ごとにさらに小さく区切った単位です。

チャンネル

地デジのチャンネルには、放送周波数と対応する物理チャンネルと、サービスと対応する論理チャンネルがあります。
論理チャンネルは3桁の数字で表され、タッチコントロールで指定して選局することができます。
実際の放送では、ワンセグを除いた12セグメントを使って異なる番組が放送される場合があります。このため、それぞれの領域に論理チャンネルが割り当てられています。
本書では、上記の論理チャンネルを単に「チャンネル」と表記しています。
物理チャンネルは、受信レベルの確認時以外の地デジの操作では意識する必要はありません。
なお、論理チャンネルのチャンネル番号の順番と物理チャンネルのチャンネル番号の順番は対応していません。

トラック

音楽CDに収録されている曲の区切り（曲分）をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラックナンバーと呼びます。

主な仕様

ナビゲーション部

アンテナ方式	マイクロストリップ平面アンテナ
受信方式	パラレル12チャンネル
受信周波数	1575.42MHz (C/Aコード)
受信感度	-130dBm以下
VICS	FM多重（内蔵）、電波/光ビーコン対応（別売）

モニター部

画面サイズ	7.0V型ワイド 156.6（幅）× 81.6（高さ）× 176.6（対角）mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個　800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源（照明方式）	LEDバックライト方式

オーディオ部

最大出力		50W×4
定格出力		26W×4 (4Ω、1kHz、10%THD)
スピーカーインピーダンス		4～8Ω
プリアウト出力 (RCA×1)	音声最大出力レベル(CD)	Front、2.0Vrms
	音声最大出力レベル(CD)	Rear/Sub Woofer（兼用）2.0Vrms
AV入力（RCA×1）	映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
	音声最大入力レベル	2.0Vrms
リアビューカメラ専用映像入力（RCA×1）	映像入力レベル	1Vp-p/75Ω
ビデオ出力（RCA×1）	映像出力レベル	1Vp-p/75Ω

地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）(ワンセグ対応)
受信チャンネル	UHF 13～62ch

主な仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz～ 90.0MHz (0.1MHz)
実用感度（S/N：30dB）	8dBf (0.7μV/75Ω)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz～ 1629kHz (9kHz)
実用感度（S/N：20dB）	30dBμV

USB I/F部

対応USB	USB1.1/2.0（High Speed）
ファイルシステム	FAT16/32
最大供給電流	1A

SDカード部

対応SD	SD/SDHC（最大32GB）
ファイルシステム	FAT16/32

DVD/CD部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video、DVD±R/±RW/±R DL CD-DA、CD-R/-RW SACD（CD LAYER ONLY） （8cmCD非対応）
リージョン番号	2
サンプリング周波数	32kHz/44.1kHz/48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）
S/N比	97dB
ダイナミックレンジ	96dB
ステレオセパレーション	90dB

対応メディア

DVD-Video		○（DVD-R、DVD-RWはVRモードも対応）
CD-DA		○
CD/DVD		MP3、WMA、AAC、WAV
USB	音声	MP3、WMA、AAC、FLAC、WAV
	映像	MPEG-4 Video、H.264/MPEG-4 AVC、WMV
SD	音声	MP3、WMA、AAC、FLAC、WAV
	映像	MPEG-4 Video、H.264/MPEG-4 AVC、WMV
iPod/iPhone		iPhone対応、Video対応 KCA-iP212（別売）が必要 ※iPhone5には対応していません。

電源/寸法/重量

電源電圧		14.4V (11V～ 16V)
最大消費電流		15A
使用温度範囲		-10 ～+60℃
本体	外形寸法(W×H×D)	180mm×100mm×183mm
	埋込寸法(W×H×D)	178mm×100mm×160mm
	重量	2950g
GPSアンテナ	外形寸法(W×H×D)	36mm×12.8mm×33mm
	ケーブル長	3.5m
	重量	85g

TVアンテナ

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長(アンテナケーブル)	4.0m×4
アンテナ部(エレメント外形寸法)	119.5mm×106mm
重量(ケーブル含む)	約35g(1本あたり)

保証とアフターサービス

保証について

- 保証書　この製品には、保証書を別途添付しております。
 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間　お買上げの日より１年です。

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」(☞ P195)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」(☞ P211)をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。
あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理　この製品は持込修理とさせて頂きます。

製品を修理のために、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 修理料金のしくみ(有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。)

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
　　技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
部品代：修理に使用した部品代です。
　　その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〒984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7175-4322
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 937-7185
東京サービスセンター	〒 135-0023	東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	☎ 0120-2727-87
（修理持込専用窓口）電話でのお問合せはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。			
八王子サービスセンター	〒 192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒 950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎ (025) 245-2177

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-4821

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〒 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡3F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

キーワードインデックス

《英数字》

数字

2次元バーコード..... 57
3Dヘディングアップ..... 31

A

AAC..... 190
AM..... 91
Androidアプリ..... 139
AVI/MP4..... 190, 191
AV-INの接続機器..... 125, 152
AVソース画面..... 26

C

CD..... 109

D

DTA..... 146
DVD-VR..... 107
DVDの再生..... 106
DVDのセットアップ..... 105
Dレンジコントロール..... 105

E

ECO情報..... 42
ECOメニュー..... 43
ECOレシオ..... 43
ETC車載器..... 160
ETCの設定..... 165
ETC料金の表示..... 73
ETCレーン..... 73
ETCレーンの表示..... 71

F

FLA/FLAC..... 190
FM..... 91
FM VICS..... 88
FM VICS局の選局方法..... 89
FM多重放送..... 84

G

GPS..... 160, 170, 205

H

H.264/AVC..... 190, 191

I

iPod接続ケーブル..... 193
iPodの再生..... 121
iPodの接続/取り外し..... 120
iPodビデオの再生..... 122

K

KENWOOD MapFan Club..... 162
KENWOOD Music Control（KMC）..... 139
KENWOOD Music Editor-VXⅡ（KME-VXⅡ）..... 132
KENWOOD Music Info.（iPhoneアプリ）..... 110
KME-VXⅡで同期した外部機器の再生（USB/SD）..... 137
KME-VXⅡでの楽曲情報の取得..... 135

M

MapFan.net..... 54
miniB-CASカード..... 16, 103, 186
MP3..... 190
MPEG4..... 190, 191
MSC..... 206

N

NaviCon（iPhoneアプリ）..... 58

Q

QRコード..... 57, 162

S

SDカードからの地点読み込み..... 55
SDカード（使用可能条件）..... 191
SDカードの出し入れ..... 115
SDから読込..... 45

付録

U

USB機器（使用可能条件）..... 191
USBの接続/取り外し..... 114
USBハブ..... 114, 120

V

VICS情報..... 84
VICSのマーク..... 85

W

WAV..... 190
WMA..... 190
WMV..... 191

《かな》

あ

アスペクト（画面表示サイズの変更）..... 140
暗証番号の設定..... 20
案内警告音..... 73
案内地点..... 30
案内ポイント..... 68

い

行き先の削除..... 75
行き先の順番変更..... 74
一般道でのルート案内..... 68
イルミネーションカラー..... 153
イルミネーションの色設定..... 154
インターチェンジの指定..... 61

え

映像画面/消灯画面の時計..... 153
映像（地デジ）..... 102
エコ情報..... 42
エリアバンド（地デジ）..... 95
エリアモード（TUNER）..... 91

お

オーディオブック（iPod）..... 121
オートアンテナ..... 12, 23
オート選局（TUNER）..... 91
オートリルート..... 67
オープンキー..... 25
音楽CDの録音..... 127
音声案内の音量..... 67
音声言語の切替（DVD）..... 105
音声（地デジ）..... 102

か

外部ソース..... 124
画質の調整..... 140
楽曲データ管理（システム設定）..... 152
画面の明るさ..... 153
画面のオン/オフ..... 29
画面表示サイズの変更..... 140
簡易AV表示..... 37
簡易図形型情報..... 86, 88

き

規制情報..... 87
規制情報表示（ハイウェイモード）..... 69

く

クイックメニュー..... 30, 37

け

経由地..... 60
経由地の削除..... 75
経由地の順番変更..... 74
ケーブルの接続情報..... 160
現在地図画面..... 26, 30
現在地の修正..... 41
検索履歴の削除..... 53

キーワードインデックス

こ

広域ボタン 30
交差点案内図の表示 70
高速道分岐イラストの表示 71
高速道路でのルート案内 69
交通情報（TUNER） 91, 93
交通情報表示（ハイウェイモード） 69
コンパスボタン 30

さ

再スキャン（地デジ） 96, 102
再生できるディスク 187
最適時間を考慮した探索 63
サウンド設定 142
サビSCAN再生 137
サブウーファー 145

し

自車マーク（地図） 30, 38
システム設定 152
自宅に帰る 44, 45
自宅の登録 44
自動選局（FM VICS局） 89
字幕言語（地デジ） 102
字幕言語の切替（DVD） 105
シミュレーション 65
車速パルス 160
車両タイプ 143
車両ナンバー 153
ジャンル検索 45, 49
ジャンルの分類 176
住所検索 45, 48
渋滞情報 87
周辺検索 45
受信エリア（地デジ） 102
受信地域（地デジ） 102
受信バンド（TUNER） 91
受信バンド（地デジ） 95
受信モード（地デジ） 102
詳細ボタン 30
情報・設定メニュー 27
ショートカットボタン 37, 153
初期スキャン（地デジ） 96, 102

す

図形情報の割り込み表示（VICS情報） 87
スターターボリューム 152
ステアリングリモコン 153, 155
スマートICを利用した探索 63

せ

セキュリティインジケータ 153
センサー学習 160, 194

そ

走行軌跡の表示 38
走行軌跡を消去 38
走行スピードと音量の連動 152
操作音の出力 153
操作ボタン 36
ソース切替画面 27, 90
ソースレベル 149

た

タイトルリピート（DVD） 106

ち

チャンネルリスト（地デジ） 95
地図色の設定 39
地図記号 174
地図更新サービスプログラム 162
地図色 38
地図の縮尺 32
地図表示型情報 85
地デジのセットアップ 16
地点情報 33
地点情報の表示 34
地点登録 76
チャプターリピート（DVD） 106
チャンネルスキャン（地デジ） 18, 102
中継局/系列局サーチ（地デジ） 100, 102
駐車場情報 87

て

ディスクの出し入れ 104
デモ走行 65
電源オン/オフ 15
電波ビーコン 84
電話番号検索 51

と

到着予想時刻/距離 68
登録地点検索 45, 52
登録地点情報 77
登録地点の編集 80
登録地点表示 38
登録地点の設定 40
時計 30
時計表示 22
トラックリピート（SDカード） 128

な

内蔵アンプ出力 151
ナビ音声案内時のAV音量 152
ナビの音量調整 67

ぬ

ぬけみちの表示 38

の

ノースアップ 31

は

パーキング 160
パーキング検出コード 160
バージョン情報（ソフトウェア） 161
バージョン情報（地デジ） 103
ハイウェイサウンド 150
ハイウェイモード画面 69
バランス/フェダー 143
番組表（地デジ） 100
番号検索 45

ひ

ビーコンVICS 88
光ビーコン 84
ビデオファイルの再生（USB/SD） 118

ふ

ファイルリピート（iPodビデオ） 123
ファイルリピート（USB/SD） 117, 119
ファイルリピート（ディスク） 112
フェーダー 142, 143
フェリーを利用した探索 63
フォルダランダム（SDカード） 128
フォルダランダム（USB/SD） 117, 119
フォルダランダム（ディスク） 112
フォルダリピート（SDカード） 128
フォルダリピート（USB/SD） 117, 119
副音声（地デジ） 102
ブックマークのSDカード書き出し（MapFan.net） 54
プリアウト端子の出力切替 151
プリセットイコライザー 148
プリセットボタン（TUNER） 91, 92
プリセットボタン（地デジ） 94, 96
プリセットモード（TUNER） 91
プレイリスト（DVD-VR） 107
プログラムリスト（DVD-VR） 107
フロントパネルの角度調整 29

へ

ヘディングアップ 31

ほ

ポイントスクロール 33
放送局のプリセット（TUNER） 92
方面看板 30, 73
ポジション調整 146
ボタンの操作音 153

キーワードインデックス

ま

マップクリップ 57
マップコード検索 51
マップマッチング 170
まっぷるコード検索 45, 56

め

名称検索 45, 46
メニュー言語（DVD） 105

も

目的地 60
目的地検索メニュー 27, 45
目的地の削除 75
目的地付近の地図表示 64
文字型情報 86, 88
文字情報の割り込み表示（VICS情報） 87
文字の入力 83
モニタータイプ 105

ゆ

ユーザーイコライザー 148
ユーザー設定の初期化 153, 159
優先する探索条件 63
郵便番号検索 51

ら

ランダムプレイ（CD） 109
ランドマーク 30
ランドマーク情報の表示 35
ランドマーク表示 38
ランドマーク表示の設定 39

り

リアビューカメラ（CMOS-310） 166
リージョン番号 189
リスニングポジション 146
リバース 160
リバース検出コード 160
リバース時のAV音量 152
リピート（iPod） 121
リピートプレイ（CD） 109
履歴検索 45, 52

る

ルート案内 68
ルート案内の音声出力 73
ルート案内の開始 60
ルート案内の終了 66
ルート案内方法の設定 73
ルート全体 64
ルート選択 66
ルート探索方法の設定 63
ルートの再探索 66
ルートの種類 60

れ

レーン情報 30, 73
レーン情報の表示 68
連続スクロール 33

ろ

録音 127
録音音質の設定 126
録音設定（システム設定） 152
録音データの再生 128
録音データの削除 130

わ

割り込み表示の時間（VICS情報） 87

「タウンページ」は、NTT東日本およびNTT西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

The "ACC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iTunes is a trademark of Apple Inc.



© 2013 Rovi Corporation.
Content and technology provided by Rovi Corporation.

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

検索データとして以下の情報を元に作成されています。
・株式会社昭文社MAPPLEガイドデータ
・株式会社昭文社MAPPLE全国SAPA情報

渋滞ぬけみちデータとして以下の情報を元に作成されています。
・株式会社昭文社ぬけみちデータ

MAPPLEガイドデータ、ぬけみちデータ、まっぷるコード、MAPPLE全国SAPA情報、および



は株式会社昭文社の登録商標または商標です。

MapFan、「MapFan.net」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICSは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

「Android™」および「Android™ ロゴ」、「Google Play™」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

ETCは財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。

libFLAC
Copyright (C) 2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE.
ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg
Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis
Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

 フリーダイヤル　0120-2727-87
 携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
 FAX　045-450-2308
 住所　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
 受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00
 土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
 （日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。